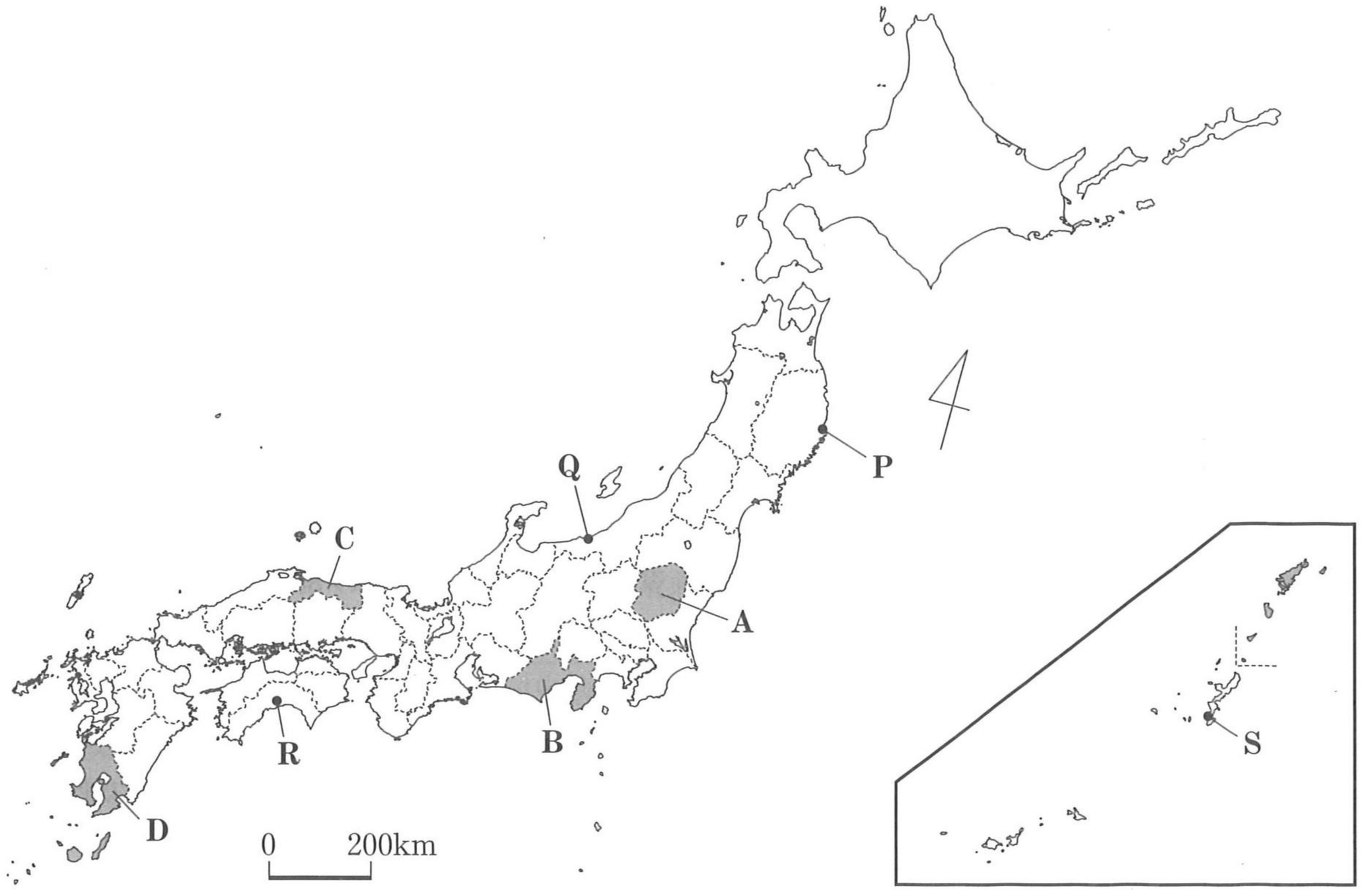
社会

V模擬問題集

大問3（日本地理）

名前

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

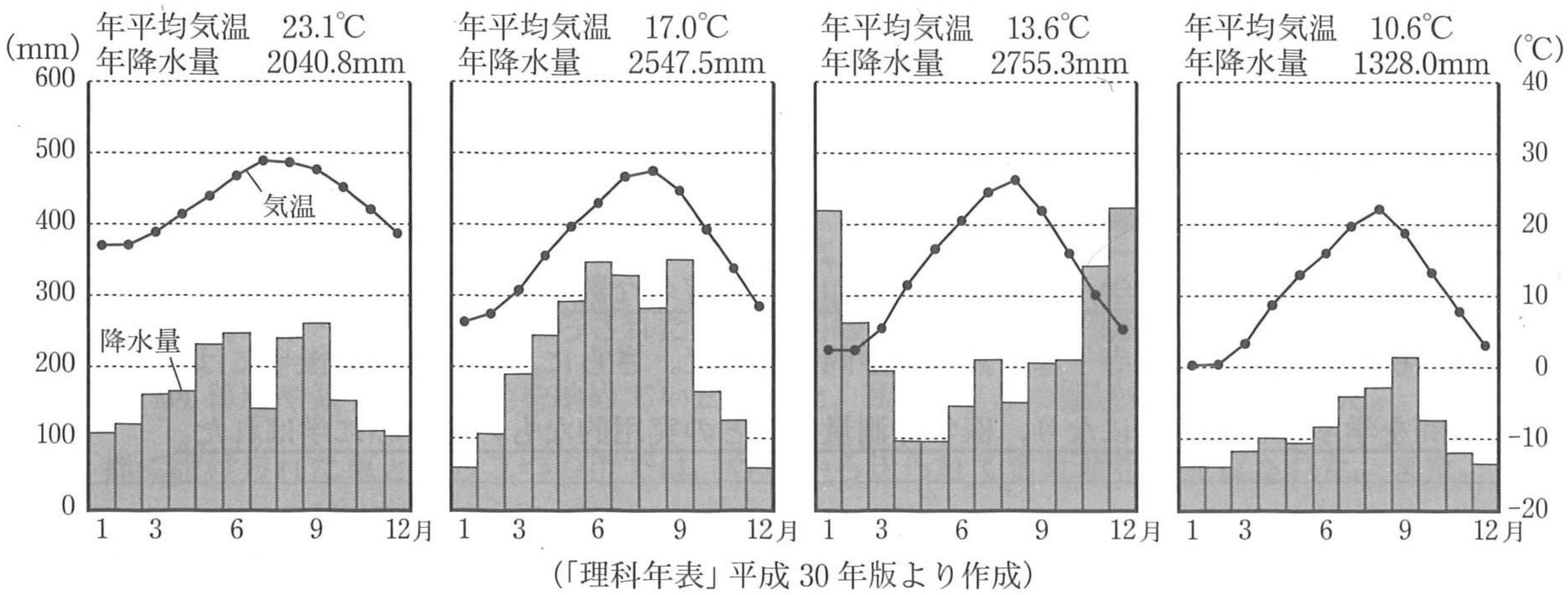


〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▭ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県の自然環境と農業の様子についてまとめたものである。**A**～**D**の県のそれぞれに当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	自然環境と農業の様子
ア	○南部の県境は，東西にのびるなだらかな山地となっていて，冬の季節風がこの山地にぶつかって上昇することで冬に雪が降る。海岸沿いには，日本最大の砂丘が見られる。 ○「二十世紀」と呼ばれる品種の日本なしの生産が有名であるが，砂丘では，灌漑(かんがい)設備を活用した農業が行われ，らっきょう，すいか，長いもなどが栽培されている。
イ	○火山が多く見られ，現在も活発に活動しているものもある。シラスと呼ばれる火山灰土が広く分布し，台風などの影響で大雨になると土砂崩れなどの災害が起こりやすい。 ○火山灰土は水もちが悪く，農業に適していないが，戦後，灌漑設備を整備し，肉牛・豚・にわとりの飼育や，茶やさつまいもなどの栽培が盛んに行われている地域もある。
ウ	○北部，東部，西部は山地で，中央部を北から南に川が流れ，南部は広大な平野の一部となっている。夏は降水量が多いが，冬は晴天が続き，乾燥した気候となっている。 ○大都市圏に近接しているため近郊農業が盛んで，いちごやかんぴょうの生産量は全国１位である。北部の高原などでの酪農も盛んで，主に生乳を生産している。
エ	○北部の県境には世界文化遺産に登録された山をはじめ，3000 mをこえる山々がそびえている。南部の海岸沿いは，暖流の影響を受けて冬でも温暖な気候となっている。 ○温暖な気候を利用して，みかん，いちご，メロン，バラなどの生産が盛んに行われ，各地に点在する台地には開拓された茶畑が広がり，茶の生産量は全国１位を誇っている。

〔問２〕 次のⅠの**ア**～**エ**のグラフは，略地図中に**P**～**S**で示した**いずれか**の都市の，年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅱの文章は，**P**～**S**の**いずれか**の都市が位置する県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている県に位置する都市のグラフに当てはまるのは，Ⅰの**ア**～**エ**のうちのどれか。また，その都市に当てはまるのは，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ



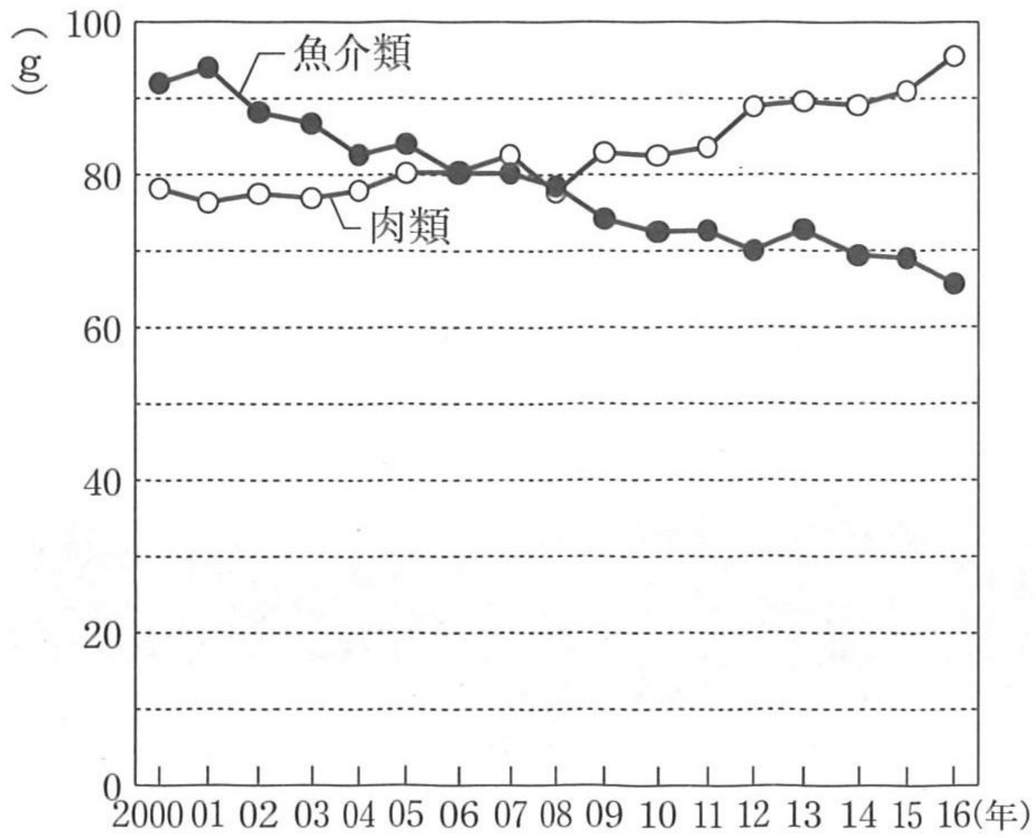
（「理科年表」平成 30 年版より作成）

Ⅱ

47 都道府県の中で，耕地面積が２番目に広く，水田の面積も２番目に広い。米の生産量と生産額は全国１位で「コシヒカリ」という銘柄米が有名である。小千谷（おちや）市のちぢみや三条（さんじょう）市の金物，燕（つばめ）市の洋食器など，農家の副業から発達した地場（じば）産業が数多く見られる。

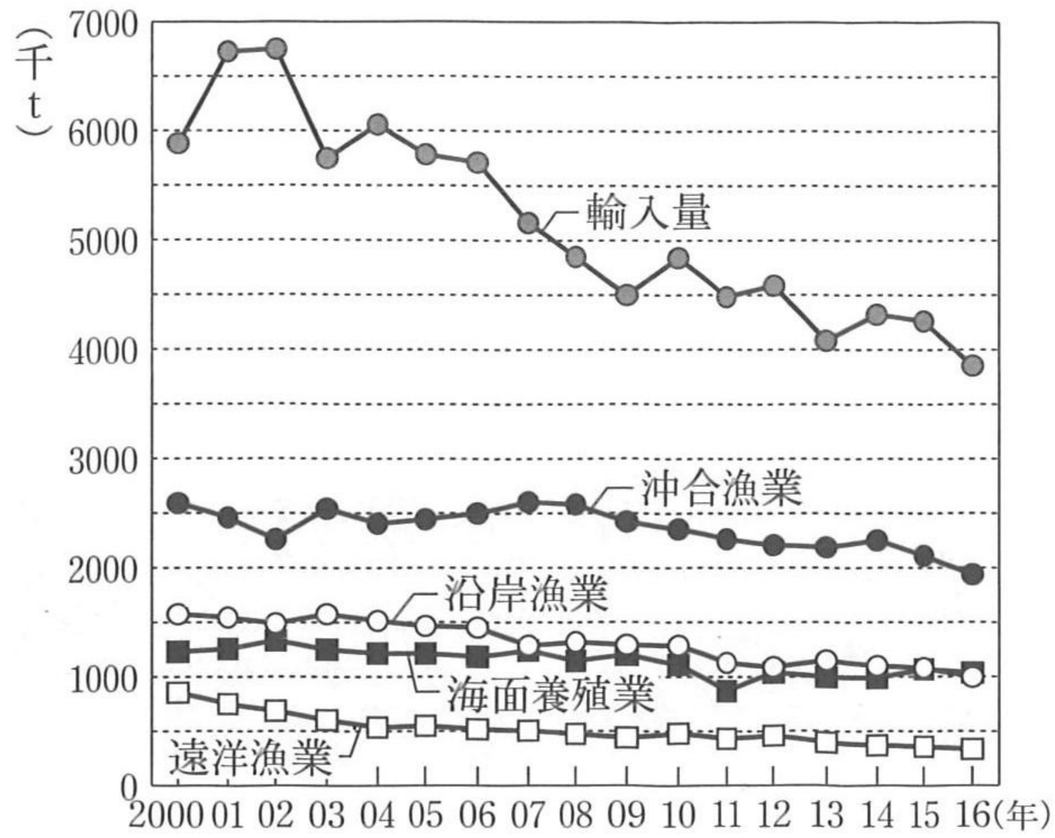
〔問３〕 次のⅠの資料は，我が国の魚介類と肉類の一人一日当たり摂取量の推移を示したものである。Ⅱの資料は，我が国の漁業種類別生産量と魚介類輸入量の推移を示したものである。ⅠとⅡの資料から読み取れる，2000 年と 2016 年を比べたときの我が国の魚介類の摂取量と，漁業生産量，魚介類輸入量について，簡単に述べよ。

Ⅰ 魚介類と肉類の一人一日当たり摂取量の推移



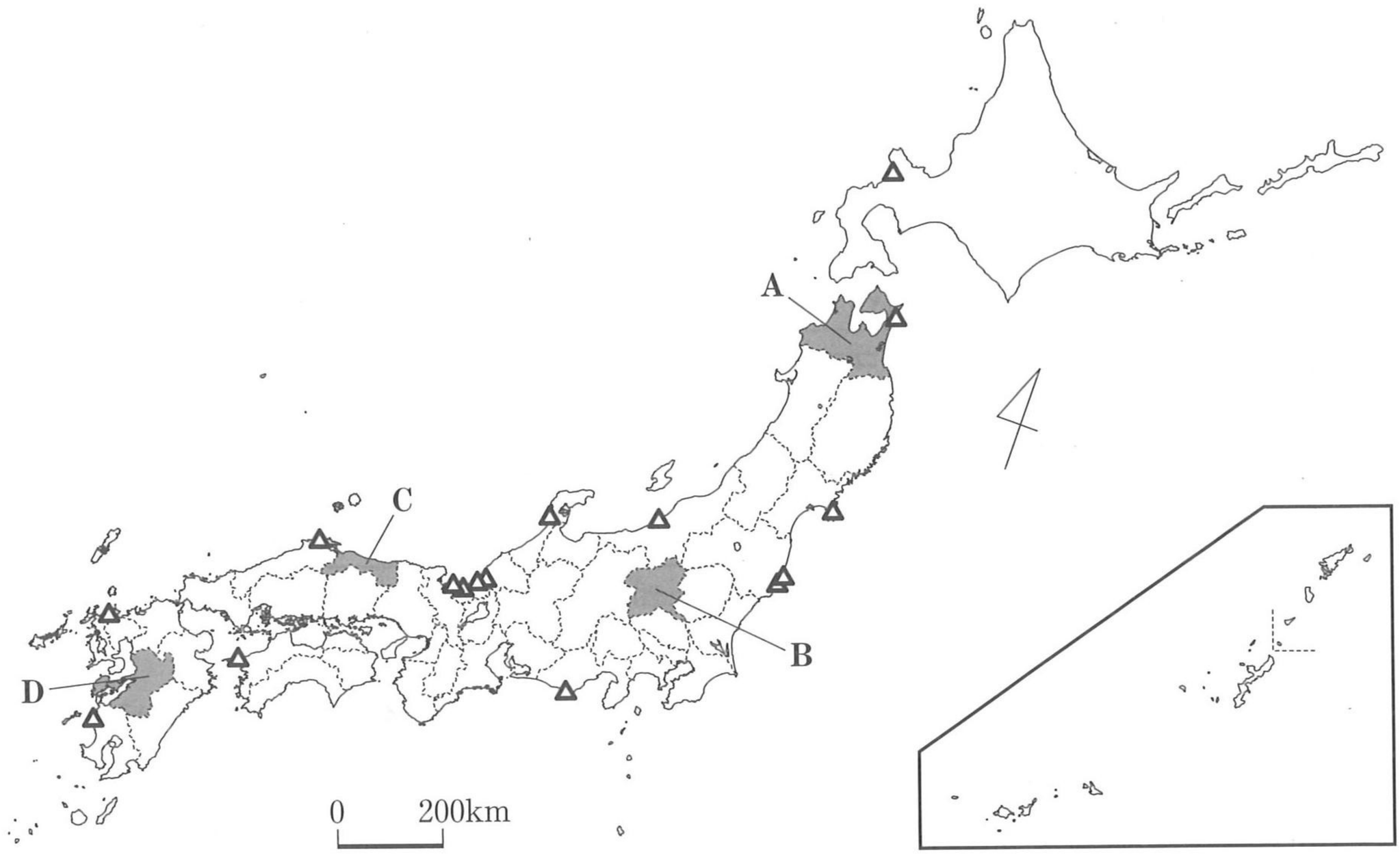
（「国民健康・栄養調査報告」平成 28 年版より作成）

Ⅱ 漁業種類別生産量と魚介類輸入量の推移



（「数字でみる日本の 100 年」第６版ほかより作成）

3　次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▭ で示した，**A**～**D** の**いずれか**の県の自然環境などの様子をまとめたものである。**A**～**D** の県のそれぞれに当てはまるのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

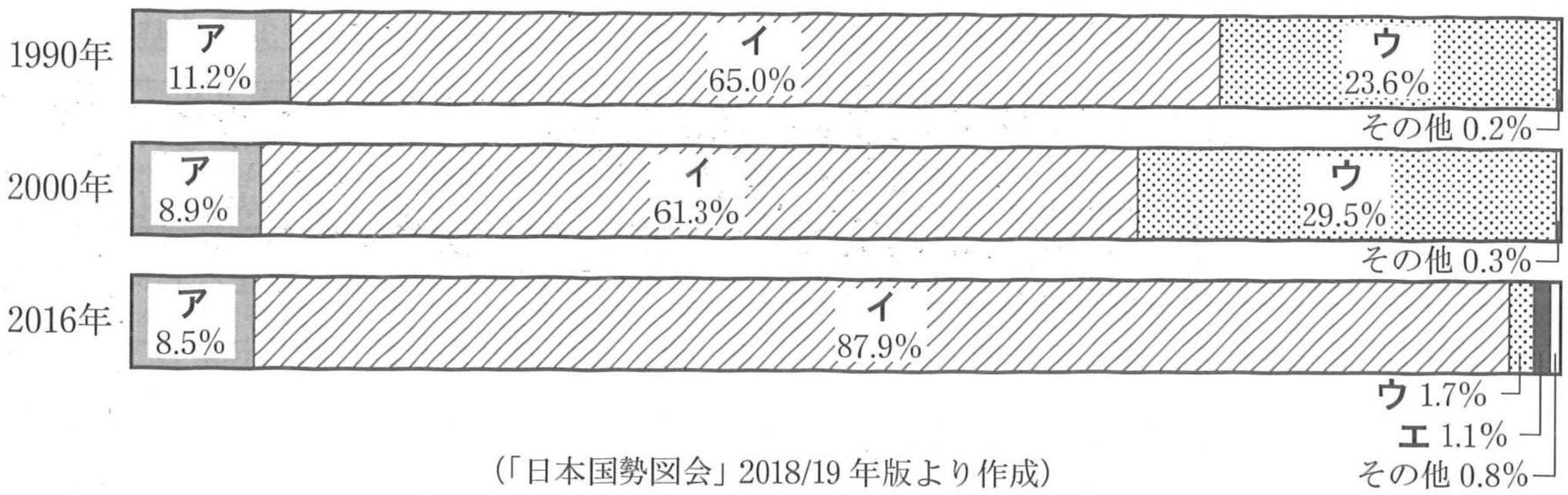
ア　この県の冬は寒さが厳しく積雪量も多い。県北部の二つの半島にはさまれた湾では，ほたて貝などの養殖業が盛んに行われている。県南西部の山地には，世界でも貴重なブナの原生林があり，1993 年に，屋久島（やくしま）とともに日本で最初の世界自然遺産に指定された。

イ　この県の南部には，東西に走るなだらかな山地があり，北部は，大部分が単調な海岸線となっている。ここには日本最大級の砂丘があり，多くの観光客が訪れているが，古くから砂丘を農地にかえる試みが行われ，この技術が世界の砂漠化対策などにも応用されている。

ウ　この県は，県全体が山がちで，県南東部に人口が集中している。県を南北に貫く河川は日本最大の流域面積を誇り，上流には多くのダムが建設され，大都市圏の水がめとなっている。冬は晴天が続き，からっ風と呼ばれる乾燥した風が北西から吹きつける。

エ　この県の東部には，世界でも最大規模のカルデラをもつ火山がある。県南部の地域では，1960 年代に，化学工場から出された廃液が原因で公害病が発生し，大きな社会問題となったが，現在はこれを教訓に環境保全活動に取り組み，沿岸の都市は環境モデル都市となっている。

〔問２〕 略地図中の △ は，ある種類の発電所が立地している場所を示したものである。次のページのグラフは，我が国の発電源別の発電量の割合の推移を示したもので，グラフ中の**ア**～**エ**は，火力発電，水力発電，原子力発電，太陽光発電の**いずれか**である。略地図中の △ の発電所の発電量の割合に当てはまるのは，次のページのグラフ中の**ア**～**エ**のうちのどれか。



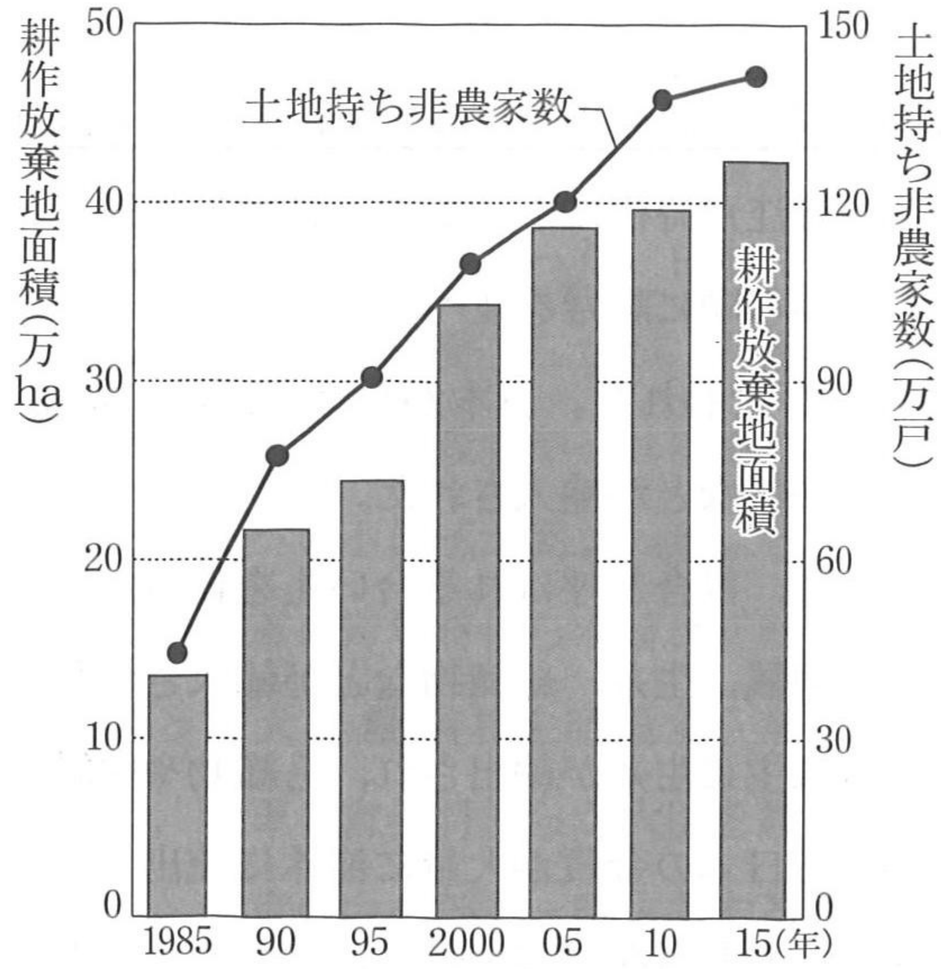
（「日本国勢図会」2018/19 年版より作成）

〔問３〕 次のⅠの資料は，かつて水田や畑であったが，耕作が行われず放置されている耕作放棄地の写真である。Ⅱのグラフは，日本におけるこのような耕作放棄地の面積と，耕作放棄地を持つ土地持ち非農家数の推移を示したものである。Ⅲのグラフは，年齢別の農業就業人口の推移を示したものである。ⅡとⅢの資料を参考にして，耕作放棄地の面積がどのように推移しているかについて，その理由として考えられることを含めて，簡単に述べよ。

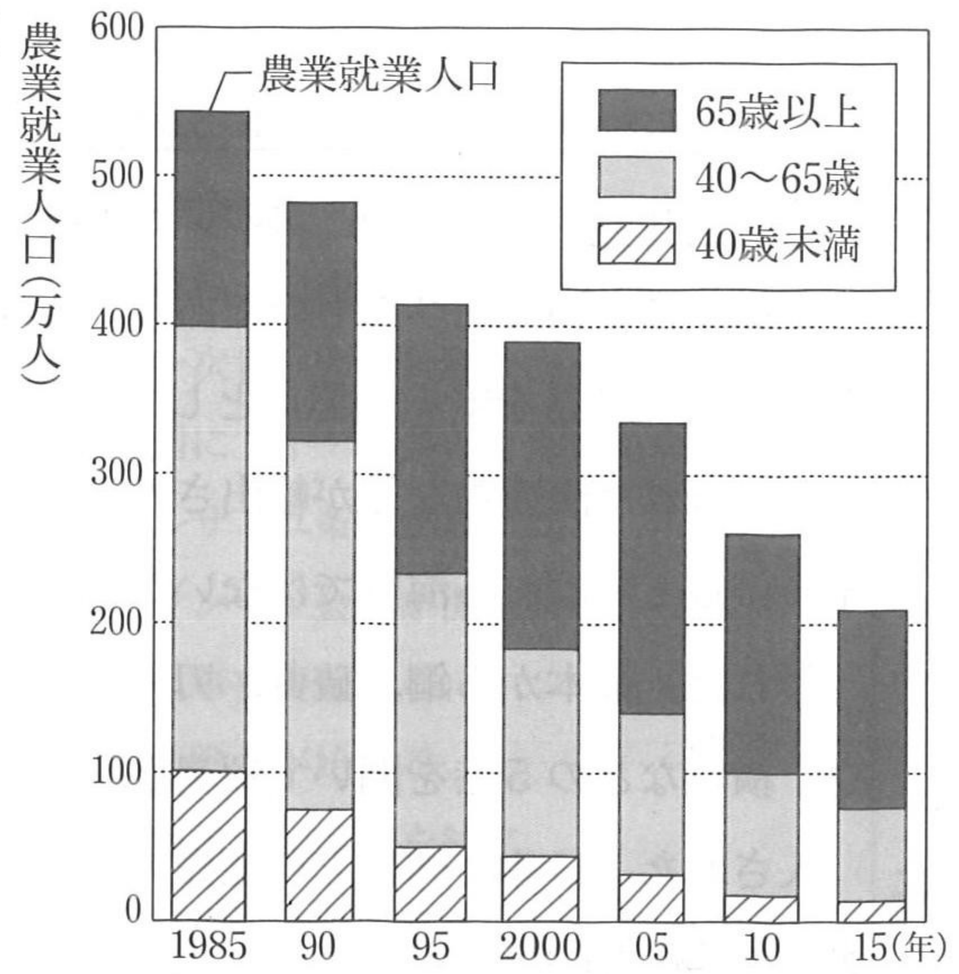
Ⅰ



Ⅱ



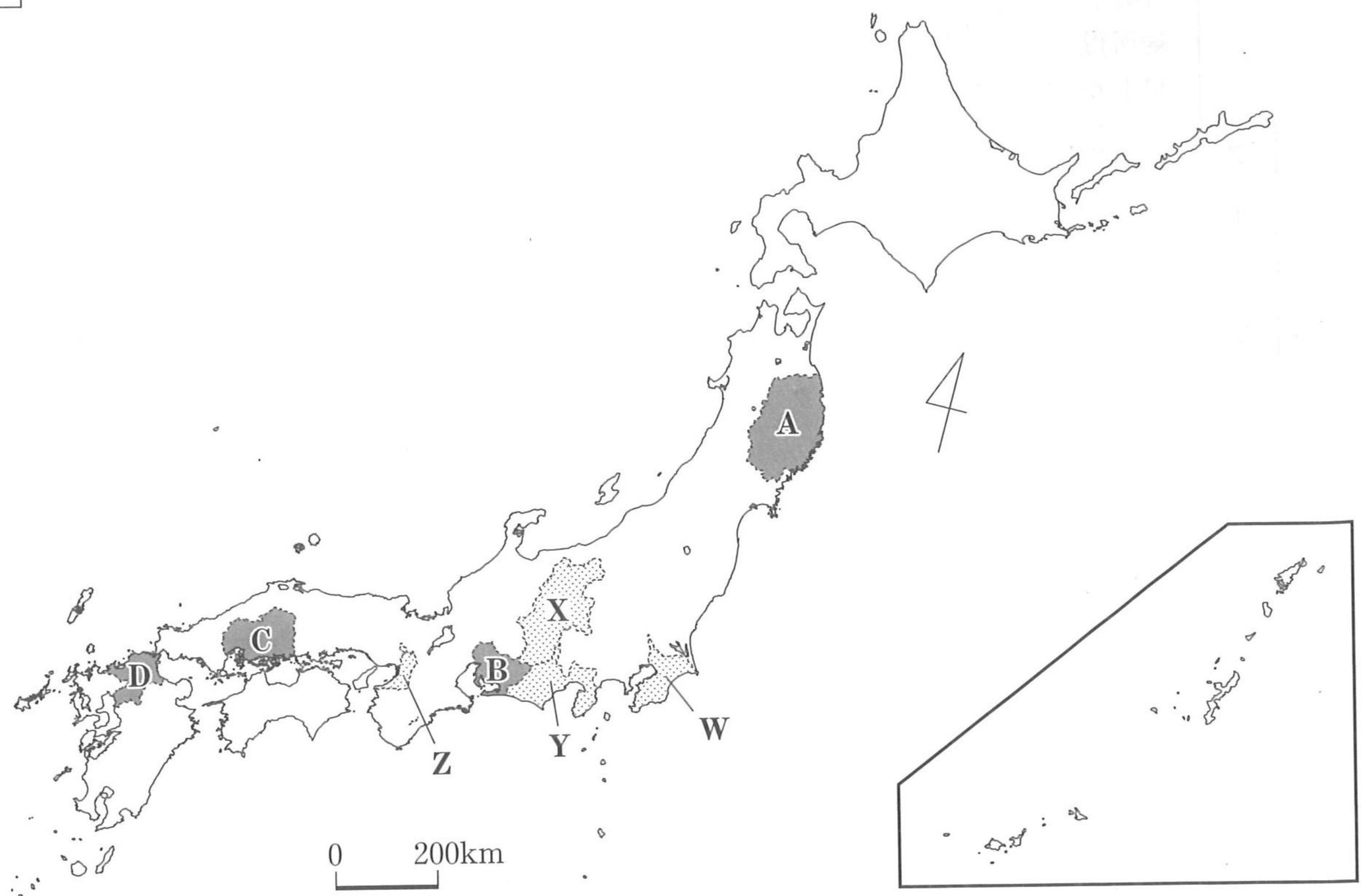
Ⅲ



（注） 土地持ち非農家とは，農家以外で耕作地または耕作放棄地を所有する農家。

（農林水産省「農林業センサス 累年統計」より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ■ で示した**A**～**D**の**いずれか**の県の自然環境や工業の様子についてまとめたものである。**A**～**D**の県のそれぞれに当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	自然環境や工業の様子
ア	○西部の平野には，いくつかの河川が合流して海に流れ込む地域があり，堤防を築くなどして水害に備えてきた。南部の半島では，温暖な気候を利用した農業が行われている。 ○かつて綿花の栽培が行われ，綿織物工業が盛んであった。昭和になって織機の技術を生かした自動車工業が発展し，県中央部には関連工場が集中している企業城下町がある。
イ	○河川の下流域に形成された三角州に県庁所在地の都市が位置している。県南部には，古くから交通路としても利用されてきた静かな海が広がり，多くの島々が点在する。 ○古くから海上交通が盛んであったこともあり，海沿いの都市では造船業が盛んに行われてきた。また，県庁所在地の都市には自動車工場がある。
ウ	○山脈や山地が南北に走り，その間を流れる河川の流域の盆地に都市が発展している。東部の海岸線は，入り江や岬が連続する複雑なリアス海岸となっている。 ○かつては，地元でとれる材料をもとにした伝統産業が中心であった。近年，新幹線や高速道路が開通すると，その沿線に工業団地が誘致されて工業生産額が伸びている。
エ	○南西部の水深の浅い海は干満の差が大きく，江戸時代から干拓が行われて水田が広がっている。北部には石灰岩の地層によってつくられたカルスト地形が広がっている。 ○明治時代，北部の都市に地元でとれる石炭などを利用する官営の製鉄所がつくられた。現在は，県内２か所に大規模な自動車工場が建設され，中国などに輸出されている。

〔問２〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に▨で示した**W**～**Z**の**いずれか**の府県の，2015年における産業別就業人口の割合，2014年における製造品出荷額，製造品出荷額上位３位の工業及び製造品出荷額に占める割合を示したものである。Ⅱの文章で述べている府県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

	産業別就業人口の割合(%)			製造品出荷額(億円)	製造品出荷額上位３位の工業及び製造品出荷額に占める割合(%)（左から１位，２位，３位）
	第１次	第２次	第３次		
ア	0.6	24.3	75.1	167336	化学(11.4)，石油・石炭製品(10.6)，鉄鋼(8.9)
イ	3.9	33.2	62.9	161289	輸送用機械(26.2)，電気機械(12.7)，化学(9.4)
ウ	2.9	20.6	76.5	139232	石油・石炭製品(25.9)，化学(22.5)，鉄鋼(13.2)
エ	9.3	29.2	61.6	54968	情報通信機械(14.6)，電子部品(14.0)，生産用機械(9.8)

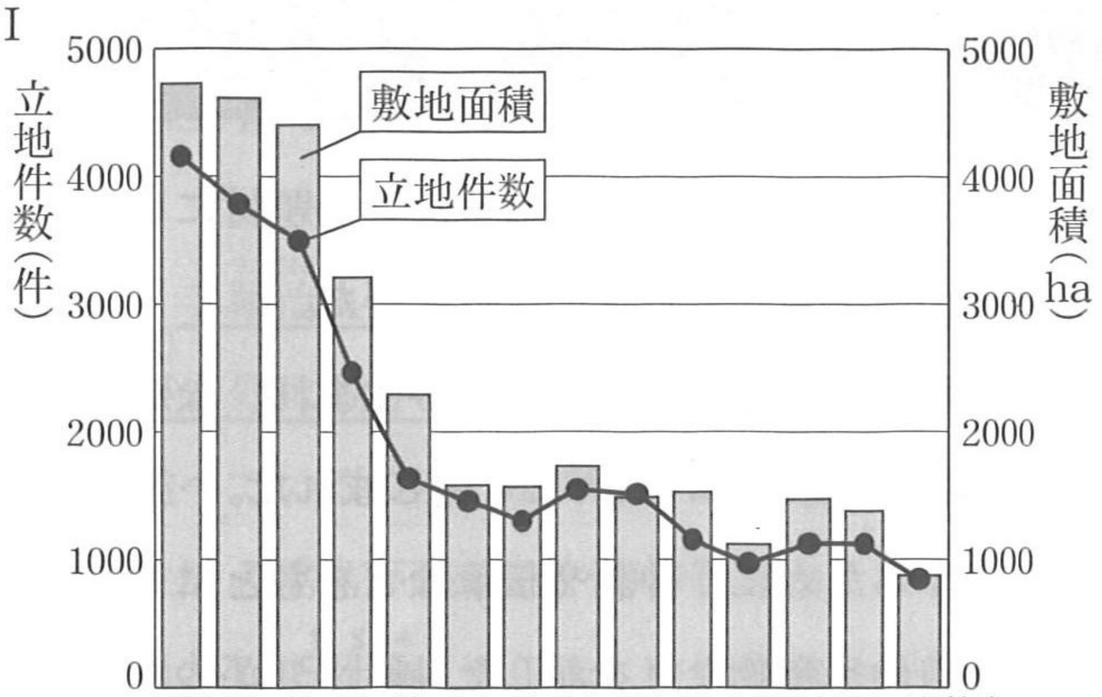
（「データでみる県勢」2018年版より作成）

Ⅱ

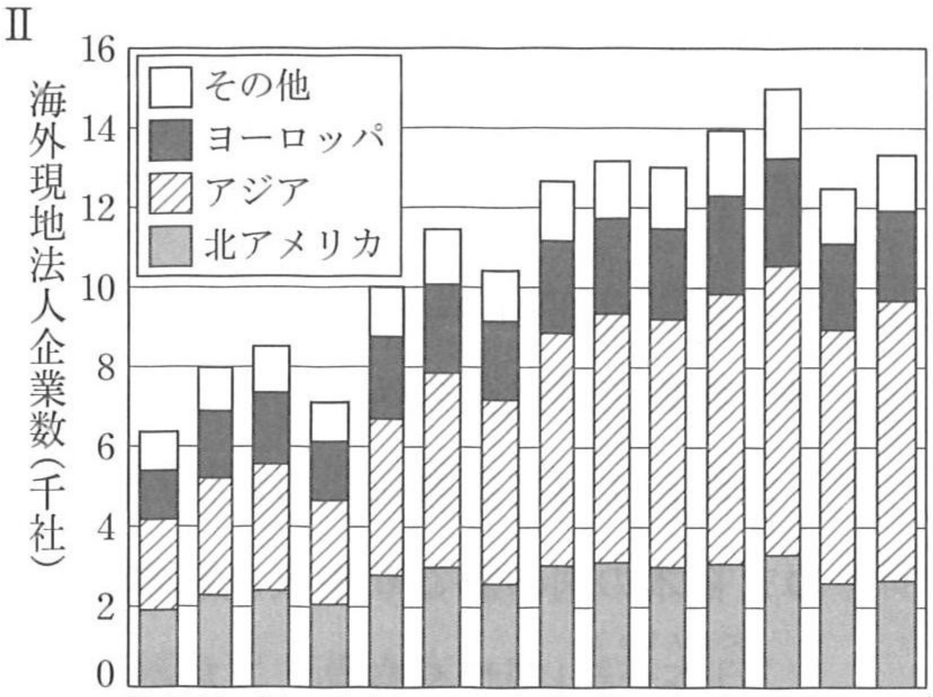
第二次世界大戦後しばらくまで日本で最も出荷額が多かった阪神(はんしん)工業地帯の中心の府県である。沿岸部の埋立地につくられた製鉄所や石油化学コンビナートが工業生産の中心であるが，近年は，太陽電池や液晶パネルなどを生産する新しい工場もつくられている。

〔問３〕 次のⅠの資料は，1989年から2002年までの日本国内の新設工場立地件数と敷地面積の推移を示したものである。Ⅱの資料は，同じ期間の海外現地法人企業数の地域別の推移を示したものである。Ⅲの資料は，1992年ごろの賃金水準の国際比較について，日本を100として示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を参考にして，1990年代の日本の工業の動向について，その原因として考えられることを含めて，簡単に述べよ。

Ⅰ

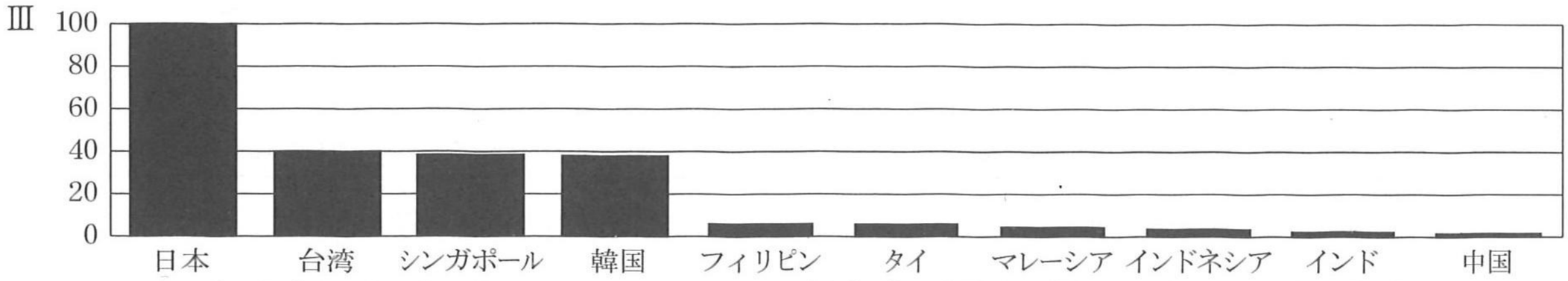


Ⅱ



（経済産業省「工場立地動向調査」「海外事業活動基本調査」より作成）

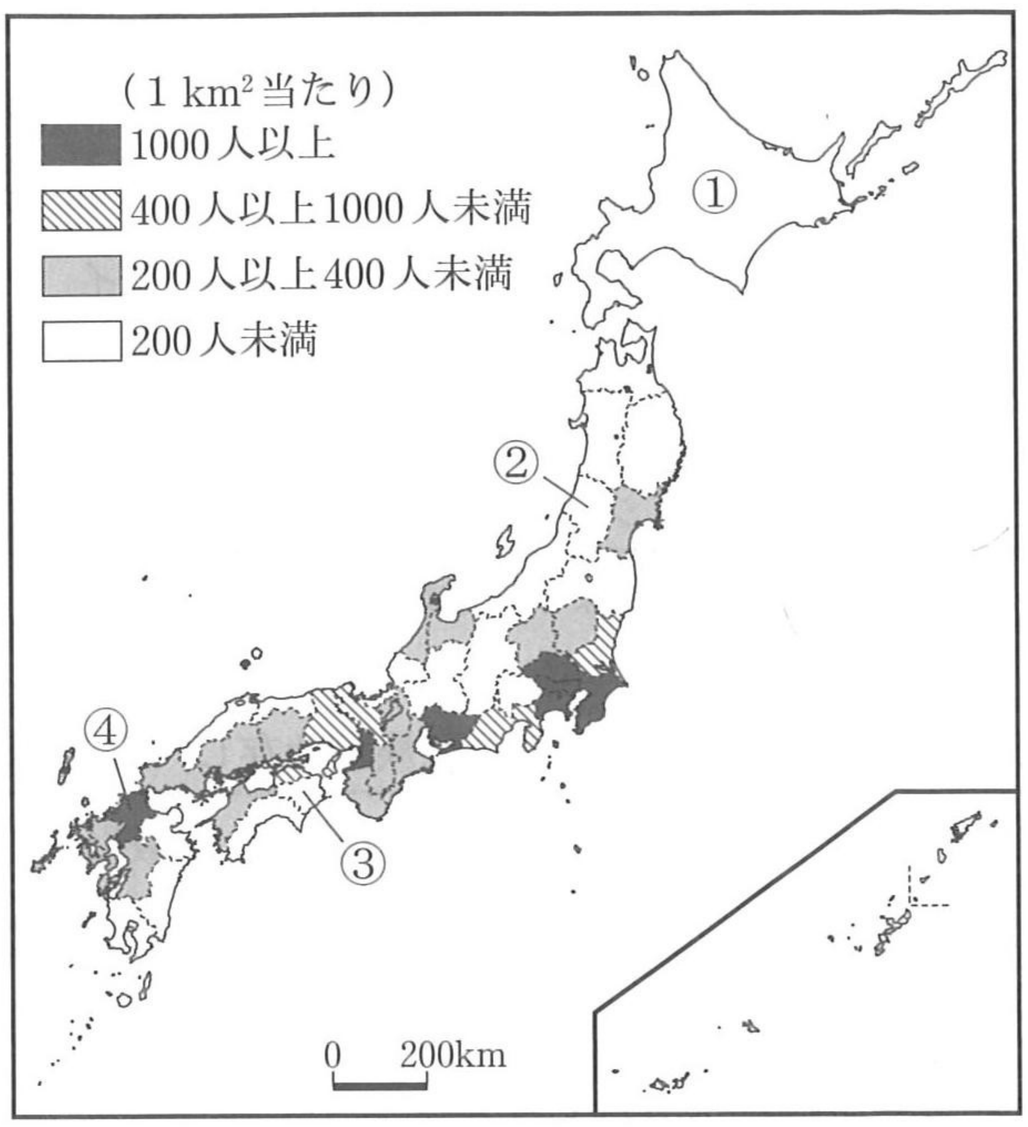
Ⅲ



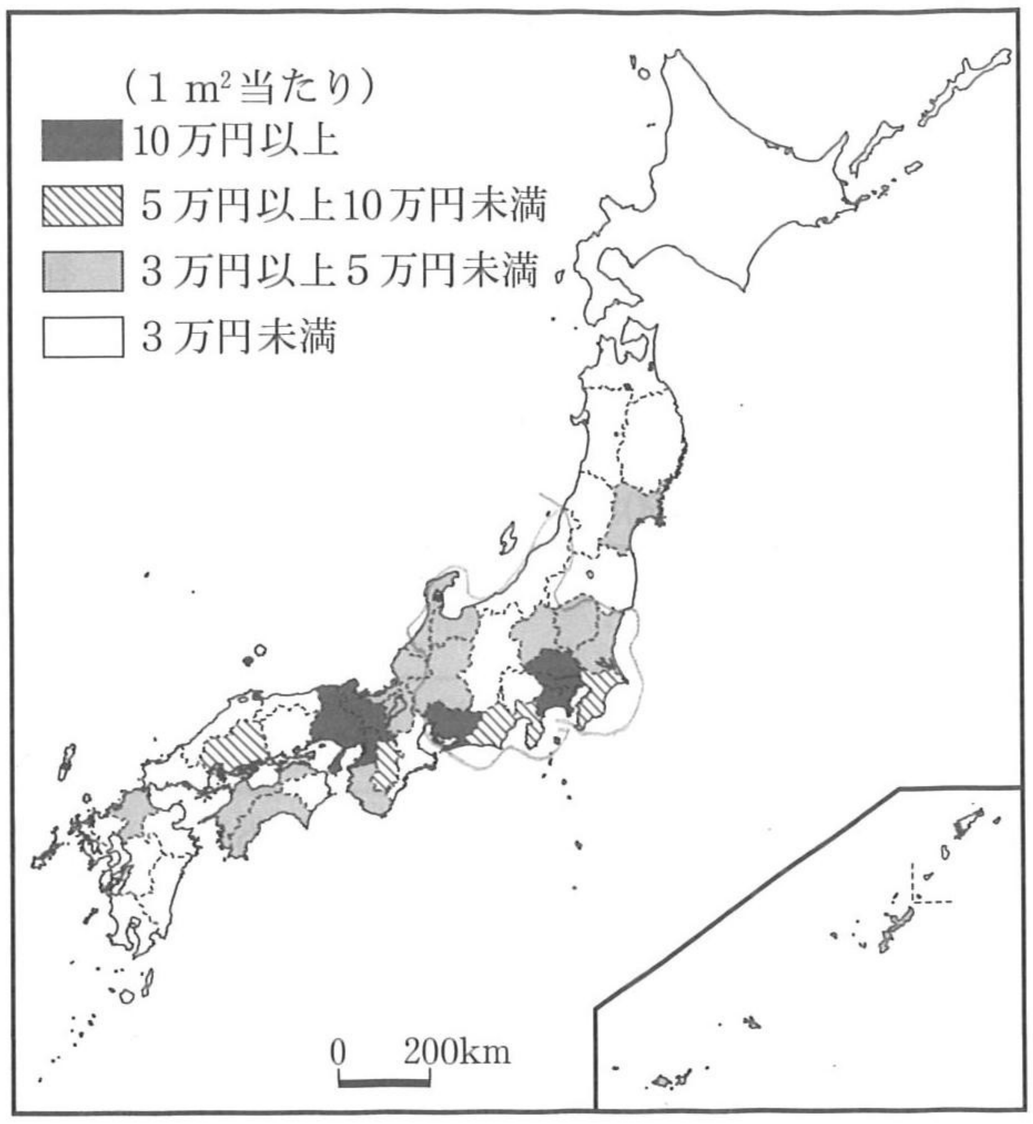
（ILO「Yearbook of Labour Statistics」，労働省「海外労働情勢 1993年」ほかより作成）

3 次の**A**の略地図は，日本の各都道府県の2016年における1 km²当たりの人口密度の状況を表したものである。**B**の略地図は，日本の各都道府県の2017年における1 m²当たりの住宅地の平均地価の状況を表したものである。**A**及び**B**の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

A



B



（「データでみる県勢」2018年版より作成）

〔問1〕 次の表の**ア**～**エ**は，**A**の略地図中に①～④で示した**いずれか**の道県の道県庁所在地の都市で行われる祭りと，その道県の自然環境などの様子についてまとめたものである。**A**の略地図中の①～④のそれぞれの道県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	道県庁所在地の都市で行われる祭りと，その道県の自然環境などの様子
ア	○1960年代に始まった祭りで，紅花（べにばな）をあしらった花笠をつけた1万人以上の踊り手が，「ヤッショ，マカショ！」の掛け声と太鼓の音とともに，華麗に踊りながら市内を練り歩く。 ○道県内を縦断するように最上川（もがみ）が流れ，その流域に盆地や平野が広がって，道県庁所在地は内陸の盆地にある。冬の季節風の影響で降雪量が多いが，夏は高温になることもある。
イ	○この地の藩主が城を築いたときに，完成を祝って踊ったのが始まりともいわれている古くからの祭りで，三味線や太鼓などの伴奏に乗って，「連」とよばれる踊り手の集団が踊り歩く。 ○西から東に吉野（よしの）川が流れ，その下流に広がる平野に道県庁所在地が位置している。北東部には，隣の県に属する島との間に海峡があり，潮の満ち引きによるうず潮で有名である。
ウ	○1950年に始まった祭りで，2月に大通公園を中心に行われ，多くの雪像が並び，夜はライトアップされる。地元の中高校生が六つの雪像をつくったのが始まりといわれている。 ○中央部に標高2000 mをこえる大雪山（だいせつざん）や十勝岳（とかちだけ）などの山がそびえ，このあたりから流れ出る石狩（いしかり）川は日本で3番目に長い川である。梅雨（つゆ）や台風の影響が少なく，年間降水量は少ない。
エ	○ゴールデンウィークに行われ，200万人以上という国内で最も観客を集める祭りの一つである。12世紀に始まった「松ばやし」を起源とし，老若男女がシャモジを叩いて町を練り歩く。 ○道県の面積に占める山地の割合が50 %未満で，比較的なだらかな地形が広がる。南部には筑紫（つくし）次郎とも呼ばれる筑後（ちくご）川が流れ，下流域には筑紫平野が広がり，稲作が盛んである。

〔問２〕 **A** 及び **B** の略地図から読み取れることがらについて正しく述べているのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア　関東地方で，１ km²当たりの人口密度が 400 人以上の都県はすべて，１ m²当たりの住宅地の平均地価が５万円以上である。

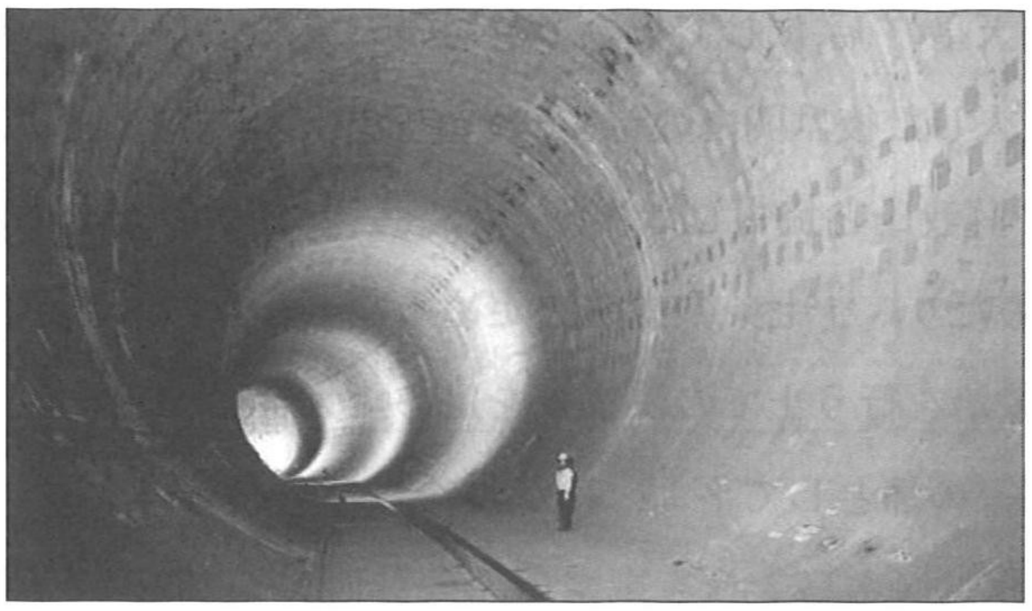
イ　中部地方で，１ km²当たりの人口密度が 400 人未満の県はすべて，１ m²当たりの住宅地の平均地価が５万円未満である。

ウ　近畿地方で，府県名と府県庁所在地の都市名が異なる府県はすべて，１ km²当たりの人口密度が 400 人以上で，かつ，１ m²当たりの住宅地の平均地価が５万円以上である。

エ　中国・四国地方で，１ km²当たりの人口密度が 200 人以上で，１㎡当たりの住宅地の平均地価が３万円以上の両方に当てはまる県は四つある。

〔問３〕 次のⅠの写真は，東京都の環状七号線という道路の地下につくられたトンネル状の調整池の内部の様子を示したものである。Ⅱの表は，この調整池の概要を示したものである。Ⅲのグラフは，東京都で 1981 年以降に発生した集中豪雨における１時間当たり最大雨量と，そのときに浸水被害を受けた地域の面積と棟数を示したものである。ⅠとⅡの資料に示した調節池が最初に供用を開始した 1997 年の前と後とを比較して，１時間当たり最大雨量と浸水面積及び浸水棟数はどのように変化したか，Ⅲのグラフから読み取れることを簡単に述べよ。

Ⅰ

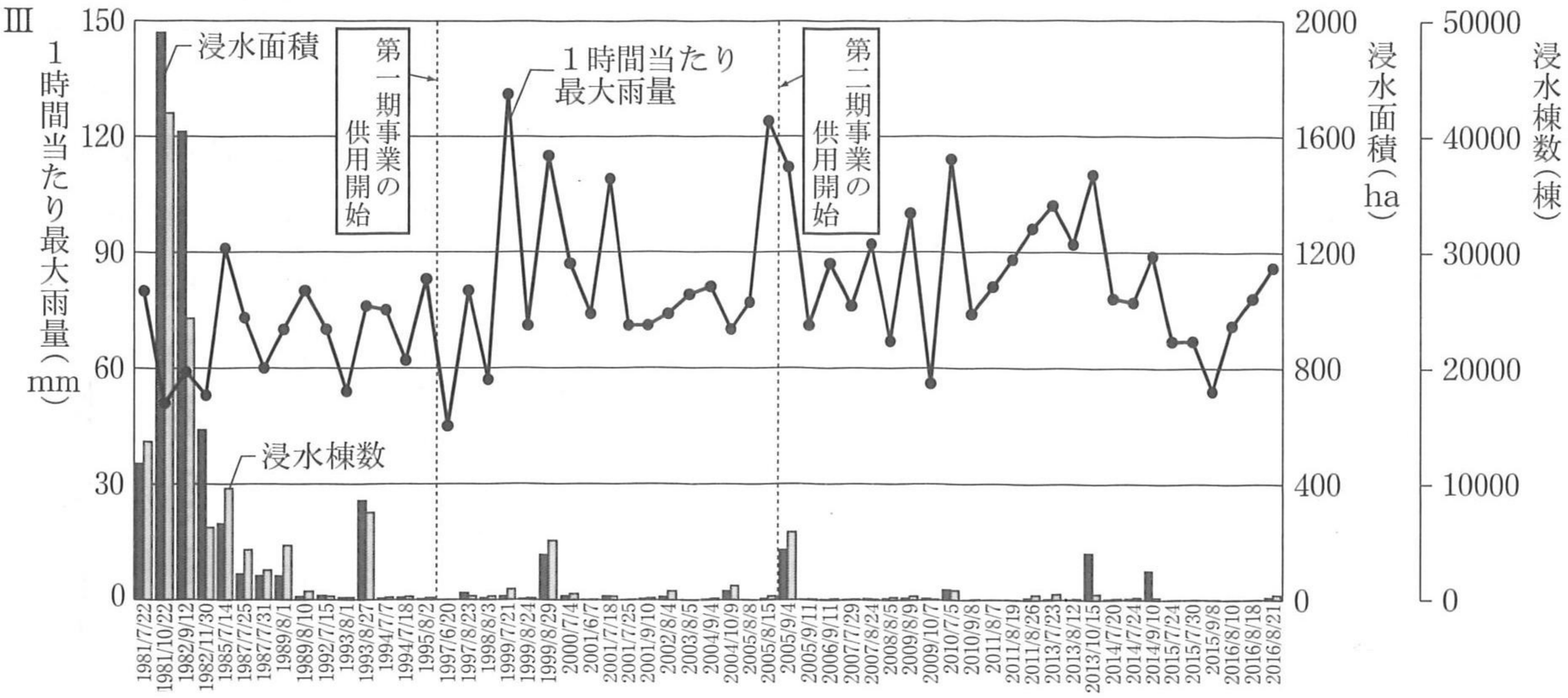


Ⅱ

	第一期事業	第二期事業
貯留量	24 万 m³	30 万 m³
トンネル延長	2.0 km	2.5 km
トンネル内径	12.5 m	
取水施設	神田川	善福寺川 妙正寺川
供用開始	1997 年４月	2005 年９月

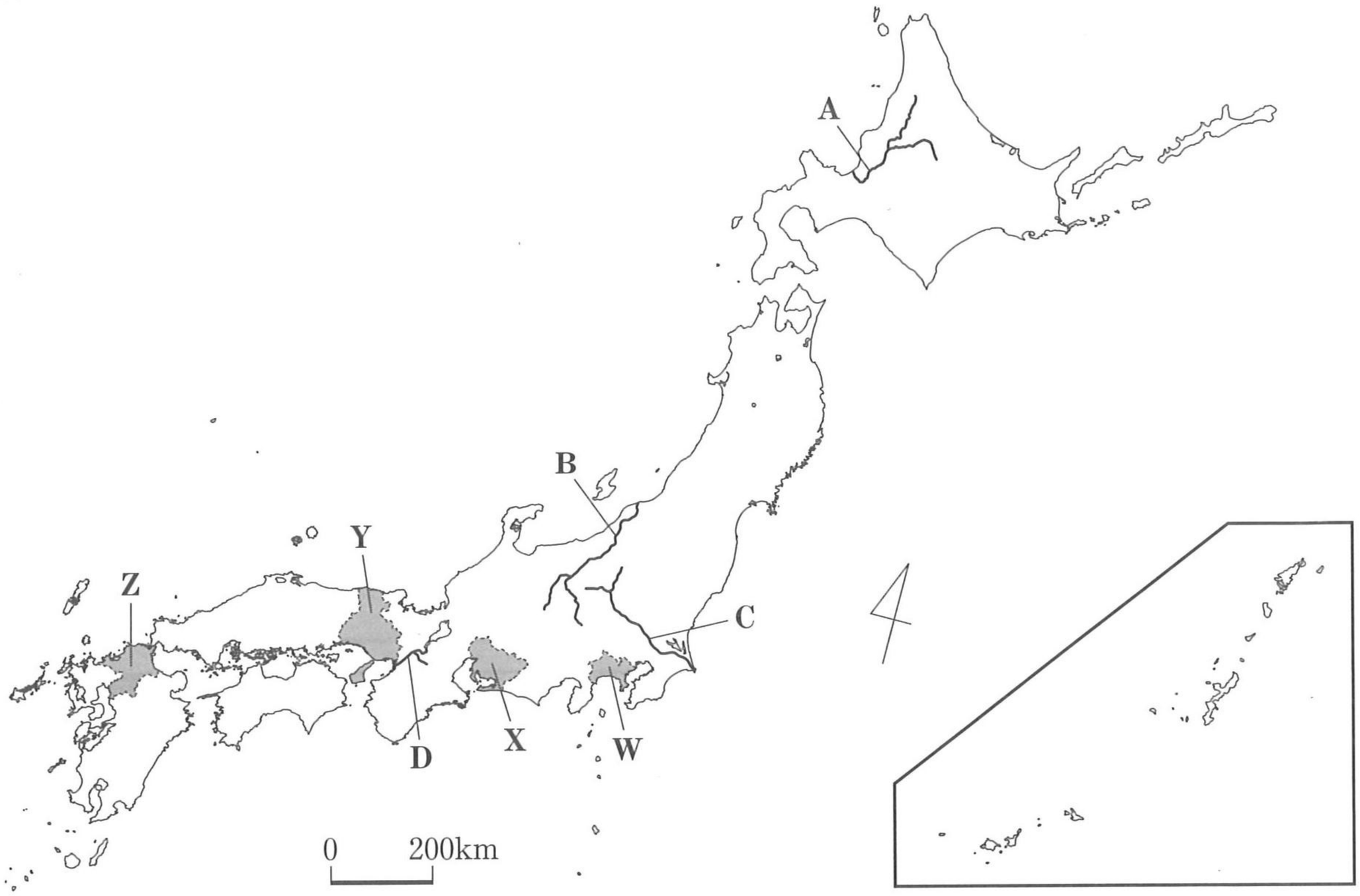
（「東京都建設局資料」より作成）

Ⅲ



（「東京都建設局資料」より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に**A**～**D**で示した**いずれか**の河川の下流に位置する都市の特色と流域の自然環境などの様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの河川に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	河川の下流に位置する都市の特色と流域の自然環境などの様子
ア	○江戸時代に，東廻(まわ)り航路が開かれた際の航路の難所として知られたところで，現在では，全国でも有数の水揚げ量をほこる漁港が位置している。醤油(しょうゆ)の産地としても有名である。 ○広大な平野を流れ，その平野では，夏は降水量が多いが，冬は乾燥した晴天が続くことが多い。下流域では，早場米の栽培が行われている，水郷(すいごう)と呼ばれる地域を流れる。
イ	○水陸の交通の要所であったところで，江戸時代末の日米修好通商条約で開港された五つの港のうちの一つがある。柳の木が多く植えられていることから「柳都(りゅうと)」とも呼ばれる。 ○上流，中流の地域は内陸性の気候で，寒暖の差が大きく，降水量が少ない。下流域は，季節風の影響で冬の降雪量が多く，豊富な雪解け水を利用した稲作が盛んに行われている。
ウ	○安土桃山時代に，豊臣秀吉(とよとみひでよし)が城を築いて政治の中心地となった。江戸時代には，商業の中心地として栄えて三都の一つに数えられ，現在も，日本第二の大都市圏を形成している。 ○日本最大の湖から流れ出しており，その湖に流れ込む河川も含めると，日本で最も支流の数の多い河川である。流域は，季節風の影響が少ないため，年間降水量があまり多くない。
エ	○明治時代に，本格的な開発が進められたときに開拓使(かいたくし)が置かれて以降，この地域の中心都市として発展した。市の名前は，現地の人々の言葉で，「乾いた大きい川」という意味を持つ。 ○河川の蛇行が激しく，流域には多くの三日月(みかづき)湖が見られる。下流域の平野は，泥炭(でいたん)地の地層が広がり，稲作に不向きな土地であったが，土地改良によって，現在は稲作が盛んである。

〔問２〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に**W**～**Z**で示した**いずれか**の県の2015年における過疎(かそ)地域の面積と各県の総面積に占める割合，昼夜間人口比率，2014年における製造品出荷額及び出荷額上位３位の業種とその製造品出荷額に占める割合を示したものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

	過疎地域		昼夜間人口比率	製造品出荷額(億円)	出荷額上位３位の業種とその割合(%)（左から，１位，２位，３位）
	面積(km^2)	割合(%)			
ア	2789	33.2	95.7	149600	鉄鋼(13.5)，化学(11.9)，食料品(10.4)
イ	1735	34.8	100.1	84762	輸送用機械(28.5)，食料品(10.7)，鉄鋼(10.7)
ウ	1383	26.7	101.4	439899	輸送用機械(53.5)，鉄鋼(5.8)，電気機械(4.9)
エ	7	0.3	91.2	178044	輸送用機械(20.7)，石油・石炭製品(17.1)，化学(10.3)

（注）昼夜間人口比率は，夜間人口を100としたときの昼間人口の割合。

（「データでみる県勢」2018年版ほかより作成）

Ⅱ

県の南部には人口100万人をこえる大都市も位置しているが，中部から北部にかけては人口が少なく過疎地域も見られ，2015年における県の人口約550万人のうち，約20万人が過疎地域に住んでいる。県庁所在地の都市では，1995年に大きな地震が起こり，甚大な被害が出た。

〔問３〕 次の地形図(国土地理院発行２万５千分の１の地形図「宇治(うじ)」より作成)から読み取れることがらについて正しく述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。



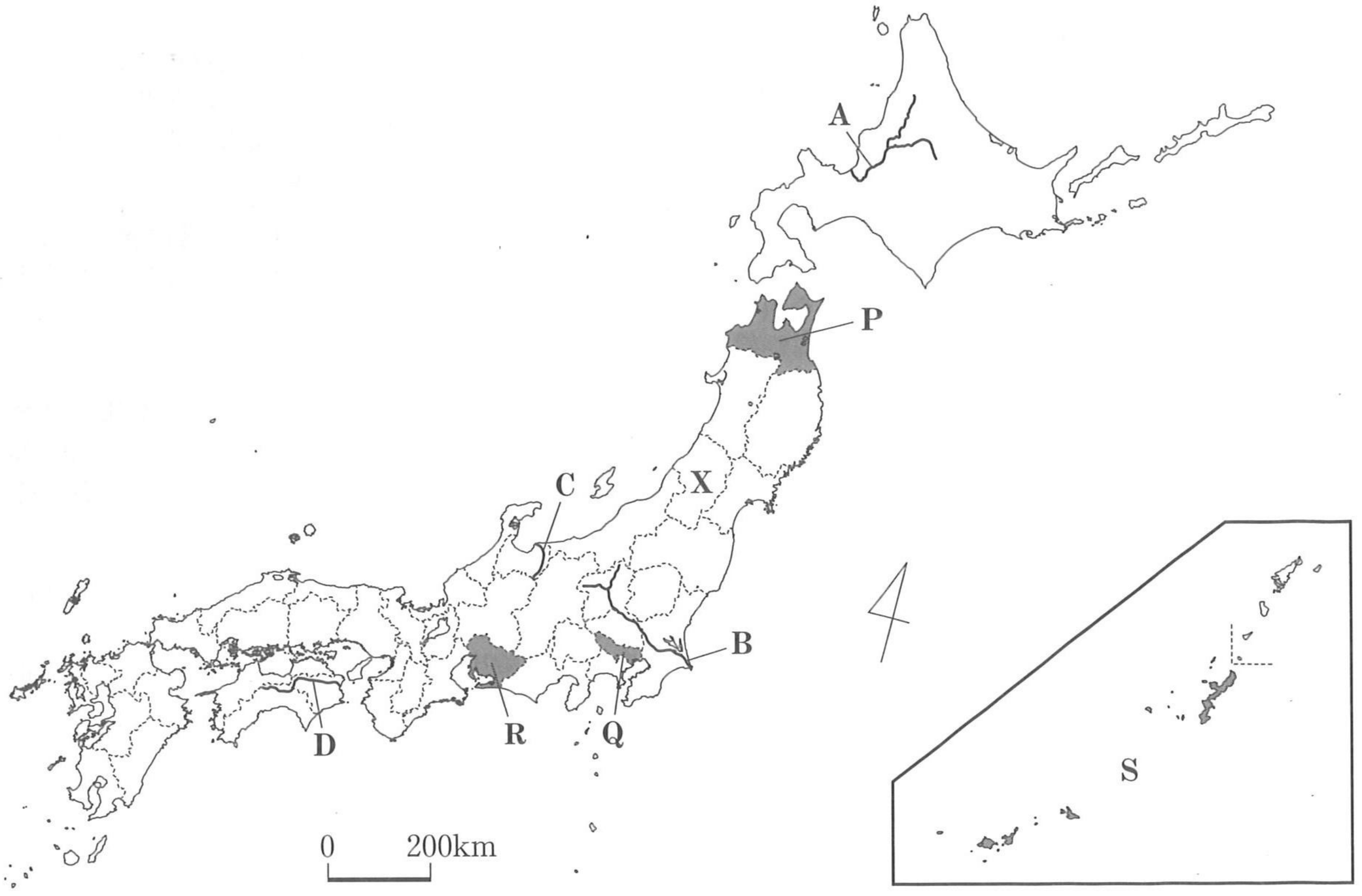
ア　JR「うじ」駅と宇治市役所の間の直線距離を地形図上で測ると約２ cmであるので，この間の実際の直線距離は約1000 mである。

イ　文化会館の周辺には，図書館や博物館(美術館)，病院などが見られる。

ウ　地形図に示した範囲で最も標高が高いのは仏徳山の山頂で，標高150 m以上の地域はない。

エ　地形図に示した範囲では，宇治川は，およそ南東から北西の方角に流れている。

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に**A**～**D**で示した**いずれか**の河川の長さと，流域の自然環境や河川の利用の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの河川に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	長さ（km）	流域の自然環境や河川の利用の様子
ア	194	上流では大歩危（おおぼけ），小歩危（こぼけ）と呼ばれる渓谷が見られる。この河川は降水量の多い地域を流れるが，山脈をはさんで北に位置する平野は降水量が少なく干害の被害を受けやすいため，山脈を貫通する用水路をつくり，生活用水や農業用水を供給している。
イ	85	標高3000ｍ級の山々が連なる山脈を水源とし，雪解け水によって水量が豊富で下流には扇状地（せんじょうち）が広がる。豊富な水量と急な傾斜が水力発電に適しており，第二次世界大戦後の電力不足を補うため，難工事の末，発電用の巨大ダムが建設された。
ウ	268	大きく蛇行しながら流れ，流域には三日月湖（みかづき）と呼ばれる旧流路の跡がいくつも見られる。流域には，泥炭地（でいたんち）と呼ばれる農業に適さない土地が広がっていたが，排水路の整備や客土（きゃくど）などの土地改良を行い，現在では日本有数の稲作地帯となっている。
エ	322	我が国最大の流域面積を誇る河川で，「坂東太郎（ばんどうたろう）」という異名を持ち，江戸時代初めに大工事が行われて現在の流路に変えられた。上流から中流にかけて多くのダムが建設されており，大都市圏の水瓶（がめ）として重要な役割を担っている。

（「理科年表」2019年版などより作成）

〔問２〕 次のページの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した，**P**～**S**の**いずれか**の都県の，2017年における有業者数とその内訳，2016年～2017年における人口増減率，自然増減率，社会増減率を示したものである。**Q**の都県に当てはまるのは，次のページの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

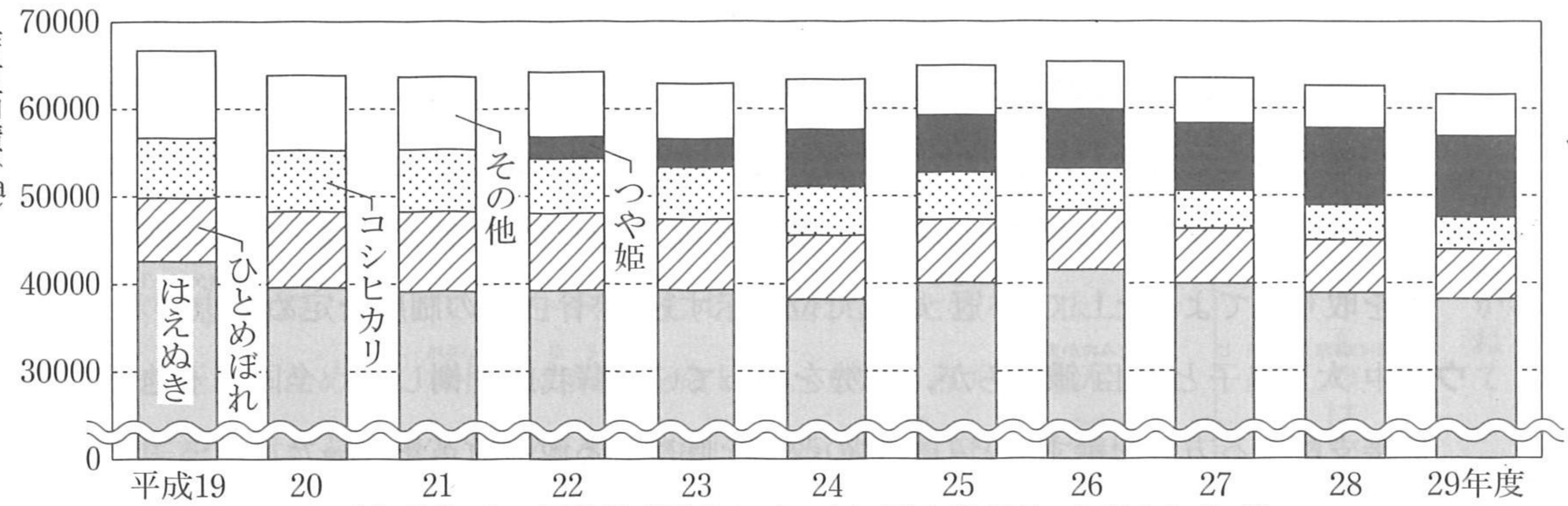
	有業者数（千人）	農業・林業	製造業	卸売業・小売業	宿泊業・飲食サービス業	人口増減率（%）	自然増減率（‰）	社会増減率（%）
ア	7887	34	748	1175	456	0.73	-0.03	0.77
イ	4069	75	1017	630	230	0.24	-0.03	0.27
ウ	704	25	33	100	57	0.26	0.29	-0.03
エ	649	68	68	101	32	-1.16	-0.73	-0.43

（注）自然増減率は，出生数から死亡数を引いた自然増減数の割合。社会増減率は，転入者数から転出者数を引いた社会増減数の割合。人口増減率は自然増減率と社会増減率を合わせたもの。

（「データでみる県勢」2019年版より作成）

〔問３〕 略地図中に**X**で示した山形県では稲作が盛んで，「はえぬき」や「つや姫」などの品種が主に栽培されている。次のⅠの資料は，山形県における米の品種別の作付面積の推移を示したものである。Ⅱの資料は，山形県産の「はえぬき」，「つや姫」と他県産の品種について，最も品質が良いとされる「特A」に指定された年を◎で示したものである。Ⅲの資料は，これらの品種の，年平均取引価格の推移を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を参考に，山形県では米の品種別の作付面積にどのような変化が見られるか，その理由として考えられることに触れて，簡単に述べよ。

Ⅰ



（山形県 米の図書館「平成30年 米に関する資料」などより作成）

Ⅱ

道県	品種名	年度（平成）											
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
山形県	はえぬき	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	つや姫				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
新潟県（魚沼産）	コシヒカリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
秋田県	あきたこまち	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
宮城県	ひとめぼれ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎
北海道	ゆめぴりか					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

（「日本穀物検定協会 資料」より作成）

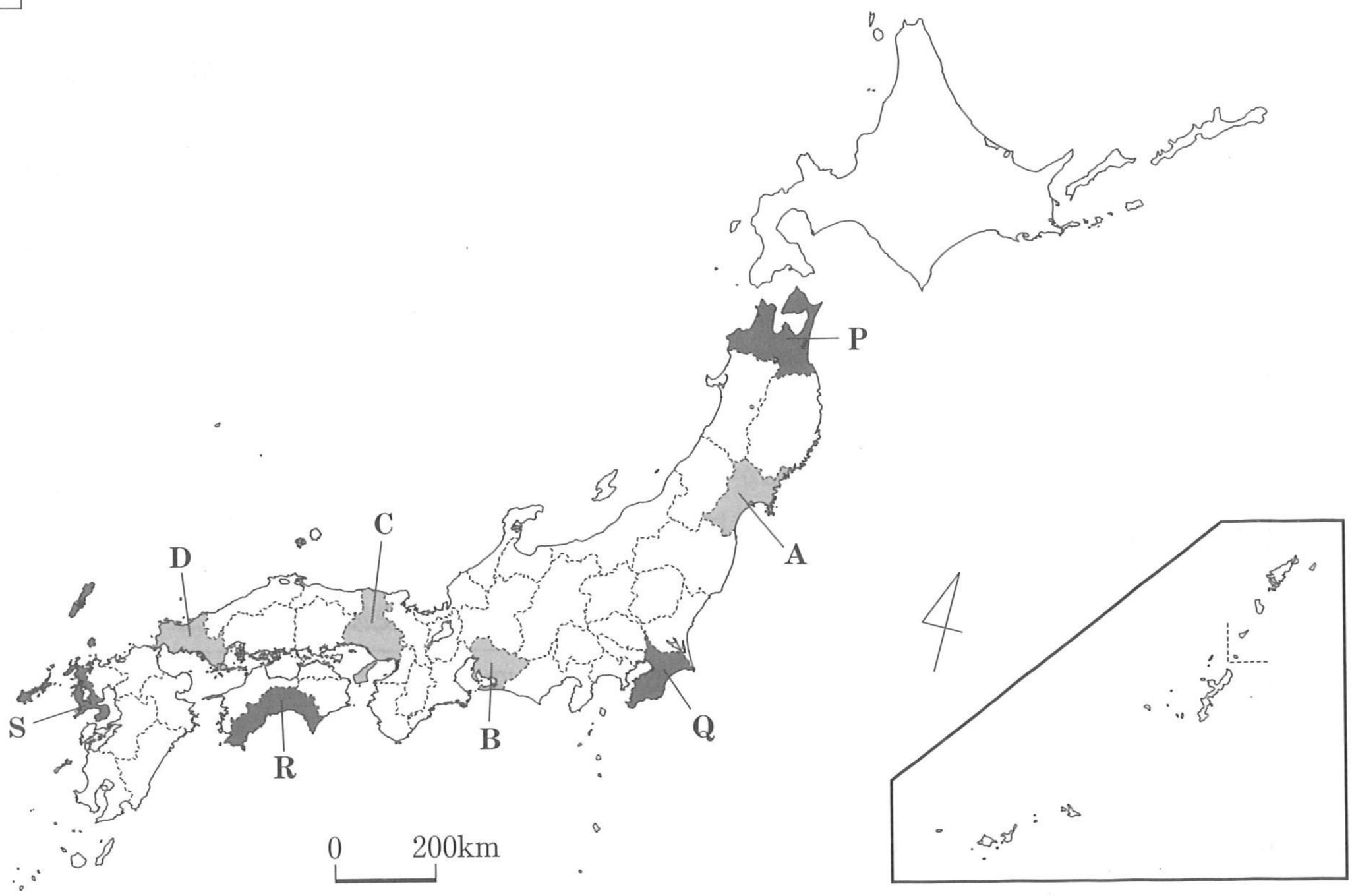
Ⅲ

道県	品種名	年度（平成）							
		19	21	23	25	27	28	29	30
山形県	はえぬき	13549	13914	14427	13587	12445	13841	15360	15474
	つや姫	－	－	－	16997	17953	17848	18175	18371
新潟県（魚沼産）	コシヒカリ	23980	22866	23432	21125	20442	20434	20782	21026
秋田県	あきたこまち	13849	14603	15315	14034	12845	14175	15995	15840
宮城県	ひとめぼれ	13743	14526	14689	14278	12827	13950	15496	15530
北海道	ゆめぴりか	－	－	－	17512	16209	16479	17226	16250

※単位：円，玄米60 kgの税込価格。

（農林水産省「米の相対取引価格」より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▨ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県の自然環境と交通の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の**ア**～**エ**のうちではどれか。

ア 中央部に山地があり，南北で二つの海に面している。江戸時代にこの地域を治めていた大名の城下町は北部に位置しているが，現在では，石油化学コンビナートなどの臨海工業地域が発達している南部に人口が集中している。南側の海に沿って新幹線などの鉄道や道路が東西に走っており，県の西端にある海峡では橋とトンネルによって隣の地方と結ばれている。

イ 県の西部には山脈があって隣の県との県境となっており，東部は海に面していて北東部はリアス海岸となっている。この地域にある漁港や水産加工工場などは，2011 年に発生した地震で大きな被害を受け，復興に向けた取り組みが行われている。県庁所在地はこの県が属している地方の地方中枢都市で，新幹線や高速道路が通り，首都圏と結ばれている。

ウ 江戸時代の親藩（しんぱん）の城下町から発展した県庁所在地は，三大都市圏の中心地の一つとして日本を代表する大都市である。県の西部には３本の河川が流れ，流域は広大な平野となっており，この平野を横切る形で新幹線などの鉄道や高速道路が走っている。また，県庁所在地では，中心部から放射状に道路が広がり，中心部には幅が 100 ｍほどある道路も見られる。

エ 県の中央部が山地で，南側の海に沿う狭い平野に都市が続き，この都市と都市を結ぶ形で新幹線などの鉄道や高速道路が東西に走っている。県庁所在地では，丘陵地を切り開いて宅地が建設され，そこで出た土砂を使って海を埋め立てて人工島をつくり，コンテナ埠頭などを設けた。南部にたまねぎの生産で有名な島があり，1998 年にこの島へ渡る大きな橋が完成した。

〔問２〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に■で示した，**P**～**S**の**いずれか**の県の海面漁業の漁業就業者，保有漁船，漁業漁獲量及びそのうちのかつお類，いわし類，ぶり類，あじ類，たい類の漁獲量を示したものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。また，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ

	漁業就業者（人）	保有漁船（隻）	漁業漁獲量（トン）					
				かつお類	いわし類	ぶり類	あじ類	たい類
ア	14310	12025	286490	10512	86117	11138	54996	4340
イ	9879	5780	107003	2369	11643	2898	250	354
ウ	4734	4019	115158	801	32637	7862	3657	794
エ	3970	3321	66136	20113	12790	2186	3038	334

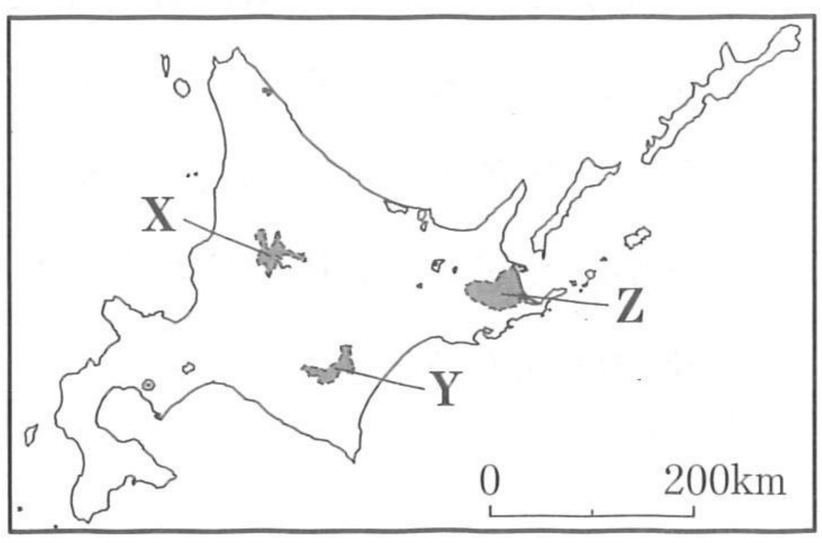
（「データでみる県勢」2019年版より作成）

Ⅱ

太平洋に面した県で，近くに黒潮（くろしお）と親潮（おやしお）がぶつかる潮目があることなどから漁業が盛んで，2016年における水揚げ量が最も多い漁港である銚子（ちょうし）港もこの県に位置している。漁業就業者一人当たりの漁獲量は約24トン，保有漁船一隻当たりの漁業漁獲量は約29トンで，ともにこの４県の中で最も多い。Ⅰの表に示した漁獲量の内訳では，いわし類が最も多く，次いで，ぶり類，あじ類，かつお類の順で，たい類が最も少ない。

〔問３〕 次のⅠの略地図中の**X**は旭川（あさひかわ）市，**Y**は帯広（おびひろ）市，**Z**は別海（べっかい）町の位置を示したものである。Ⅱの表は，2015年におけるこの三つの市と町の販売農家数と耕地面積を示したものである。Ⅲのグラフは，三つの市と町の耕地面積の内訳を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を参考に，旭川市，帯広市と比較した別海町の農業の特色について，販売農家一戸当たりの耕地面積と耕地面積の内訳に着目して，簡単に述べよ。

Ⅰ

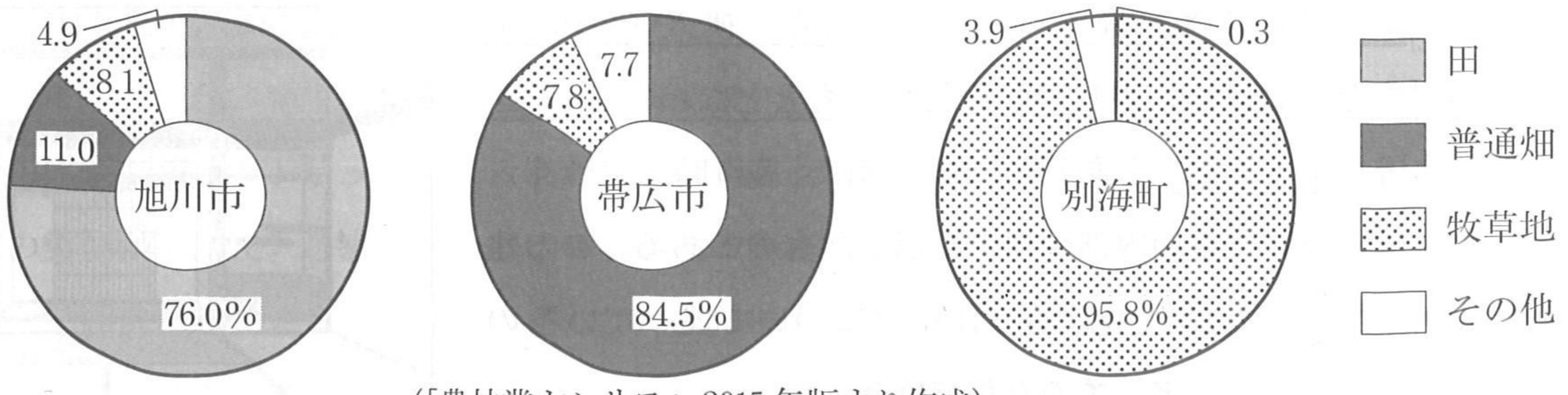


Ⅱ

	販売農家数（戸）	耕地面積（ha）
旭川市	1133	13201
帯広市	653	22795
別海町	755	60481

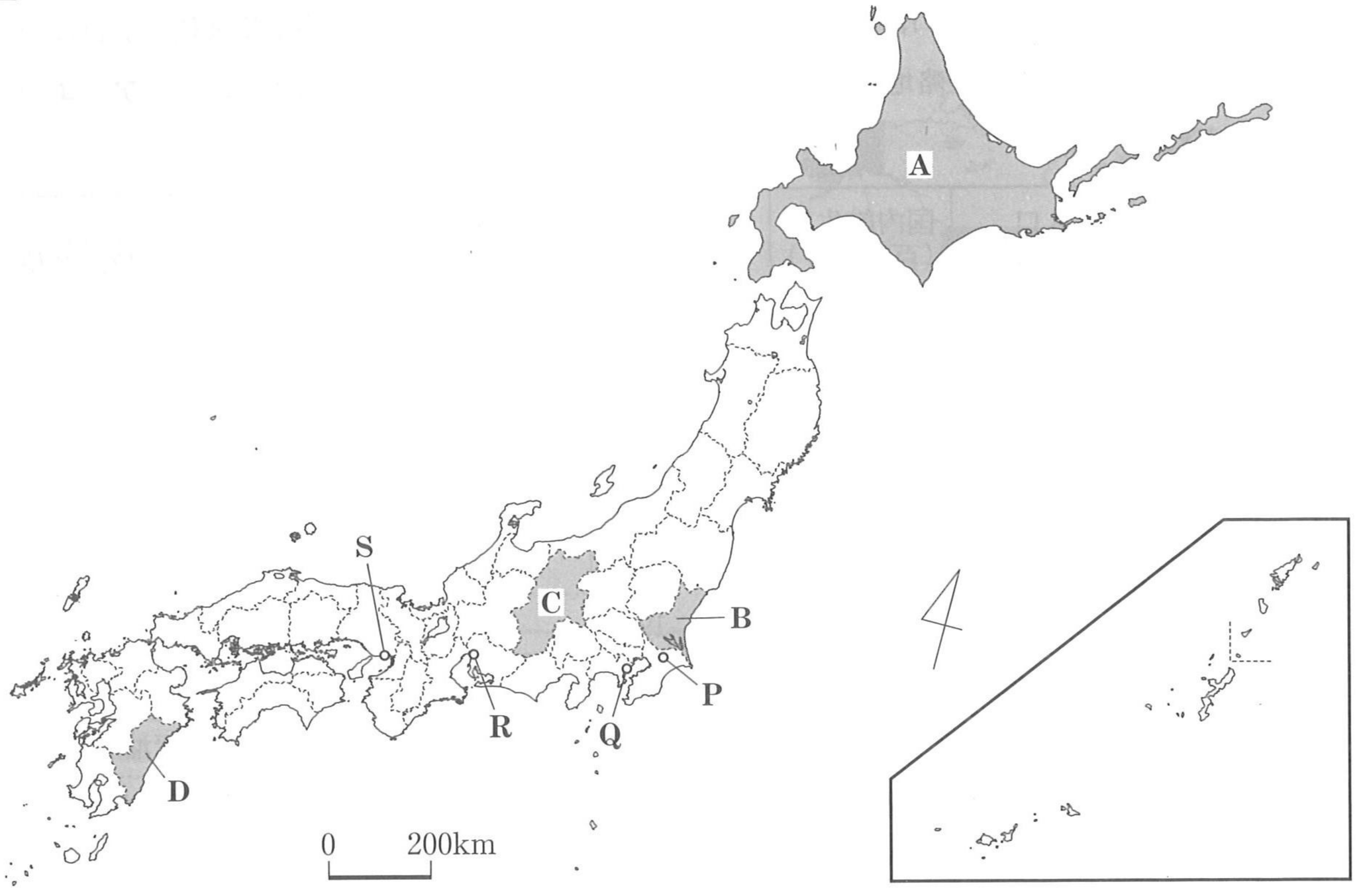
（「農林業センサス」2015年版より作成）

Ⅲ



（「農林業センサス」2015年版より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▨ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の道県の，2017 年における全国１位の生産量をあげている野菜と，野菜生産などの農業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの道県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	全国１位の野菜	野菜生産などの農業の様子
ア	きゅうり	○温暖な気候を利用して，かつては，１年に２回米をつくる二期作が行われていたが，国の減反政策により，現在はほとんど行われていない。 ○温暖な気候とビニルハウスを利用した野菜の促成(そくせい)栽培が盛んで，主に夏に出荷される野菜を春に出荷することで，高い値段で売り利益をあげている。
イ	だいこん にんじん たまねぎ	○農家一戸当たりの耕地面積が全国平均の約 10 倍あり，畑作のほか，畜産や稲作も盛んである。広い耕地を大型の機械で耕す大規模農業が行われている。 ○同じ作物をつくり続けることで土地の栄養が落ちる連作(れんさく)障害を防ぐため，同じ土地で，年や時期ごとに異なる作物をつくる輪作(りんさく)が取り入れられている。
ウ	はくさい ピーマン れんこん	○火山灰が積もってできたロームと呼ばれる赤土におおわれた台地が広がる地域では，水はけが良く，水が得にくいことから，畑作が盛んに行われている。 ○大消費地の近くに位置しているため，輸送にかかる費用や時間が少なくすむことから，新鮮さが要求される野菜や牛乳，鶏卵などの生産が盛んである。
エ	レタス セロリ	○標高が高い高原では，かつては，そばなどの雑穀をわずかに栽培するだけであったが，第二次世界大戦後開拓が進められ，高原野菜の産地となった。 ○標高が高く，夏でも冷涼な気候をいかして，キャベツやレタスなどの高原野菜を，通常の出荷時期よりも遅らせて出荷する抑制(よくせい)栽培が行われている。

〔問２〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に**P**～**S**で示した，成田国際空港，横浜港，名古屋港，神戸港の**いずれか**の，2018年における輸出額と輸出額上位３位の品目，輸入額と輸入額上位３位の品目を示したものである。Ⅱの文章で述べている港(空港)に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。また，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ

	輸出額（億円）	輸出額上位３品目（左から１位，２位，３位）	輸入額（億円）	輸入額上位３品目（左から１位，２位，３位）
ア	114588	科学光学機器，金(非貨幣用)，集積回路	137040	通信機，医薬品，集積回路
イ	124845	自動車，自動車部品，金属加工機械	53368	液化ガス，衣類，石油
ウ	77187	自動車，自動車部品，内燃機関	47538	石油，液化ガス，アルミニウム
エ	58198	プラスチック，建設・鉱山用機械，内燃機関	34385	衣類，たばこ，有機化合物

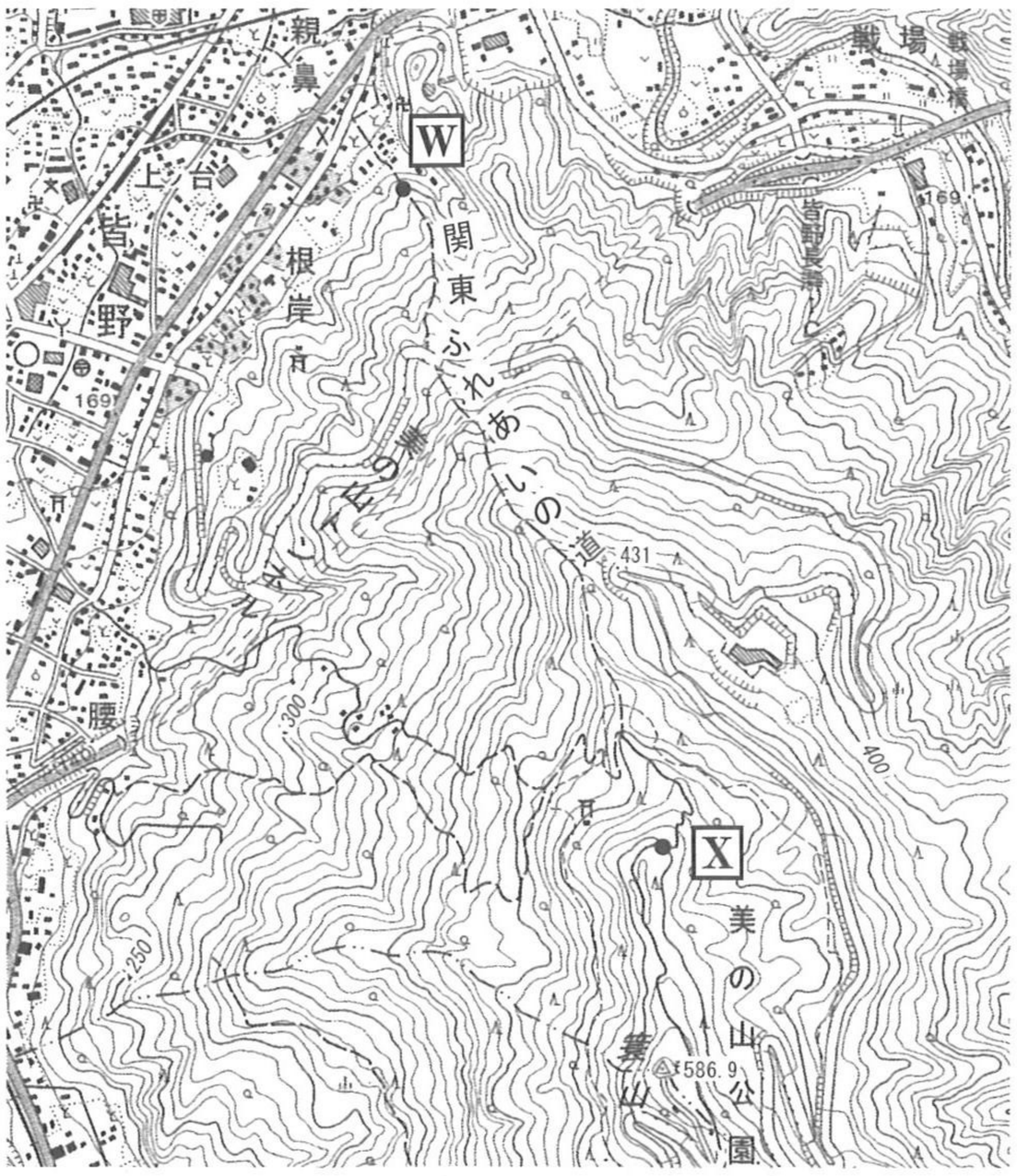
（「日本国勢図会」2019/20年版より作成）

Ⅱ

この港(空港)の輸出額と輸入額を合計すると20兆円を上回り，日本の貿易港全体の１割以上を占めている。軽量のわりに高価なものの輸出入が多いのが特徴で，輸入額が輸出額を上回っている。

〔問３〕 次のⅠの地形図(国土地理院 平成18年発行１：25000「皆野」より作成)から読み取れることがらについて述べたⅡの文章中の［ **Y** ］，［ **Z** ］に当てはまる語の組み合わせとして適切なのは，下の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ



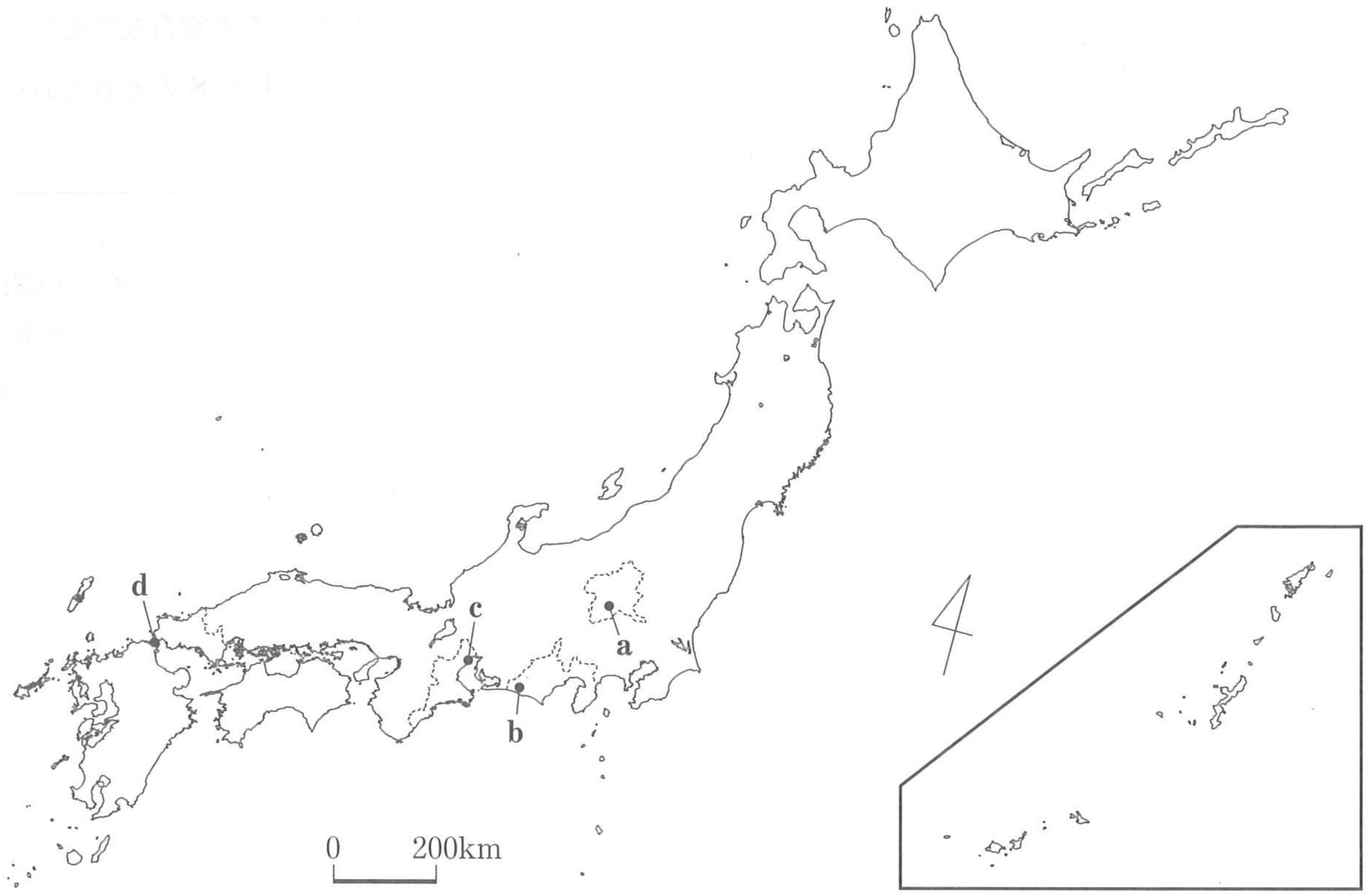
Ⅱ

地形図中の「関東ふれあいの道」を，**W**地点から**X**地点まで登ったとき，標高差は，［ **Y** ］である。また，この間の「関東ふれあいの道」は，主に［ **Z** ］を通っている。

ア **Y**…250 m，**Z**…尾根　　**イ** **Y**…350 m，**Z**…尾根

ウ **Y**…250 m，**Z**…谷　　**エ** **Y**…350 m，**Z**…谷

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

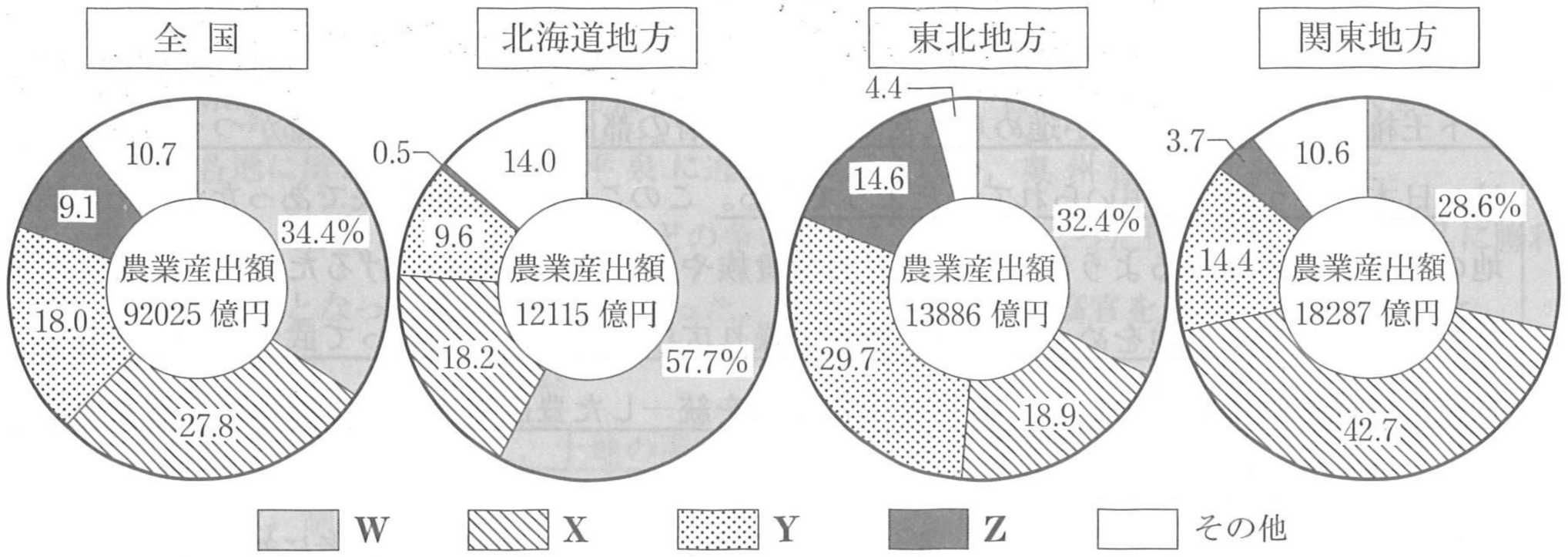


〔問１〕 略地図中の **a** ～ **d** は，県庁所在地ではないが，県内で最も人口が多い都市を示したものである。次の表の**ア**～**エ**の文章は，**a** ～ **d** の**いずれか**の都市の，2018 年における人口及びその都市の産業の様子，その都市が属している県の産業などの様子についてまとめたものである。略地図中の **a** ～ **d** のそれぞれの都市に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	人口（人）	各都市の産業の様子，その都市が属している県の産業などの様子
ア	807013	○政令指定都市にも指定されており，近くの湖ではうなぎの養殖が盛んである。全国のほぼ100％を占めるピアノの生産のほか，オートバイの製造も盛んである。 ○製造品出荷額が47都道府県の中で第３位で，輸送用機械工業の出荷額の占める割合が高い。東部の都市では，製紙・パルプ工業が盛んに行われている。
イ	374543	○古くから交通の要所で，現在も，上越新幹線と北陸新幹線の分岐駅が位置している。物資が集まることから商業が盛んで，日本一のだるまの産地でもある。 ○明治時代初めに，官営の製糸工場がつくられた。近年は高速道路沿いに工業団地の造成が進み，自動車やその部品，電気機械などをつくる工業が発達している。
ウ	312134	○もとは市場町で，江戸時代には宿場町として栄えた。第二次世界大戦後，石油化学コンビナートがつくられて発展したが，大気汚染による公害問題が起こった。 ○内陸部は山岳地帯で林業が，沿岸部はリアス海岸で養殖業が行われている。北部は中京工業地帯の一部で，輸送用機械工業や電気機械工業が盛んである。
エ	266429	○潮の流れの速い海峡に臨み，海と陸両方の交通の要地である。平氏と源氏の最後の戦いや日清戦争の講和会議など，歴史上の重要な出来事が起こっている。 ○石灰岩でつくられたカルスト地形が見られ，セメント工場が多く立地する。南部の沿岸部には石油化学コンビナートがある。伝統工業では萩（はぎ）焼などが有名である。

（「日本国勢図会」 2019/20 年版より作成）

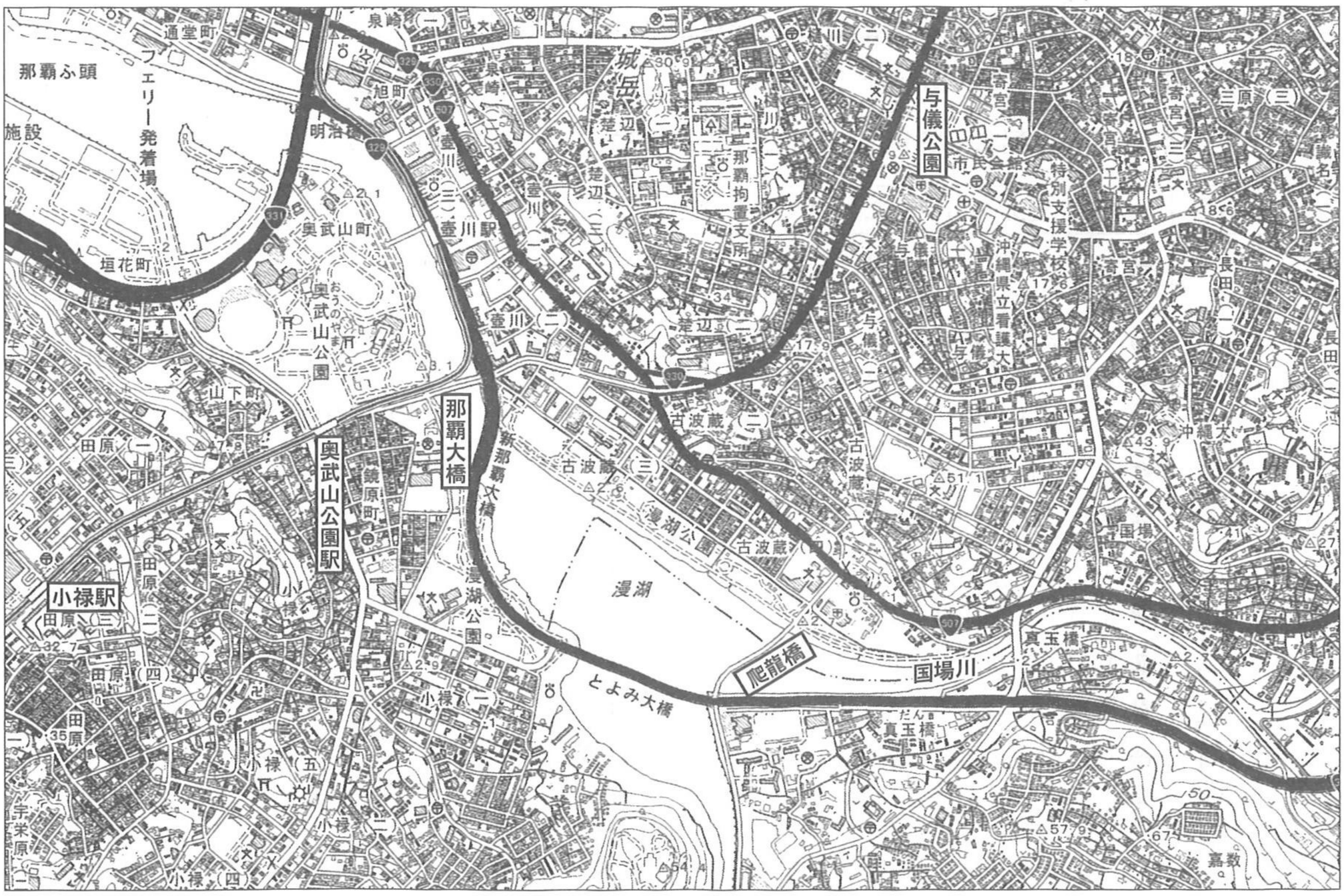
〔問２〕 次のグラフは，2016 年における全国及び北海道地方，東北地方，関東地方の農業産出額とその内訳を示したもので，グラフ中の **W** ～ **Z** は，下の**ア**～**エ**の**いずれか**に当てはまる。**W** ～ **Z** のそれぞれに当てはまるのは，下の**ア**～**エ**のうちのどれか。



（「データでみる県勢」2019 年版より作成）

ア 米　　**イ** 野菜　　**ウ** 畜産　　**エ** 果実

〔問３〕 次の地形図（国土地理院 平成 30 年発行２万５千分の１地形図「那覇」より作成）から読み取れることがらについて正しく述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。



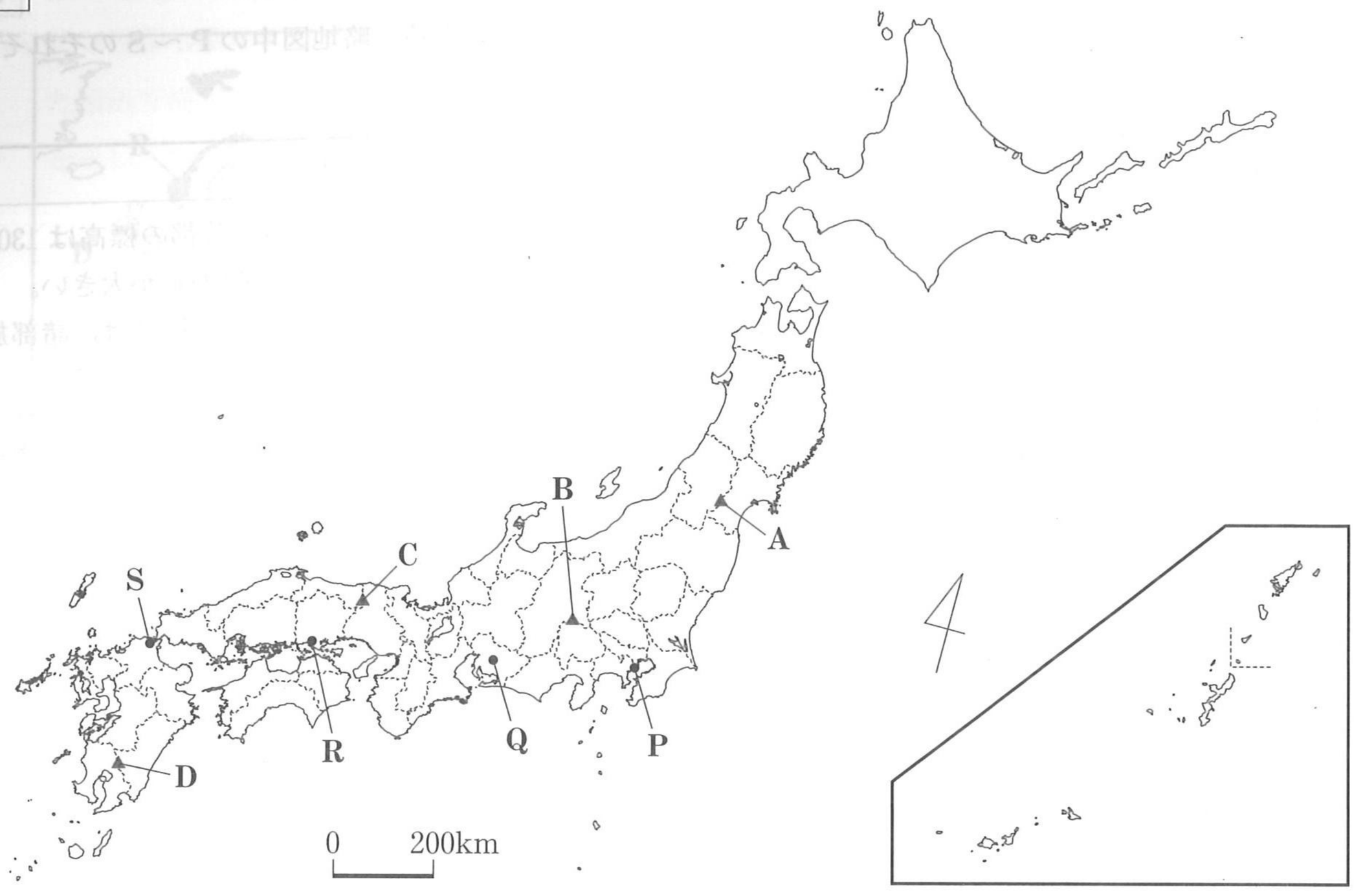
ア 小禄駅と奥武山公園駅の間の直線距離は地形図上で約 4 cm なので，実際は約 1000 m である。

イ 国場川にかかる爬龍橋から見て，那覇大橋は北東の方角に位置している。

ウ 与儀公園の近くには，保健所や郵便局，警察署のほか，博物館（美術館）が二つ見られる。

エ 地形図に示した範囲では，最も標高が高いところでも 50 m に満たない。

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 略地図中に**A**～**D**で示した，蔵王山（ざおうざん），八ヶ岳（やつがたけ），氷ノ山（ひょうのせん），霧島山（きりしまやま）は，それぞれ二つの県にまたがっている山である。次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に**A**～**D**で示した**いずれか**の山がまたがっている二つの県の，2017年における面積，人口及びそれぞれの山とその周辺地域の産業の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの山に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	面積(km^2)	人口(人)	山とその周辺地域の産業の様子
ア	9187	1625651	山頂の標高は1700 m。現在も活動が活発な活火山で，そのエネルギーは地熱発電にも利用されている。周辺には，火山灰におおわれたシラスと呼ばれる台地が見られ，畜産が盛んに行われている。
	7735	1088780	
イ	8401	5503111	山頂の標高は1510 m。ブナの自然林が残り，イヌワシやヤマネなども生息する自然豊かな山である。北西に位置する平野には，日本最大級の砂丘が見られ，二十世紀なしなどの特産物で知られる。
	3507	565124	
ウ	9323	1101699	山頂の標高は1841 m。活火山で，火口湖である御釜（おかま）や噴気口が見られ，温泉などの観光資源に富んでいる。東側の県ではこけし，西側の県では将棋（しょうぎ）の駒（こま）や紬（つむぎ）などの伝統的工芸品が有名である。
	7282	2323325	
エ	13562	2075807	山頂の標高は2899 m。フォッサマグナの中にある火山群の一部で，標高が高く，山ろくには国立天文台がある。東側に広がる野辺（のべ）山原（やまはら）では，レタスやはくさいなどの高原野菜の栽培が盛んである。
	4465	823333	

（注）それぞれの二つの県は，面積の大きいほうを上段，小さいほうを下段に示している。

（「データでみる県勢」2019年版より作成）

〔問２〕 略地図中の**P**～**S**は，それぞれの県で２番目に人口が多い都市を示したものである。次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中の**P**～**S**の**いずれか**の都市の，2017年における面積，人口，年齢別人口構成，2015年における就業者数及びその内訳を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの表の**ア**～**エ**の**いずれか**の都市について述べたものである。Ⅱの文章に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。また，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ

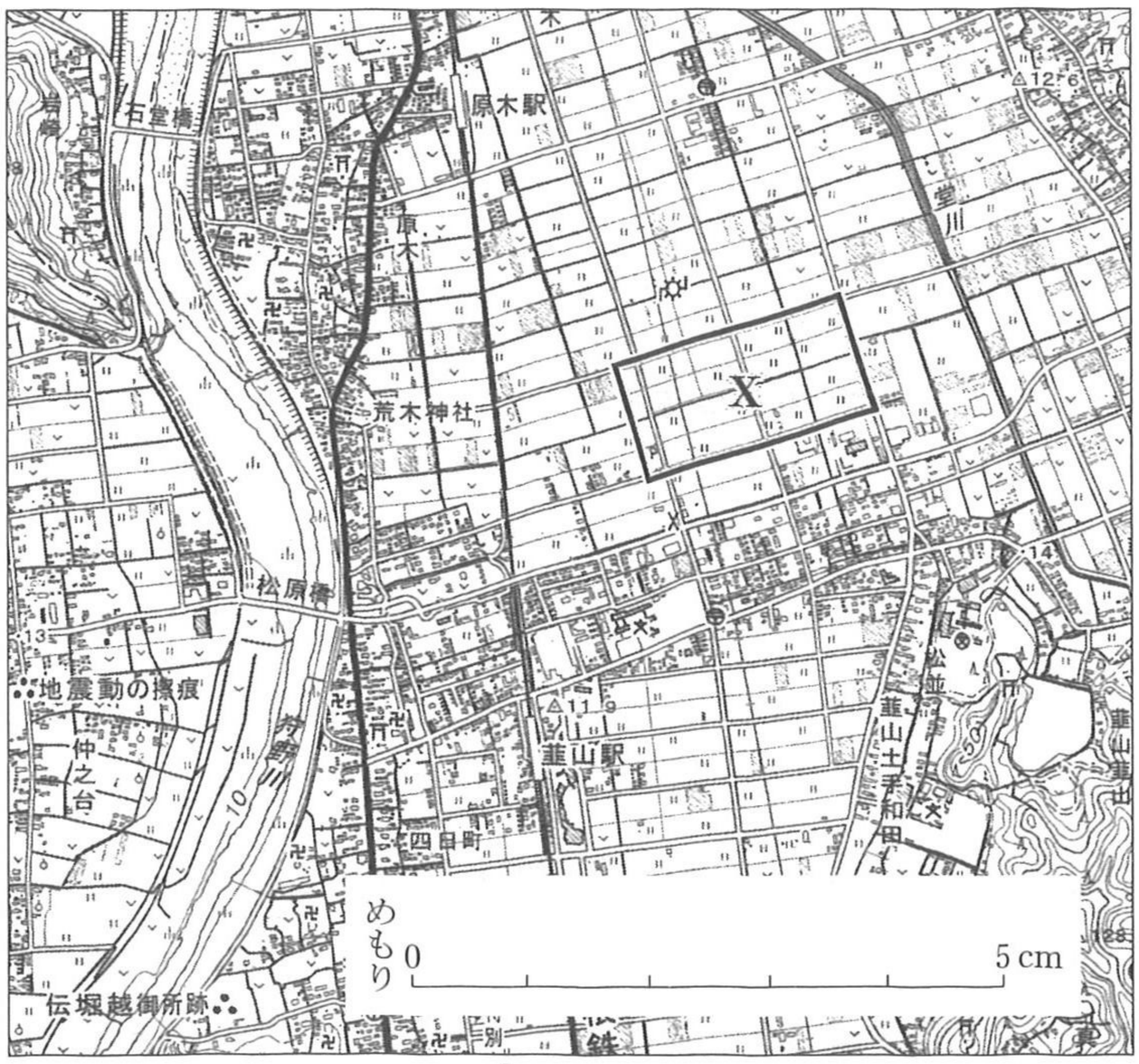
	面積（km^2）	人口（人）	年齢別人口構成（%）			就業者数（人）	内訳（%）		
			0～14歳	15～64歳	65歳以上		第１次産業	第２次産業	第３次産業
ア	143	1474167	13.2	67.4	19.5	676420	0.4	21.3	78.3
イ	492	966628	12.7	58.0	29.3	415092	0.8	24.6	74.6
ウ	356	484174	14.2	59.5	26.3	218796	2.0	31.1	66.9
エ	918	424095	14.1	64.0	21.9	212535	2.0	47.3	50.7

（「データでみる県勢」2018年版，2019年版より作成）

Ⅱ

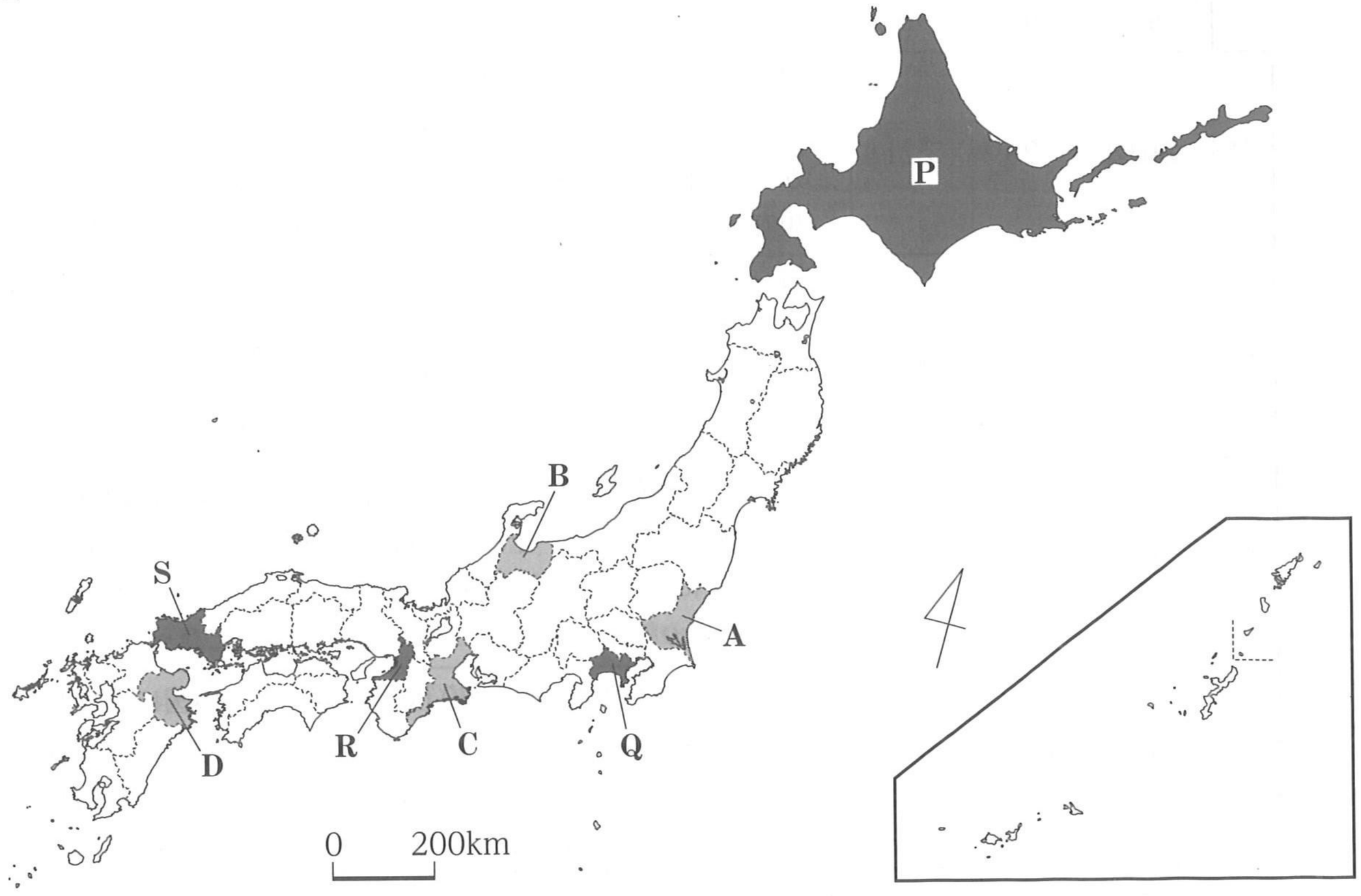
1951年に挙母（ころも）市として誕生したが，自動車産業が発達したことから1959年に市名を変更した。全国にある都市の中で製造品出荷額が最も多く，自動車工場やその関連工場が多く立地しており，この四つの都市の中で，工業が含まれる産業で働く人の割合が最も高い。2017年における０～14歳の人口は約６万人でこの四つの都市の中で最も少なく，人口密度は約460人/km^2でこの四つの都市の中で最も低い。

〔問３〕 次の地形図（国土地理院 平成30年発行２万５千分の１「韮山（にらやま）」より作成）中に**X**で示した地域に見られる土地利用とその地域の実際の面積を正しく組み合わせているのは，右の表の**ア**～**エ**のうちのどれか。



	土地利用	実際の面積
ア	田（水田）	125000 m^2
イ	田（水田）	625000 m^2
ウ	畑	125000 m^2
エ	畑	625000 m^2

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▨ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県のエネルギー開発と産業の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	エネルギー開発と産業の様子
ア	○北部の臨海部に石油化学コンビナートが形成されている。かつて石油化学コンビナートからの排煙によって，四大公害病の一つに数えられた公害病が発生し，問題となった。 ○石油化学コンビナートに隣接する火力発電所では，再生可能エネルギー導入の取り組みとして，木などからつくったペレットを利用したバイオマス発電設備の建設が進められている。
イ	○南部の海岸は遠浅の海が続き，陸の孤島とも呼ばれていたが，掘り込み式の港をつくったことで，製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並ぶ臨海工業地域が形成されている。 ○県内に風力発電所がいくつかあるが，特に南部の臨海部には10以上の風力発電施設が設置されてウインドファームと呼ばれ，海岸沿いに並ぶ風車の景観はドラマ撮影にも使われる。
ウ	○南部には東西に山地が走り，県の総面積の約70％を森林が占めているため，2018年における素材生産量は全国第５位，林産物であるしいたけの生産量は全国第１位である。 ○温泉が数多く位置し，2017年における源泉数は全国第１位である。隣接する県との県境付近に連なる標高1000ｍを超える高原地帯には，日本最大の地熱発電所がつくられている。
エ	○隣の県との県境に，3000ｍ級の山々が連なる山脈が位置しており，山岳地帯から流れ出す多数の河川にダムが建設され，水流の落差を利用した水力発電が盛んに行われている。 ○水力発電による電力と豊かな雪解け水を利用してアルミニウム精錬（せいれん）が盛んだったが，現在は，輸入したアルミニウムをサッシなどに加工する工業が，地場産業として発達している。

〔問2〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した**P**～**S**の**いずれか**の道府県の，2018年における従業者4人以上の製造業事業所の事業所数，従業者数，2017年における従業者4人以上の製造業事業所の製造品出荷額等とその内訳を，金属工業，化学工業などの基礎素材型，機械工業などの加工組立型，食料品工業や繊維工業などの生活関連型の3類型に分類した出荷額を示したものである。Ⅱの文章で述べている道府県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。また，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ

	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（億円）			
				基礎素材型	加工組立型	生活関連型
ア	1709	93054	61097	43401	13714	3890
イ	15784	443034	169957	86440	57039	26479
ウ	7604	359025	179564	69909	85159	24496
エ	5080	167634	61307	26461	8710	26137

（経済産業省「工業統計調査」より作成）

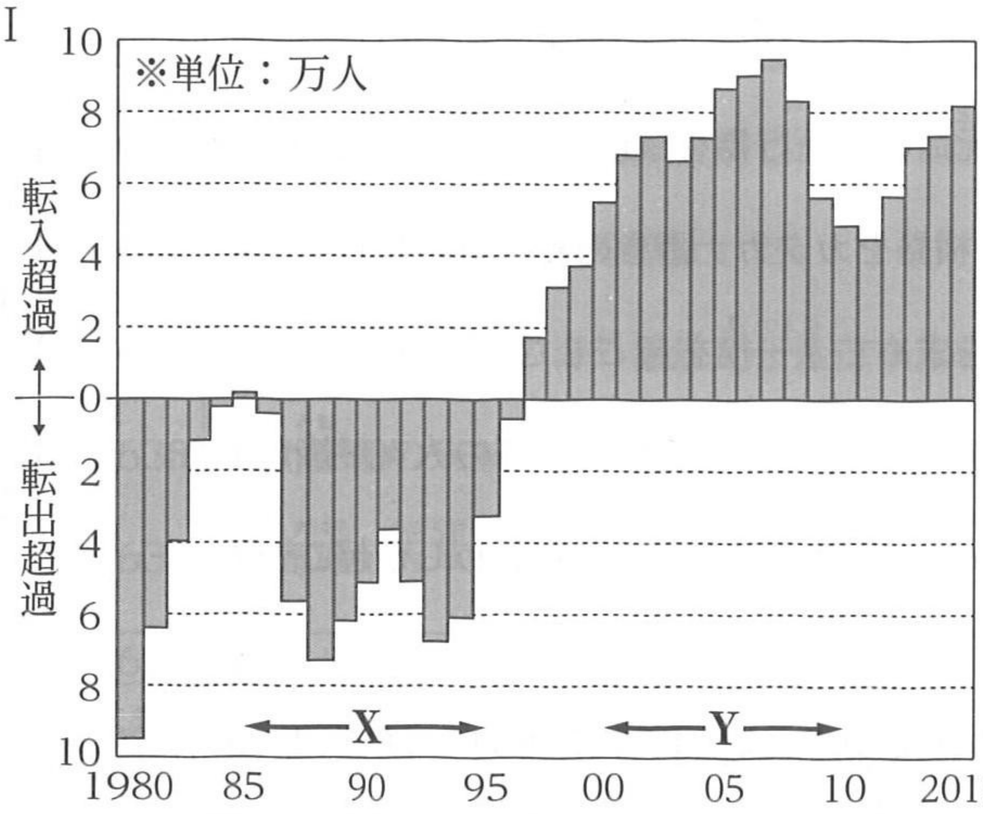
Ⅱ

○明治時代に近代的な紡績工場がつくられて繊維工業が発展し，東洋のマンチェスターとも呼ばれて我が国の産業革命を牽引（けんいん）した。そうした背景から，現在でも製造品出荷額等に占める生活関連型の割合が高く，4道府県の中で2番目に高い。

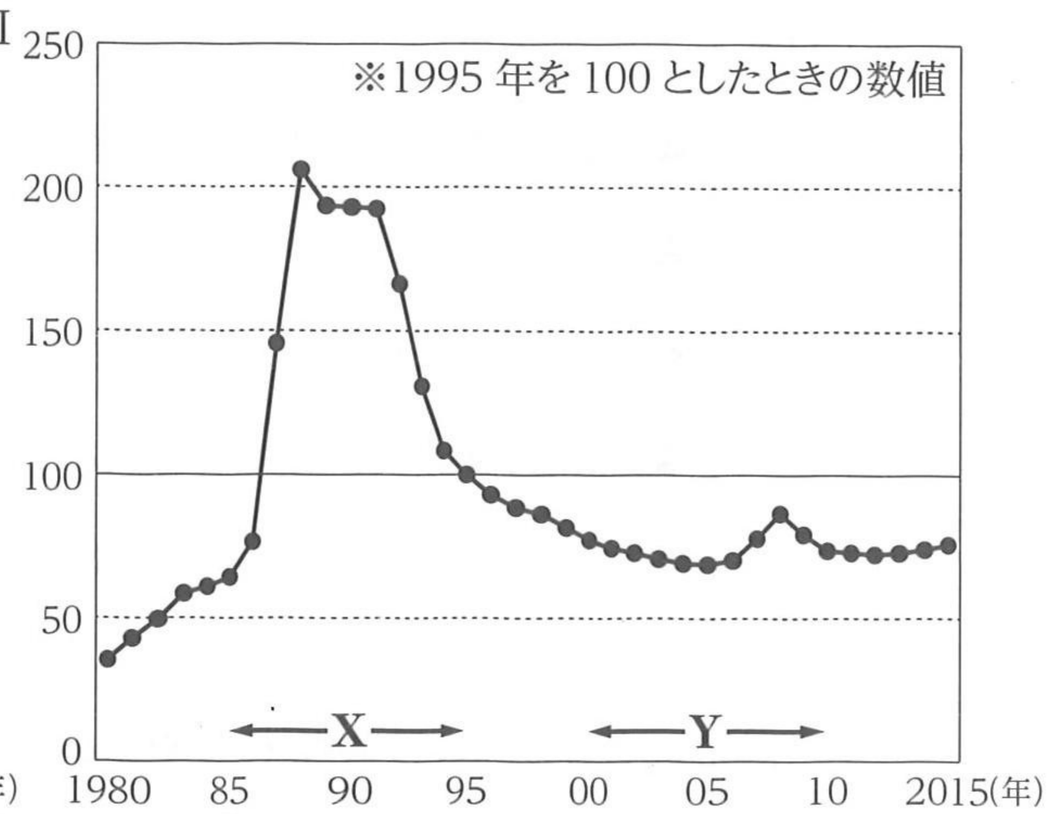
○臨海部には大規模な製鉄所があり，基礎素材型の出荷額が加工組立型の出荷額を上回っている。一方で，内陸部には生活に密着した製品などをつくる中小工場が多く集まっており，1事業所当たりの従業者数は，4道府県の中で最も少ない。

〔問3〕 次のⅠのグラフは，1980年から2015年における東京都の転入者数（他の道府県から東京都に移動した人数）から転出者数（東京都から他の道府県に移動した人数）を引いた人数の推移を示したものである。Ⅱのグラフは，1980年から2015年における東京都の住宅地の平均地価について，1995年を100としたときの推移を示したものである。ⅠとⅡのグラフ中の**X**と**Y**のそれぞれの時期における東京都の人口の動きについて，地価の変動に着目して，簡単に述べよ。

Ⅰ

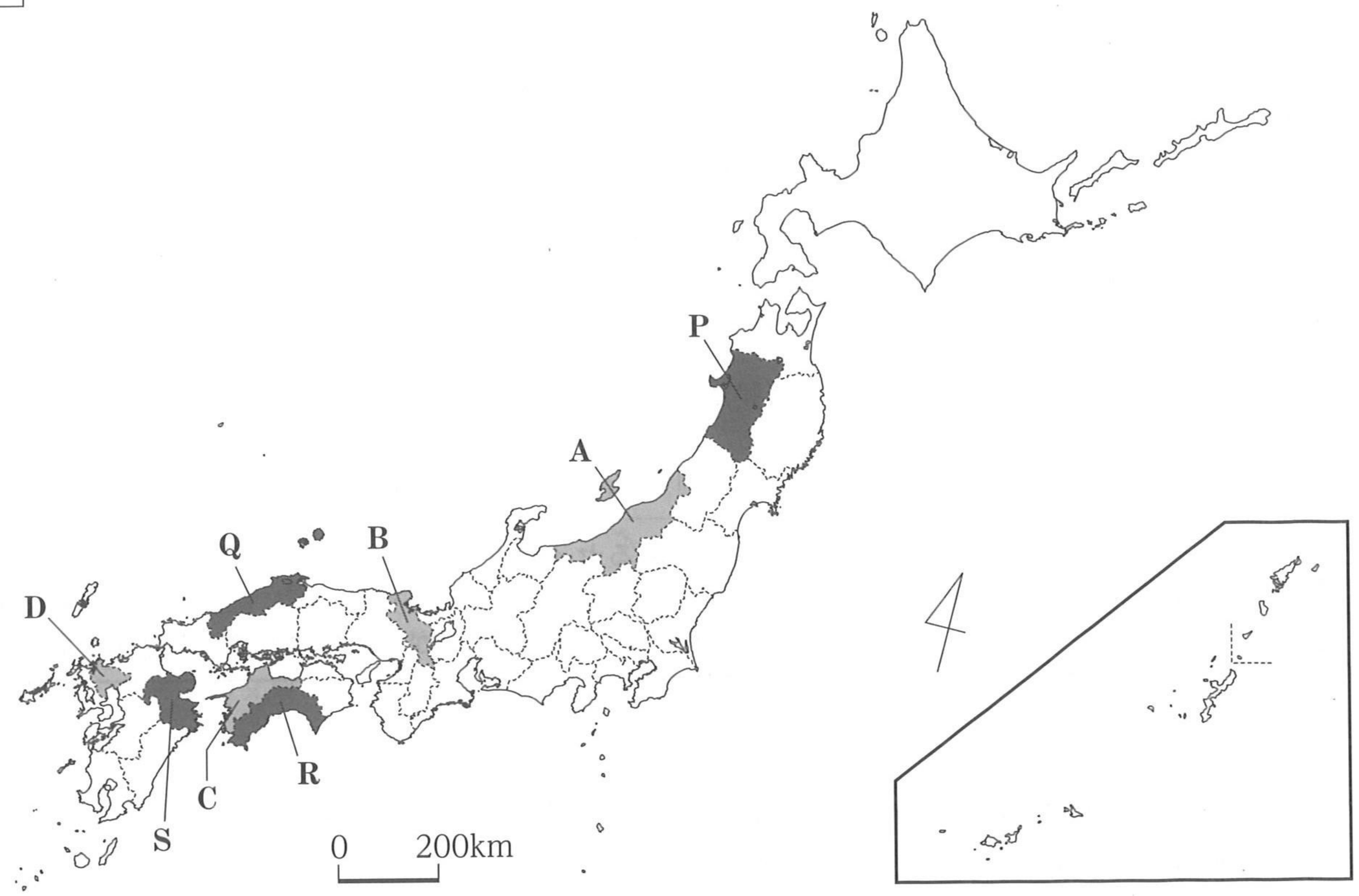


Ⅱ



（総務省「住民基本台帳人口推移報告年表」，国土交通省「地価公示」長期時系列推移より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に　　で示した，**A**～**D**の**いずれか**の府県の自然環境や伝統的工芸品などの特産物の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの府県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	自然環境や伝統的工芸品などの特産物の様子
ア	○南部と北部が海に面しており，北部の海岸線は出入りの多いリアス海岸となっていて，原子力発電所が立地している。南部は干満の差が大きい湾に面し，干潟が広がっている。 ○干潟のできる海岸では海苔（のり）の養殖が盛んで，生産量は全国１位である。豊臣秀吉が朝鮮出兵を行った際に連れてきた陶工がはじめた陶磁器生産が盛んで，高級品として知られている。
イ	○南部や東部には山地・山脈が連なり，北西部は海に面している。日本最長の河川の下流に広がる平野には，水深の浅い湖がいくつも見られ，洪水対策として分水路がつくられている。 ○冬の降雪量が多いため水田単作地帯が広がり，品質の良いブランド米が生産されている。小千谷（おぢや）市の縮（ちぢみ）や燕（つばめ）市の金属洋食器，三条（さんじょう）市の金物などの地場産業が発達している。
ウ	○県の面積の約 80 %が山地で，南部の海岸線はリアス海岸となっている。全体的に温暖な気候だが，北部は一年を通して降水量が少ないのに対して，南部は夏を中心に降水量が多い。 ○リアス海岸では養殖業が盛んで，鯛（たい）や真珠などの生産量は全国有数である。山の斜面を段々畑にし，かんきつ類の果樹栽培が盛んで，和紙や陶磁器などの伝統的工芸品も見られる。
エ	○北部の海岸線はリアス海岸で，日本三景の一つに数えられる天橋立（あまのはしだて）が位置している。南部の府県庁所在地が位置する盆地は，夏と冬，昼と夜の寒暖の差が大きい気候となっている。 ○府県庁所在地の都市の西陣織（にしじんおり）や清水焼（きよみずやき）をはじめ，北部の丹後（たんご）ちりめんなど多くの伝統的工芸品があり，国の指定を受けている伝統的工芸品の数は，東京都に次いで２番目に多い。

〔問2〕 略地図中に ■ で示したP～Sの県は，2015年における県の総面積に占める過疎地域の面積の割合が高い上位4県である。次のⅠの表のア～エは，P～Sのいずれかの県の，2015年における県の総面積に占める過疎地域の面積の割合，2018年における人口，2040年における人口予測及び県庁所在地の都市の年平均気温と1月と8月の平均気温，年降水量と1月と8月の降水量を示したものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの表のア～エのうちのどれか。また，略地図中のP～Sのうちのどれか。

Ⅰ

	過疎地域の割合(%)	人口(千人)		平均気温(℃)			降水量(mm)		
		2018年	2040年	年	1月	8月	年	1月	8月
ア	92.3	981	673	11.7	0.1	24.9	1686.2	119.2	176.9
イ	87.4	1144	947	16.4	6.2	27.3	1644.6	45.4	172.2
ウ	85.4	680	558	14.9	4.3	26.8	1787.2	147.2	113.7
エ	79.6	706	536	17.0	6.3	27.5	2547.5	58.6	282.5

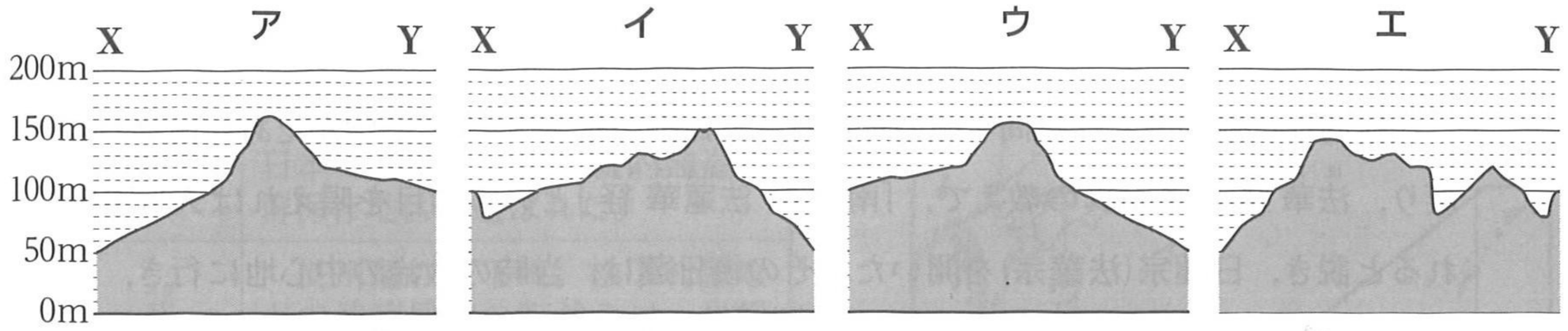
(「データでみる県勢」2020年版，「理科年表」2020年より作成)

Ⅱ

山間部などを中心に過疎化の進行が著しい県で，過疎地域の面積の割合が5分の4以上を占めている。2018年の人口は100万人未満で今後も減少し続け，2040年には2018年に比べて10万人以上減少すると予測されている。沿岸を流れる暖流の影響で冬でも温暖で，1月の平均気温は4.0℃以上であり，冬の季節風の影響で1月の降水量は100 mm以上である。

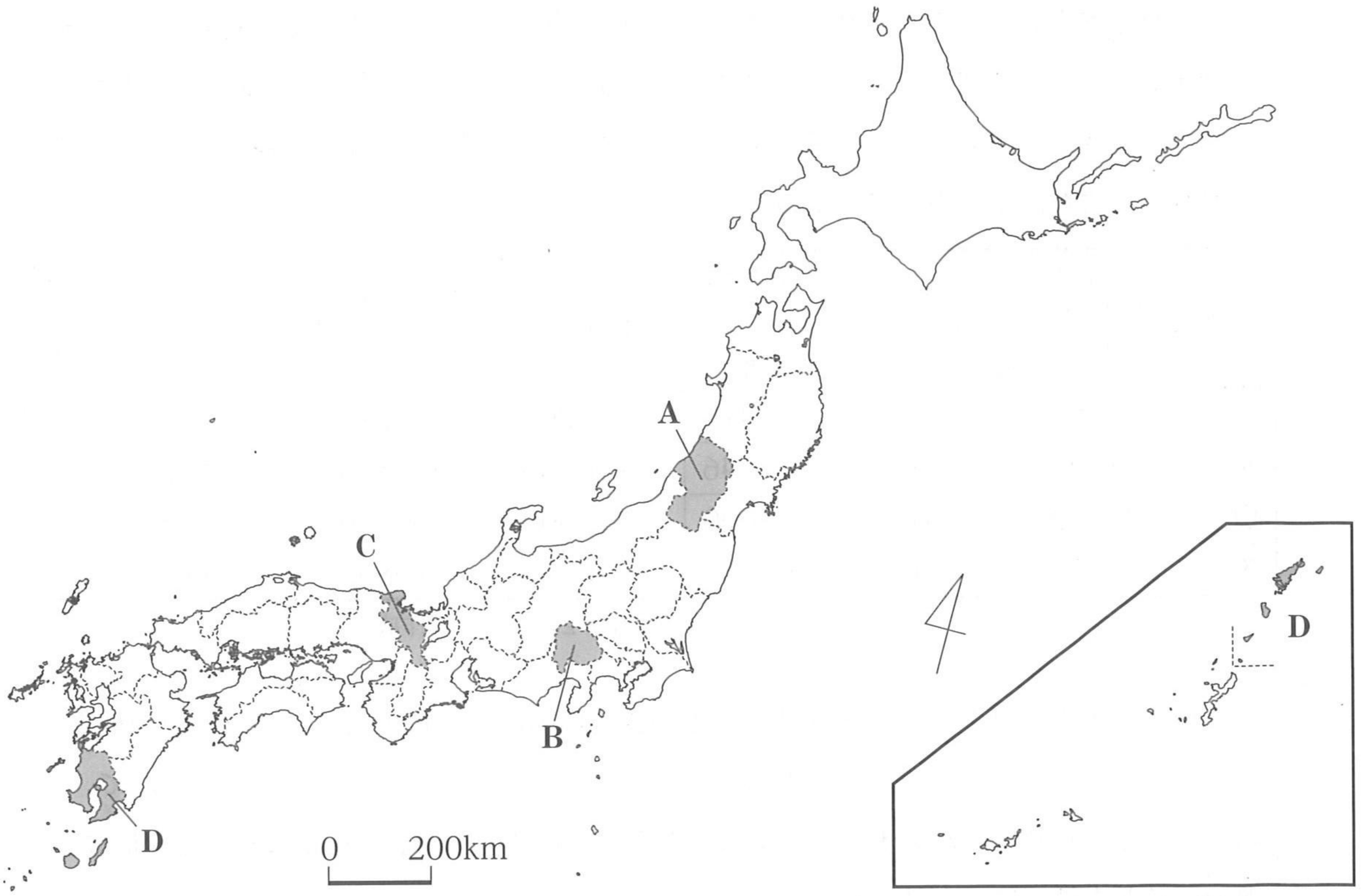
〔問3〕 右の地形図は，2006年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図(札幌)」の一部を拡大せずに示したものである。地形図中のX－Y間の土地の起伏を示したものとして最も適切なのは，次のア～エのうちのどれか。また，地形図中にZで示した部分の実際の面積として最も適切なのは，下のカ～ケのうちのどれか。





カ 0.0625 km²　　キ 0.25 km²　　ク 0.625 km²　　ケ 2.5 km²

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



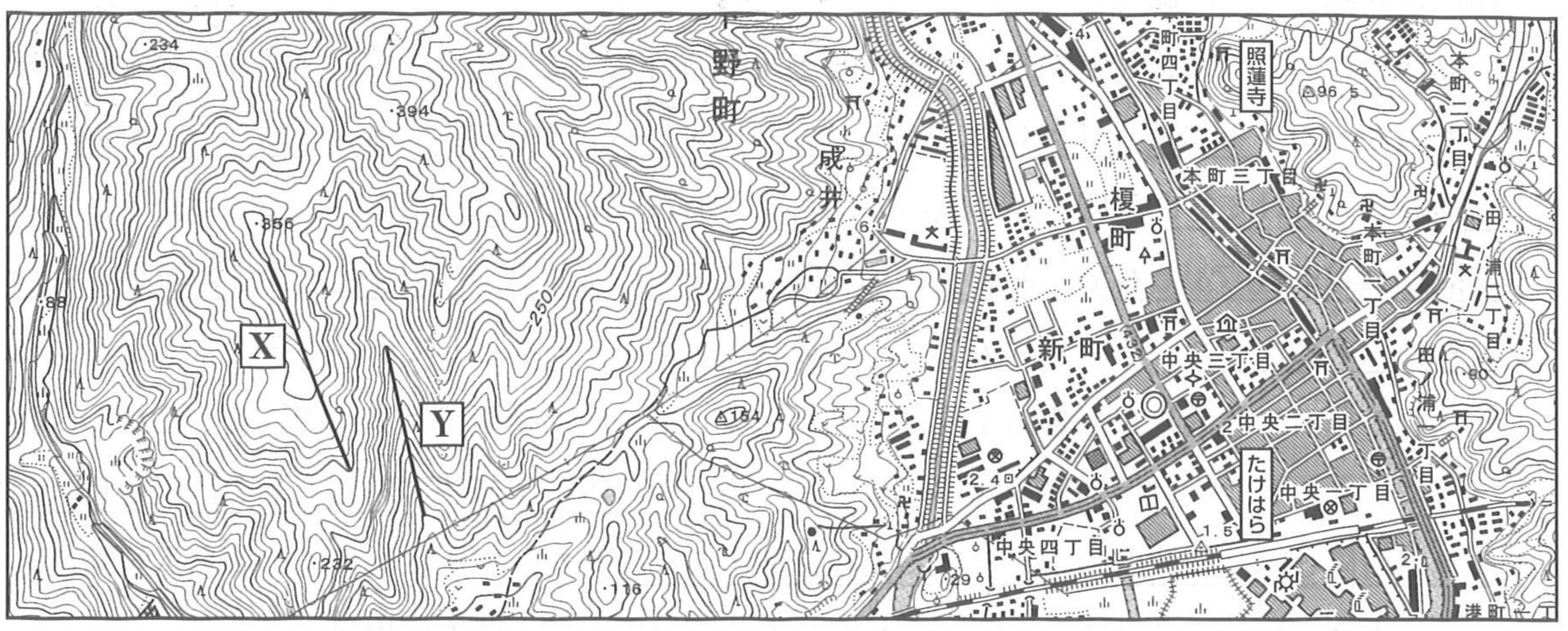
〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▨ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の府県の，2018 年における府県の総面積に占める可住地面積の割合，府県庁所在地の都市の自然や産業，歴史などの様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの府県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	割合(%) 標高(m)	府県庁所在地の都市の自然や産業，歴史などの様子
ア	19.3 3776	○府県の中央部に広がる盆地に位置し，多くの河川が流れている。2019 年における人口は 20 万人未満で，都道府県庁所在地の中で 2 番目に少ない。 ○かつては製糸業が産業の中心であったが，近年は，ぶどうを原料としたワインづくりや，水晶などの宝石や貴金属の加工業などが盛んに行われている。
イ	23.9 971	○人口 100 万人以上の都市で，唯一盆地に位置している。「千年の都」とも呼ばれ，歴史的建造物が数多くあり，世界文化遺産に登録されているものも多い。 ○道路が東西南北に走り，碁盤の目のような町並みが見られ，景観を守るための規制がある。清水焼（きよみずやき）や西陣織（にしじんおり）などの伝統的工芸品が全国的に知られている。
ウ	35.1 1936	○中世に，この地域で勢力を強めた豪族が居城を築き，江戸時代に城下町として発展した。幕末から明治にかけて，二つの戦乱により大きな被害を受けた。 ○海をはさんだ対岸に，現在も活発に噴火活動を行う火山があり，降灰の対策が施されている。南部には，大規模な石油備蓄基地がつくられている。
エ	28.9 2236	○府県内を流れる川の中流域の盆地に形成された扇状地に市街地がある。寒暖の差が大きく，フェーン現象により 40.8℃の最高気温を記録したこともある。 ○８月に，笠に赤い花飾りをつけた花笠を手にし，「花笠音頭」にあわせて踊りながら練り歩く花笠まつりが行われ，毎年多くの観光客が訪れる。

（「データでみる県勢」2020 年版ほかより作成）

〔問２〕 次のⅠの地形図は，2009年の「国土地理院発行２万５千分の１地形図(竹原)」の一部である。Ⅱの文章は，Ⅰの地形図について述べたものである。Ⅱの文章中の［ ① ］～［ ④ ］のそれぞれに当てはまるのは，下のアとイのうちではどれか。

Ⅰ

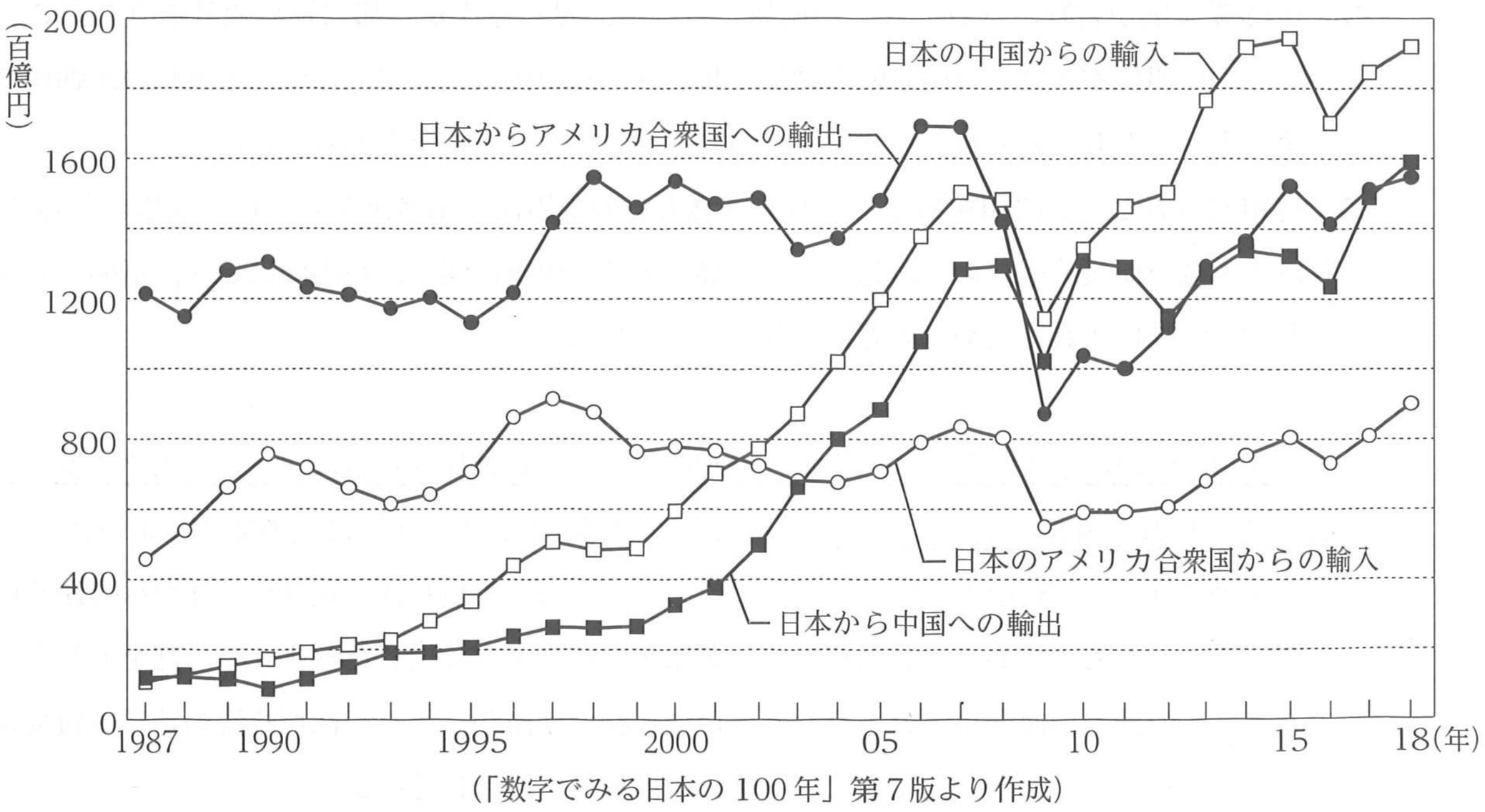


Ⅱ

市役所から見て，JR「たけはら」駅は［ ① ］の方角にあり，市役所と照蓮寺との間の直線距離は，地形図上で約３ cm あるので，実際は約［ ② ］ある。地形図中の X と Y の斜面のうち，傾斜がゆるやかなのは［ ③ ］で，谷となっているのは［ ④ ］である。

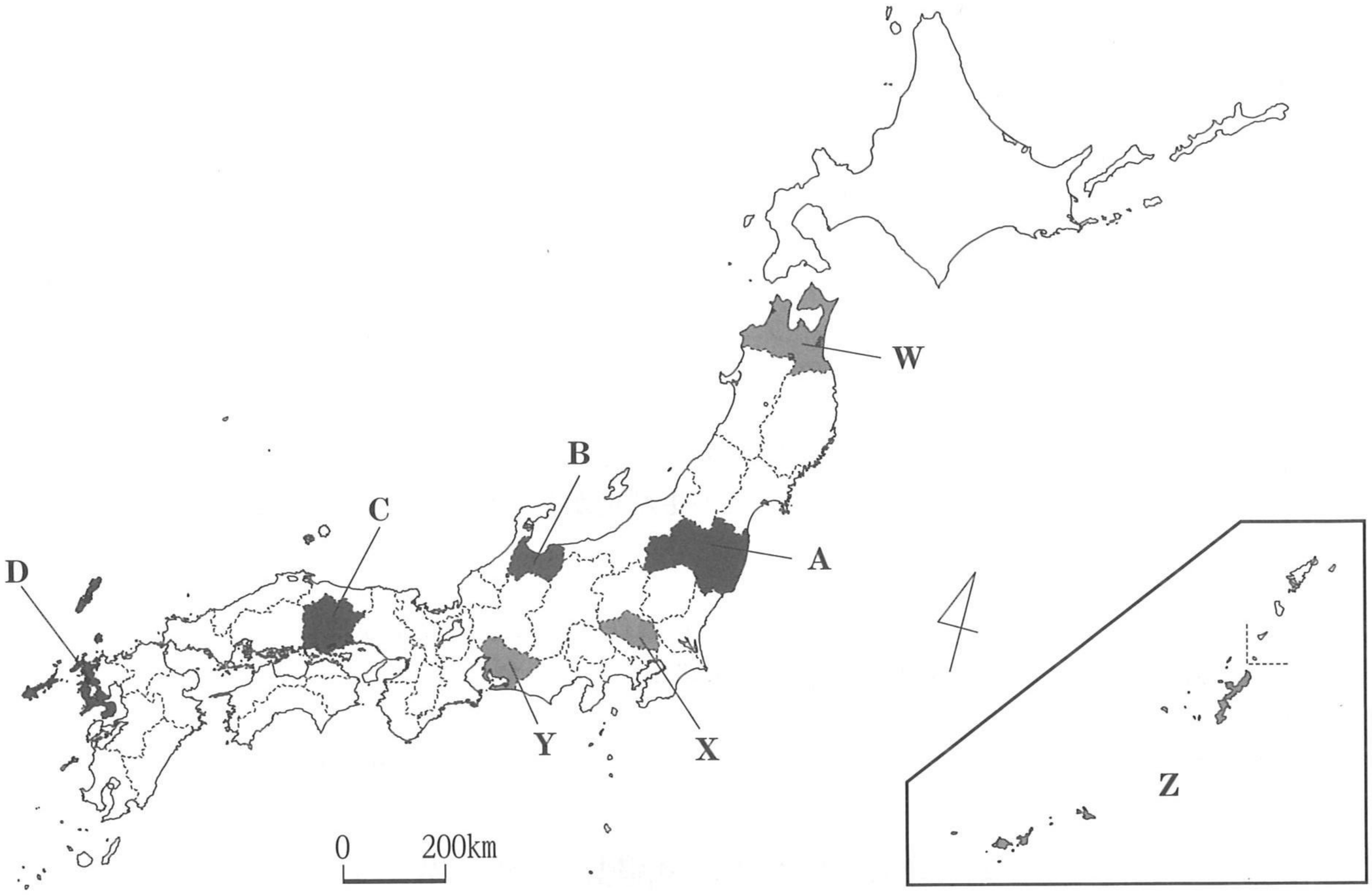
①	ア	南東	イ	南西	②	ア	750 m	イ	1500 m
③	ア	X	イ	Y	④	ア	X	イ	Y

〔問３〕 次のグラフは，1980年代後半から2018年までの我が国とアメリカ合衆国及び中国との間の貿易額の推移を示したものである。このグラフを活用し，2000年代以降の我が国と中国との貿易額の推移と輸出入額の特色について，アメリカ合衆国との貿易と比較して，簡単に述べよ。



(「数字でみる日本の100年」第７版より作成)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ■ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県の自然環境と農業の様子についてまとめたものである。略地図中の**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	自然環境と農業の様子
ア	○東部や南部の県境付近は険しい山岳地帯となっており，中部から北部には，北流するいくつかの河川によって形成された平野が広がっている。 ○豪雪地帯であり，稲作中心の農業が行われている。耕地に占める田の割合が全国で最も高い。また，チューリップの栽培が盛んである。
イ	○北部には山地が東西に連なり，中部にはカルスト地形が見られる高原がある。南部には，北部の山地から南流するいくつかの河川によって形成された平野が広がっている。 ○北部の山岳地帯以外の地域は，温暖な気候で降水量は比較的少ない。農業では，採卵鶏の飼養羽数，ぶどうやももなどの果実の生産量が多い。
ウ	○複雑な海岸線や多くの島を有し，海岸線が非常に長いという特徴がある。陸地の大部分は山地や丘陵地となっており，平地がほとんど見られない。 ○沿岸を北流する暖流の影響で，一年を通して温暖で，寒暖の差は小さい。びわの生産量が全国第１位である他，じゃがいもやアスパラガスの栽培が盛んである。
エ	○中部から西部にかけての大部分が山地や丘陵地となっている。中央部を南北に縦断する山脈と東部にある高地との間を北流する河川の周辺に，いくつかの盆地が見られる。 ○農業の中心は稲作で，耕地の約70％を田が占めているが，ももやなし，りんごなどの果樹の栽培も盛んである。野菜では，さやいんげんやきゅうりなどの生産量が多い。

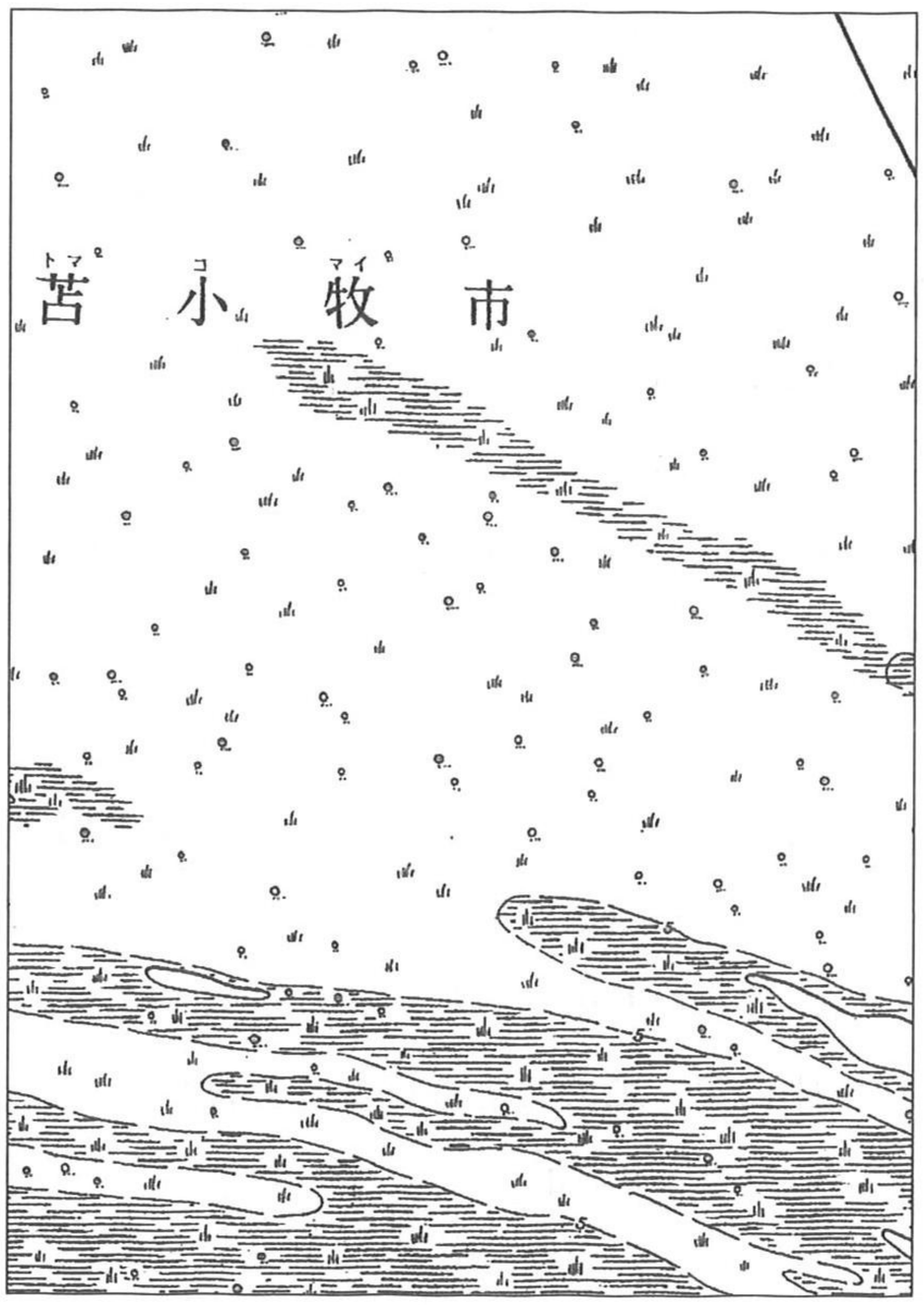
〔問2〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した**W**～**Z**の**いずれか**の県の，2017年における人口，産業別人口の割合，2015年における昼夜間人口比率(常住人口100人当たりの昼間人口)を示したものである。略地図中の**W**～**Z**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

	人口(万人)	産業別人口の割合(%)			昼夜間人口比率
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	
ア	731.0	1.7	23.6	74.7	88.9
イ	752.5	2.1	32.7	65.3	101.4
ウ	127.8	12.0	20.8	67.2	99.8
エ	144.3	4.0	15.4	80.7	100.0

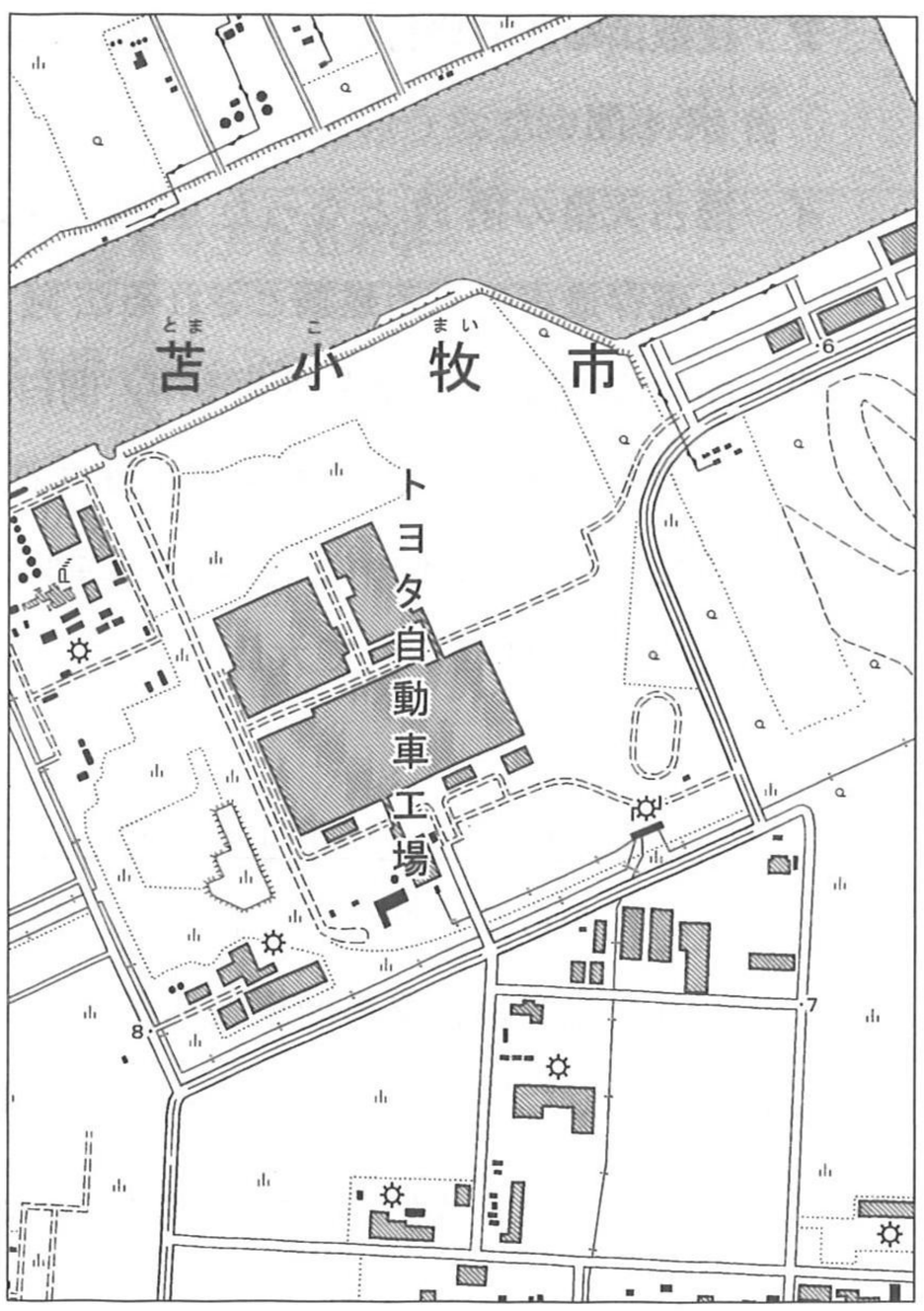
(「データでみる県勢」2020年版より作成)

〔問3〕 次のⅠの地形図は1959年，Ⅱの地形図は2007年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図(勇払)」の一部を示したもので，Ⅰ，Ⅱは同じ地域を示している。Ⅲのグラフは，1960年と2007年の北海道の市町村別の製造品出荷額割合を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料から読み取れる，1960年から2007年の苫小牧市の工業の変化とその理由について，簡単に述べよ。

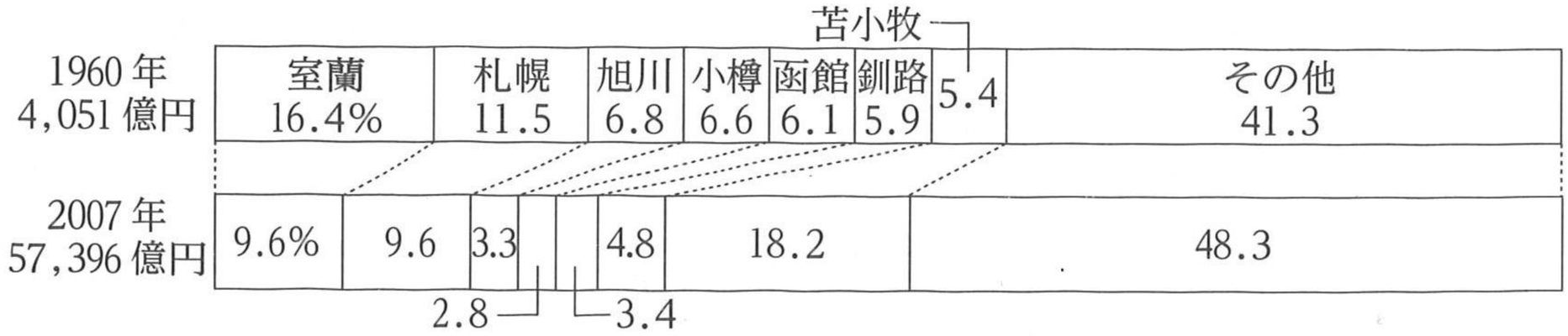
Ⅰ



Ⅱ

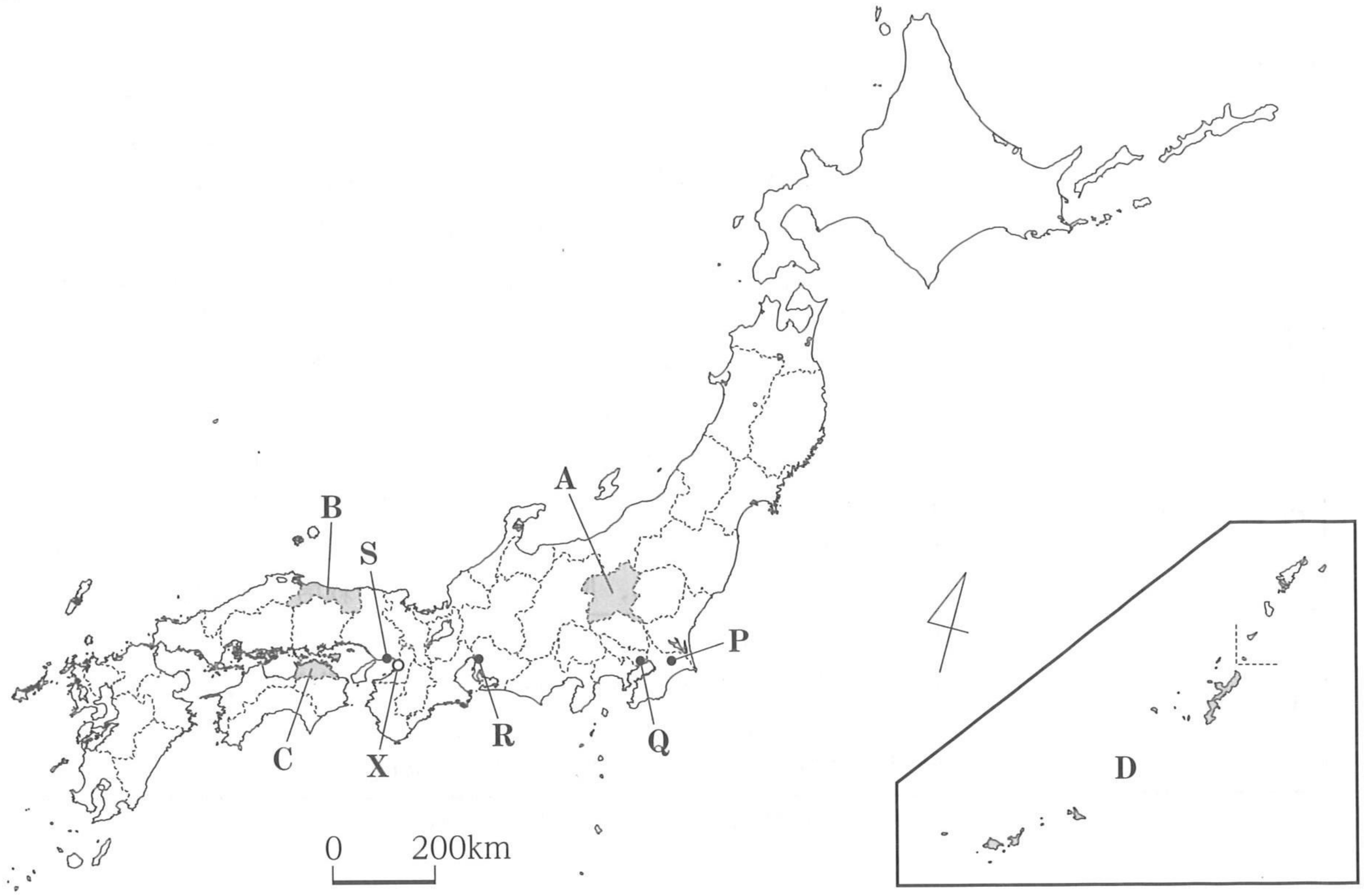


Ⅲ



(「工業統計調査」ほかより作成)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表のア～エの文章は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の自然環境や農業などの産業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	自然環境や農業などの産業の様子
ア	○季節風の影響を受けて夏に比べて冬の降水量が多く，県南部の山地にはスキー場もある。海岸沿いに国内最大規模の砂丘があり，灌漑によって砂地の農地への転換が行われてきた。 ○砂地にも適したすいかやらっきょう，ながいもなどの生産が盛んである。県の西部には国内有数の漁港が位置し，この県の 2017 年におけるかにの水揚げ量は全国第２位である。
イ	○年平均気温が 20 ℃以上ある亜熱帯の気候で，毎年初夏から秋にかけて台風が通過して大きな影響を受ける。強風に備える石づくりの家屋が見られ，独特の景観を形づくっている。 ○大きな河川がないため，降水量は多いが水資源には乏しく，稲作はあまり盛んではない。温暖な気候を利用して，さとうきびやパイナップル，菊などの花の栽培が盛んである。
ウ	○季節風の影響を受けにくいため，年間を通じて降水量が少なく，はだか麦の生産量が多い。県内の島ではオリーブの栽培が盛んで，国内の生産量のほぼ 100 %を占めている。 ○古くから，農業用水の確保のためのため池が多くつくられ，現在も１万以上のため池が見られる。1970 年代に，隣の県を流れる河川から水を引く用水路がつくられた。
エ	○北西部にある山脈をこえて吹きおろす乾燥した季節風の影響で，冬の降水量が少ない。この気候に適した小麦の栽培が米の裏作として行われ，2018 年の生産量は全国第４位である。 ○かつて養蚕が盛んに行われ，県内には世界遺産に登録された製糸場があり，織物の生産で栄えた都市も多い。現在は，高原の涼しい気候を利用した抑制栽培や酪農も盛んである。

〔問２〕　次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に**P**～**S**で示した**いずれか**の貿易港(空港)の，2019年における輸出額，輸入額及び輸出額，輸入額の上位４位の品目を示したものである。Ⅱの文章で述べている貿易港(空港)に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の**P**～**S**のうちのどれか。

Ⅰ

（上段…輸出，下段…輸入）

	貿易額(億円)	輸出額，輸入額の上位４品目(%)(左から１位，２位，３位，４位)
ア	105256	半導体等製造装置(8.1)，科学光学機器(6.2)，金(非貨幣用)(5.7)，電気回路用品(3.9)
	129560	通信機(13.7)，医薬品(12.3)，コンピュータ(8.8)，集積回路(8.4)
イ	123068	自動車(26.3)，自動車部品(16.7)，内燃機関(4.3)，金属加工機械(3.9)
	50849	液化ガス(8.4)，石油(7.8)，衣類(7.1)，絶縁電線・ケーブル(5.1)
ウ	58237	半導体等製造装置(6.7)，自動車部品(6.5)，コンピュータ部品(5.4)，内燃機関(5.0)
	114913	衣類(8.9)，コンピュータ(5.3)，肉類(4.6)，魚介類(4.5)
エ	55571	プラスチック(6.3)，建設・鉱山用機械(5.6)，内燃機関(3.3)，織物類(3.1)
	33103	たばこ(6.8)，衣類(6.5)，無機化合物(4.2)，有機化合物(3.9)

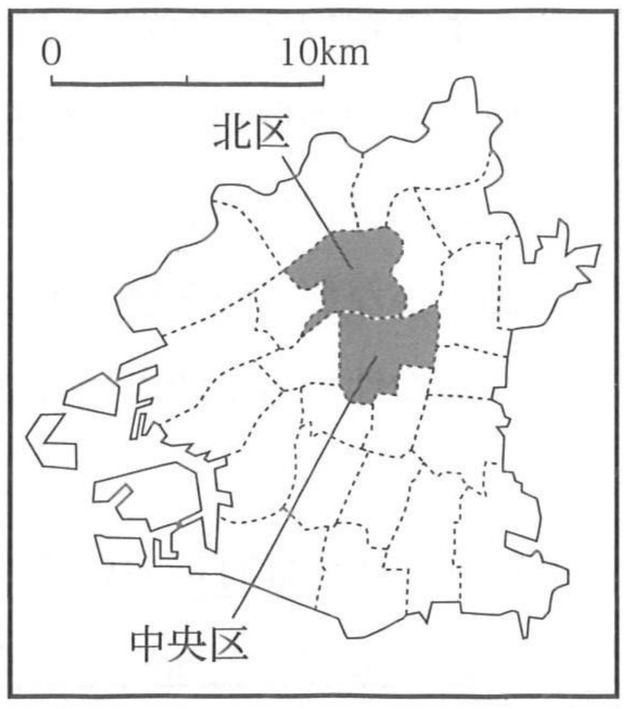
(「日本国勢図会」2020/21年版より作成)

Ⅱ

我が国で最も製造品出荷額の多い工業地帯の中に位置しており，輸出では工業製品，輸入では原料や燃料の割合が高い。2019年における貿易額では７兆円以上の黒字となっている。

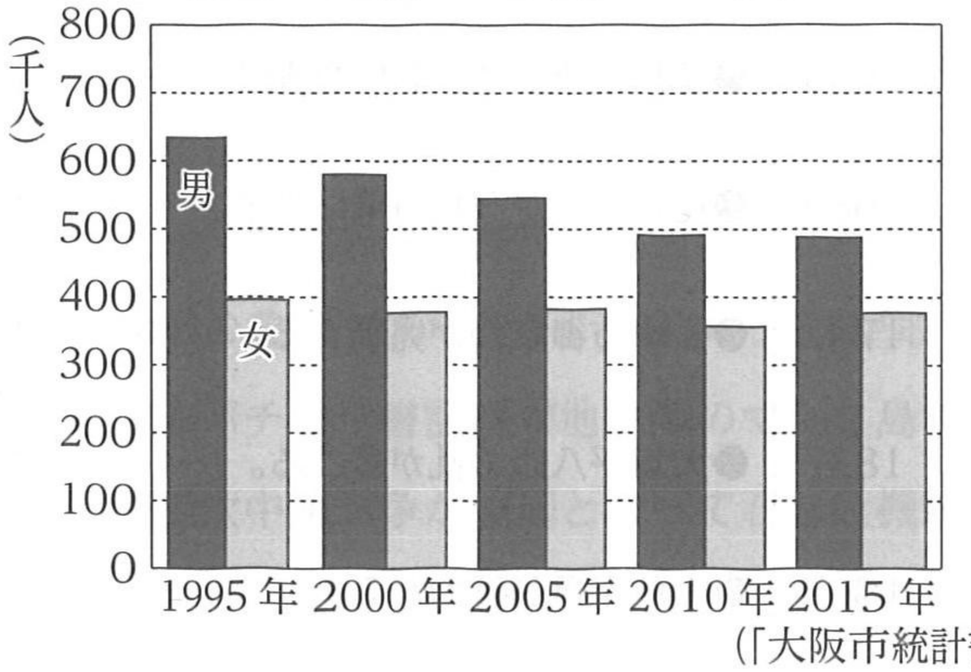
〔問３〕　右のⅠの略地図は，前のページの略地図中に**X**で示した大阪府大阪市の24の区を示したものである。Ⅰの略地図中の■は，大阪府庁や大阪市役所が位置しており，2015年における昼夜間人口比率が300以上である二つの区を示したものである。ⅡとⅢのグラフは，この２区を合計した1995年から2015年までの昼間人口と夜間人口の推移を男女別に示したものである。1995年以降，この２区の昼夜間人口比率はどのように推移しているか，また，昼間人口と夜間人口の男女比はそれぞれどのようになっているかについて，簡単に述べよ。

Ⅰ

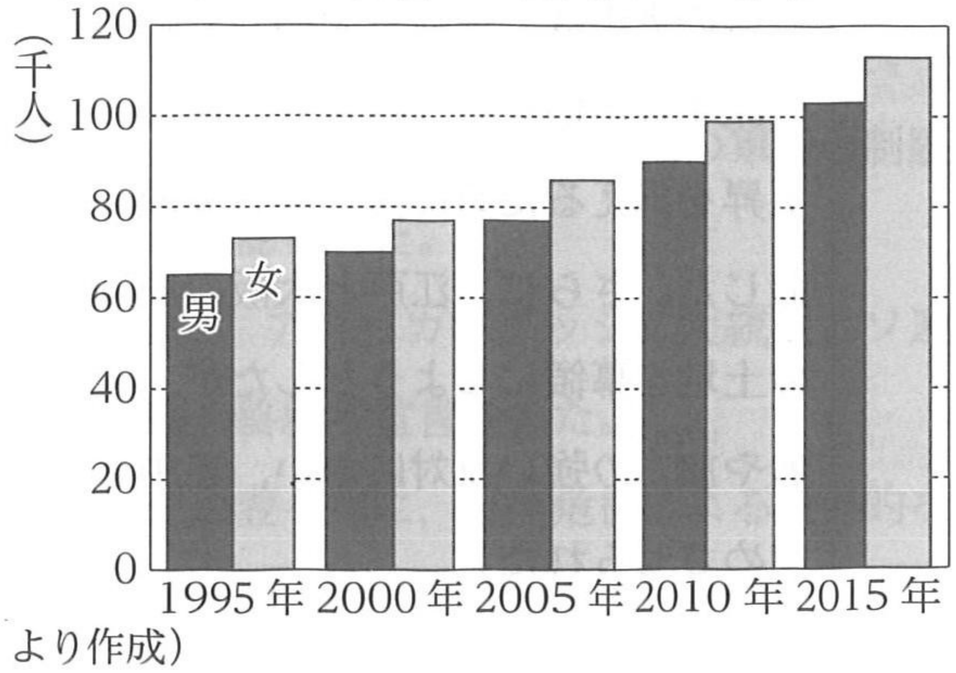


※昼夜間人口比率は，夜間人口を100としたときの昼間人口の割合。

Ⅱ　北区と中央区を合計した昼間人口の推移

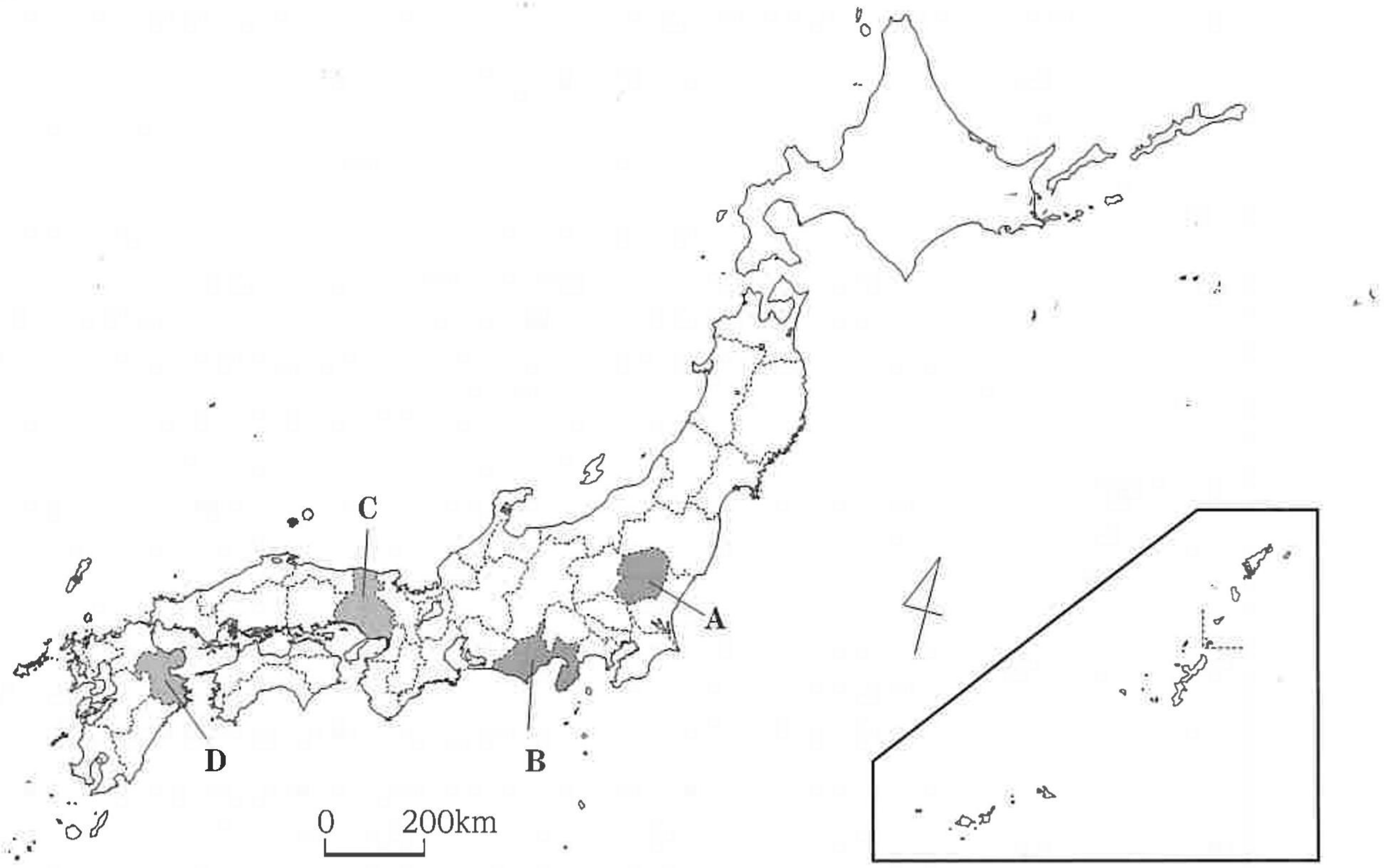


Ⅲ　北区と中央区を合計した夜間人口の推移



(「大阪市統計書」より作成)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



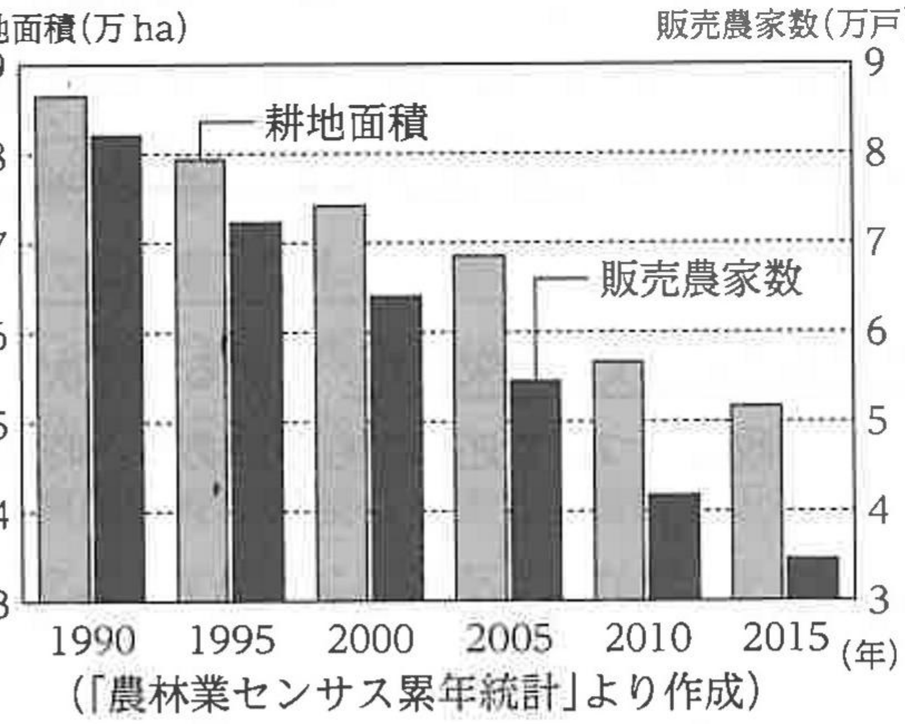
〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ▨ で示した，**A** ～ **D** の**いずれか**の県の温泉地数，自然環境と観光業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	温泉地数	自然環境と観光業の様子
ア	115	○県の北部には日本アルプスの一つを形成する山脈の山々がそびえ，東部には火山活動によって形成された半島があり，各所に火山も多く見られる。 ○県内には世界遺産に登録された地区があり，火山の周辺には，熱海（あたみ）や伊東（いとう）など我が国有数の温泉施設が数多く分布している。
イ	62	○県の地形は山地が多く平野が少ないという特色があり，県の中央部を走る地溝帯（ちこうたい）に沿うように鶴見岳（つるみだけ）やくじゅう連山などの火山が位置している。 ○火山の周辺には別府（べっぷ），湯布院（ゆふいん）など我が国有数の温泉湧出量（ゆうしゅつりょう）を誇る温泉地が数多く分布しており，各地から温泉地に宿泊する観光客が多く集まる。
ウ	81	○県の中央を走る山地の南と北では気候が大きく異なり，人口が多い都市は南部の平野部に集中しているが，県の面積の６割以上は山地が広がっている。 ○県の南東部の地域では温泉水が噴出（ふんしゅつ）しており，日本書紀（にほんしょき）にも登場する有馬（ありま）温泉などがあるが，1995 年に起こった大震災では大きな被害を受けた。
エ	66	○北から北西部にかけて標高 1000 m を超える急峻（きゅうしゅん）な山岳地帯が連なり，これらの山々から流れ出る鬼怒川（きぬがわ）上流域には，一大温泉街が形成されている。 ○県内には世界遺産に登録された歴史的建造物があり，豊かな自然環境をもつ尾瀬（おぜ）国立公園の一部も広がっていることから，多くの観光客が訪れる。

(環境庁「令和元年度温泉利用状況」より作成)

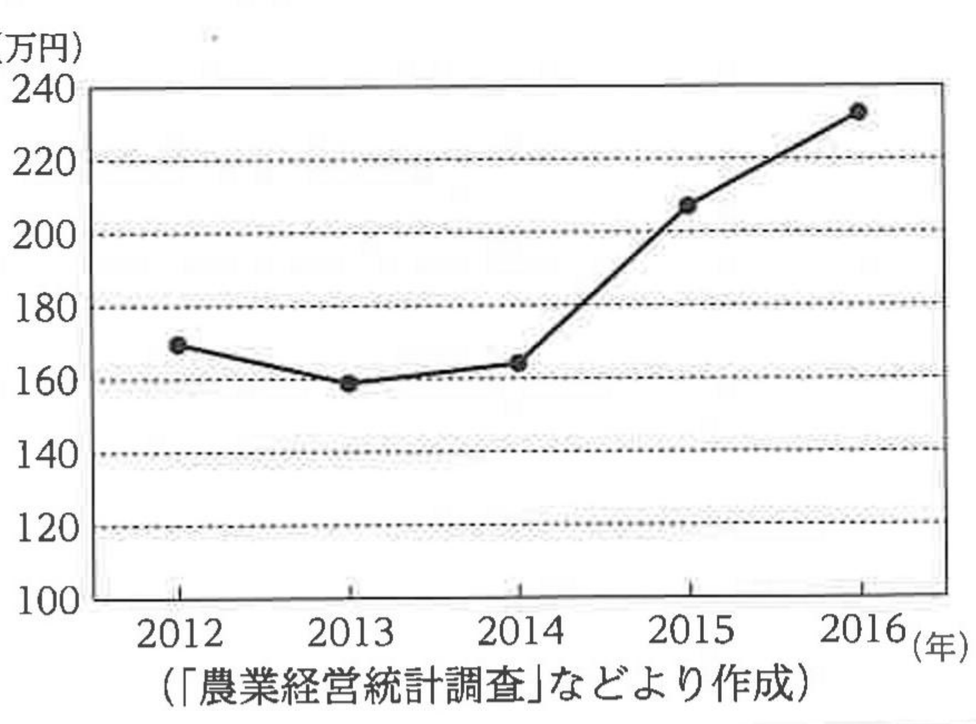
〔問２〕　次のⅠのグラフは，福岡県における耕地面積と販売農家数の推移を示したものである。Ⅱのグラフは，福岡県における一戸当たりの農業所得の推移を示したものである。Ⅲの文章は，我が国の農業経営についてまとめたものである。Ⅰ～Ⅲの資料から読み取れる，福岡県における農業経営の変化について，一戸当たりの経営規模と農業所得に着目し，その背景となることがらをふまえて，簡単に述べよ。

Ⅰ



（「農林業センサス累年統計」より作成）

Ⅱ



（「農業経営統計調査」などより作成）

Ⅲ

○もともと我が国は諸外国に比べて一戸当たりの耕地面積が小さく，農業生産力や効率性で劣る上，近年の農業従事者の減少や高齢化により，耕地面積の減少や耕作放棄地(耕作されずに放置されている土地)の増加など，さらなる農業生産力の衰退が懸念(けねん)されている。

○そこで，近年我が国は農林水産省を中心に，税制面での優遇や様々な支援策を設けて，農業の法人(企業)化や農業法人の参入を積極的に進め，農業経営の合理化を図っている。

〔問３〕　次のⅠの表は，2018年における東京都と神奈川県の製造業の事業所数，従業者数，製造品出荷額，2015年における昼間人口と夜間(常住)人口を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの表から読み取れることについて述べたものである。Ⅱの文章の［ P ］～［ R ］のそれぞれに当てはまるのは，下の**ア**と**イ**のうちではどれか。

Ⅰ

	事業所数	従業者数(千人)	製造品出荷額(億円)	昼間人口(万人)	夜間人口(万人)
東京都	27984	286	78495	1592	1352
神奈川県	13492	371	185700	832	913

（「データでみる県勢」2021年版より作成）

Ⅱ

○神奈川県は東京都に比べて１事業所当たりの従業者数が［ P ］。このことから，東京都の製造業事業所の多くは［ Q ］工場で占められていることも読み取れる。

○東京都と神奈川県で，他の都県への通勤・通学者数が多いのは［ R ］で，神奈川県において，夜間人口を100としたときの昼間人口の割合は100を［ S ］いる。

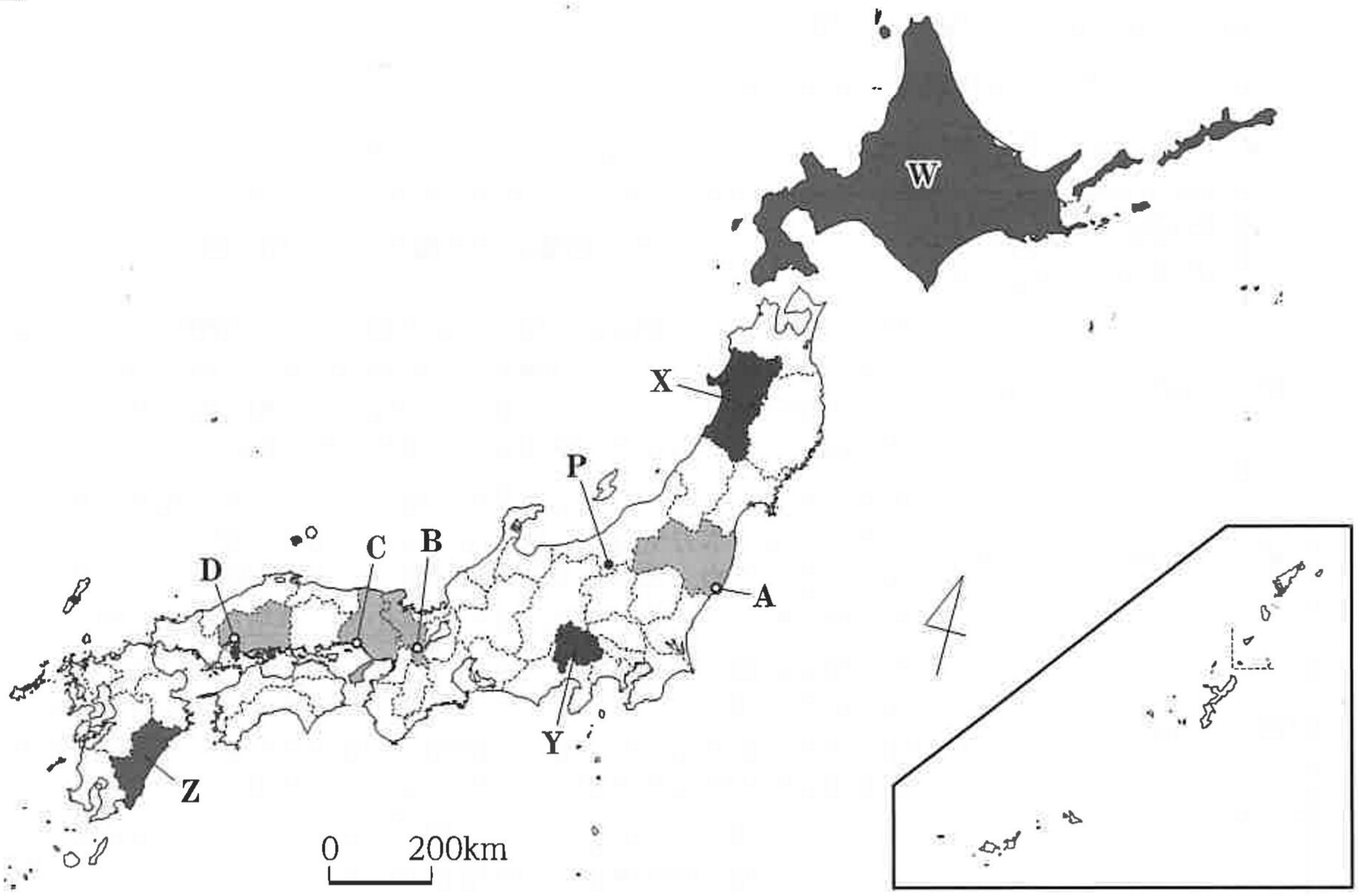
［ P ］　**ア**　多い　　**イ**　少ない

［ Q ］　**ア**　大　　**イ**　中小

［ R ］　**ア**　東京都　　**イ**　神奈川県

［ S ］　**ア**　下回って　　**イ**　上回って

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表のア～エの文章は，略地図中に A ～ D で示した**いずれか**の都市が属している府県の2019年における延べ宿泊者数，都市の特色と府県の自然環境や産業の様子をまとめたものである。略地図中の A ～ D のそれぞれの都市に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	延べ宿泊者数（千人泊）	都市の特色と属する府県の自然環境や産業の様子
ア	12657	○かつて石炭の産地として栄えていたが，炭鉱を経営していた企業が地域の活性化を目指して温泉を利用したテーマパークを運営し，観光客を集めている。 ○南北に山地が走り，鉄道や道路は南北に発達している。山深い西部は冬の降雪が多く交通も不便である。米の有数の産地であるが，果樹栽培も盛んである。
イ	14417	○世界遺産に登録されている城郭があるこの都市では，市が中心となり，市民の理解を得ながら城を中心とした街の景観づくりに積極的に取り組んでいる。 ○県庁所在地は1995年の直下型地震で大きな被害を受け，防災を意識した街づくりが進められている。県の北部は山がちで，肉牛などの飼育が盛んである。
ウ	11631	○原子爆弾による被害を受けたこの都市は，世界遺産に登録された原爆ドームなどを保存し，平和記念都市として世界の平和や核兵器廃絶を訴えている。 ○県内にある原爆ドームとともに世界遺産に登録された神社は，日本三景の一つにも数えられ，観光客が多い。波の静かな内海では養殖業が盛んである。
エ	30750	○長い間都が置かれたこの都市では，条例を設けて建物の高さを制限するなど景観の保存に努め，歴史的に価値のある街並みの魅力を発信し続けている。 ○県庁所在地の盆地は夏と冬の寒暖差が激しい。染め物，焼き物などの伝統産業が発達しているが，ゲーム機や自動改札機などで有名な企業も生まれている。

（「データでみる県勢」2021年版より作成）

〔問2〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した**W**～**Z**の**いずれか**の道県の，2019年における田，普通畑，樹園地，牧草地の面積，耕地率及び全国上位の生産量をあげている農産物を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの表の**ア**～**エ**の**いずれか**の道県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている道県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の**W**～**Z**のうちのどれか。

Ⅰ

	田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	牧草地 (ha)	耕地率 (%)	全国上位の生産量をあげている農産物(順位)
ア	221900	417200	3040	501500	14.6	てんさい(1位)，小豆(1位)
イ	128900	11800	2330	4100	12.6	ラズベリー(1位)，米(3位)
ウ	35400	25200	4250	1150	8.5	きゅうり(1位)，マンゴー(2位)
エ	7800	4840	10100	857	5.3	ぶどう(1位)，もも(1位)

注）耕地率は土地面積に占める耕地面積の割合。

（「データでみる県勢」2021年版より作成）

Ⅱ

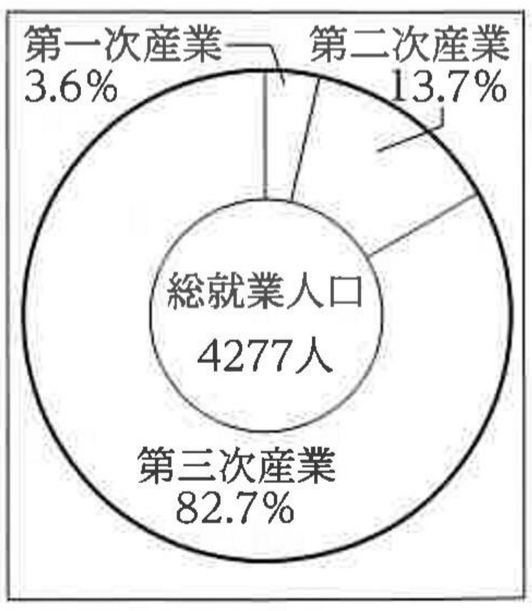
かつては，温暖な気候を利用して米を1年に2回つくる二期作が行われていたが，政府の減反政策などにより行われなくなった。現在は，ビニルハウスなどを利用して，通常よりも野菜を早く出荷する促成(そくせい)栽培が盛んである。生産された野菜はカーフェリーなどを利用して，消費地に運ばれている。

〔問3〕 次のⅠの文章は，略地図中に**P**で示した新潟県湯沢(ゆざわ)町の今後の観光振興の基本的な考え方の一部を示したものである。Ⅱのグラフは，2015年における湯沢町の産業別就業人口割合を示したものである。Ⅲのグラフは，湯沢町の目的別観光入込客数の推移を示したものである。Ⅳのグラフは，2018年における湯沢町の月別の観光入込客数を示したものである。Ⅱ～Ⅳの資料を活用して，湯沢町がⅠの文章のような考え方で観光振興に取り組む理由を，簡単に述べよ。

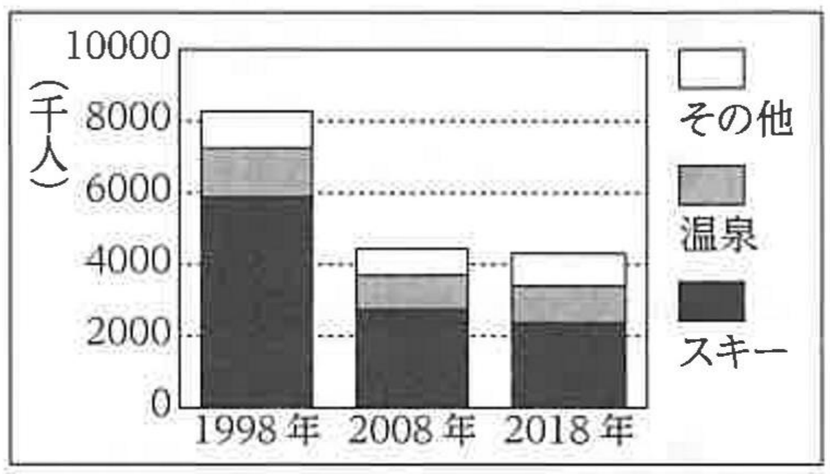
Ⅰ

ライフスタイルや価値観の多様化などにより，観光目的も多様化している中で，これからの観光地は，地域の特色を活かし，他の観光地にはない魅力を創り上げていくことが求められています。四季折々の豊かな自然や歴史と文化，温泉や住んでいる人々の温かさといった地域資源を活用し，年間を通して人々が訪れたくなるまちづくりを進めていく必要があります。

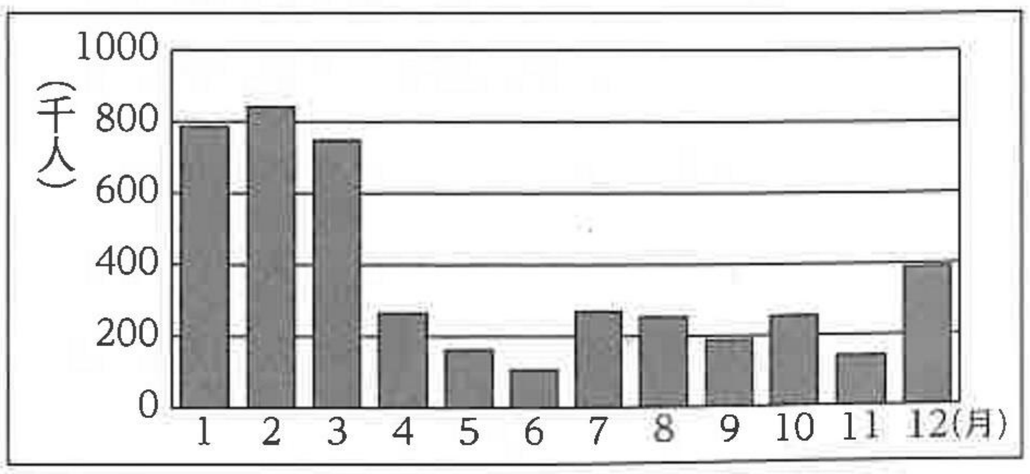
Ⅱ



Ⅲ

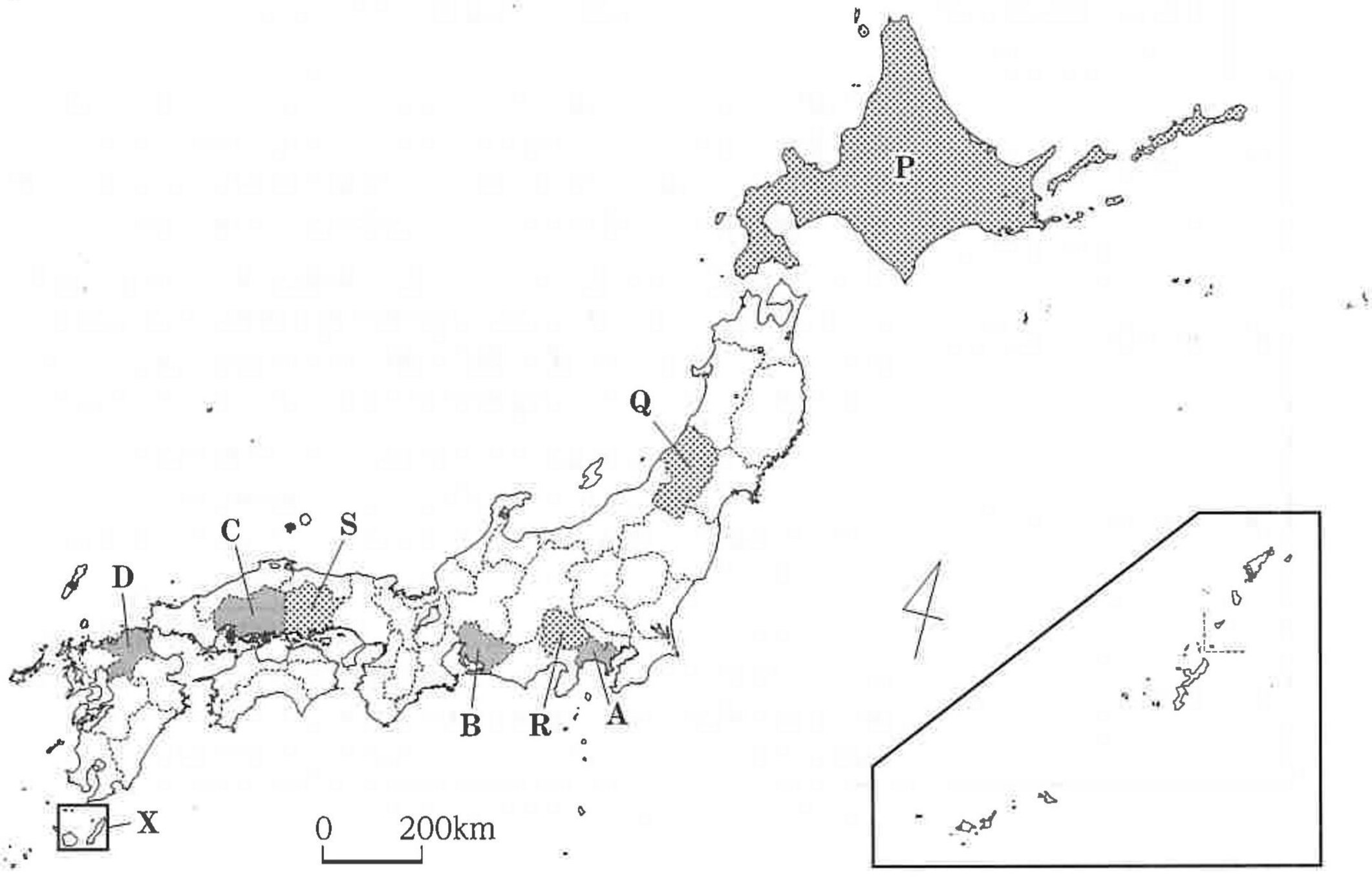


Ⅳ



（Ⅱ～Ⅳのグラフは「湯沢町資料」より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表のア～エは，略地図中に ▨ で示した，A～Dの**いずれか**の県の，2018年における製造品出荷額，輸送用機械出荷額，県内の自然環境と自動車生産などの産業の様子についてまとめたものである。A～Dのそれぞれの県に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	製造品出荷額（億円） 輸送用機械出荷額（億円）	自然環境と自動車生産などの産業の様子
ア	103019 35489	○南部の平野では冬の温暖な気候を利用して，裏作に麦を生産する二毛作が盛んである。近年，いちごの生産にも力を入れ，中国などへ輸出されている。 ○かつては製鉄業が工業の中心だったが，巨大市場である中国への近さをいかして自動車工場がつくられ，自動車生産が盛んになっている。
イ	185700 41645	○冬でも温暖な気候で，近郊農業が盛んである。西部には火山があり，温泉地には多くの観光客が訪れている。漁業ではまぐろの水揚げ量も多い。 ○海岸沿いに広大な自動車工場があり，生産された自動車の多くがアメリカなどに輸出されている。内陸部の車両工場でのトラックの生産も盛んである。
ウ	101053 35141	○交通路が発達している南部に比べ，北部は山がちで盆地に都市が点在する。近年，南北を縦貫する高速道路が開通し，工業団地も建設されている。 ○県庁所在地に隣接する町に自動車会社の本社工場があり自動車生産が盛ん。古くから海上交通が盛んで県内には造船所や製鉄所が立地する都市もある。
エ	489829 269549	○南部の半島では，野菜や花きなどの生産が盛んで，用水路による灌漑が行われている。特に，電灯を使用して開花時期を調整する菊の栽培で知られる。 ○自動車会社と関連企業の工場群が県内に点在し，部品は高速道路で組み立て工場へ運搬される。沿岸部には自動車の輸出額が日本最大の港が位置する。

（「データでみる県勢」2021年版より作成）

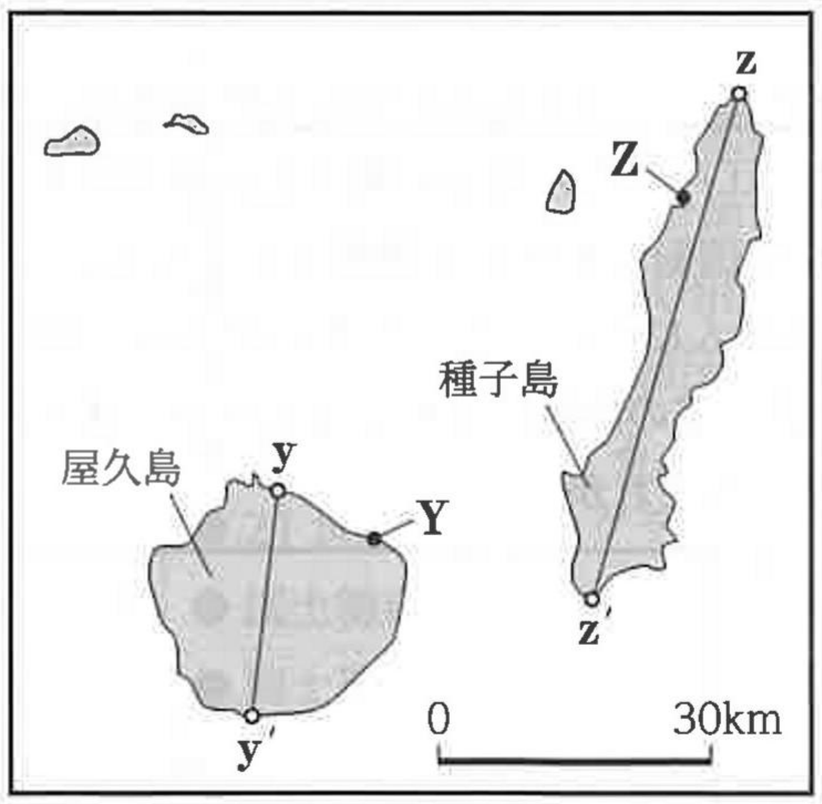
〔問２〕 次の表の**ア**～**エ**は，前のページの略地図中に▒▒で示した**Ｐ**～**Ｓ**の**いずれか**の道県の，2019年における米とぶどうの生産量，ぶどう生産の様子をまとめたものである。**Ｐ**～**Ｓ**のそれぞれの道県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	米（t）	ぶどう（t）	ぶどう生産の様子
ア	404400	16400	盆地の寒暖差の大きな気候を利用してぶどう栽培が盛んだが，西洋なしやおうとうの栽培も盛んで，西洋なしとおうとうの生産量は全国１位。
イ	26500	36900	道県庁所在地が位置する盆地の周辺の扇状地で，ももやぶどうが盛んに生産され，ぶどう狩りの観光農園やワイナリーも多く見られる。
ウ	155600	15800	道県庁所在地が位置する平野にある丘陵地で，夏に出荷される白桃やマスカットの生産が盛んで，高級品種は海外へも輸出されている。
エ	588100	6900	広大な農地が広がり，農業産出額は全国１位であるが，ぶどうは特定の地域で生産されており，ワインの原料としての利用も多い。

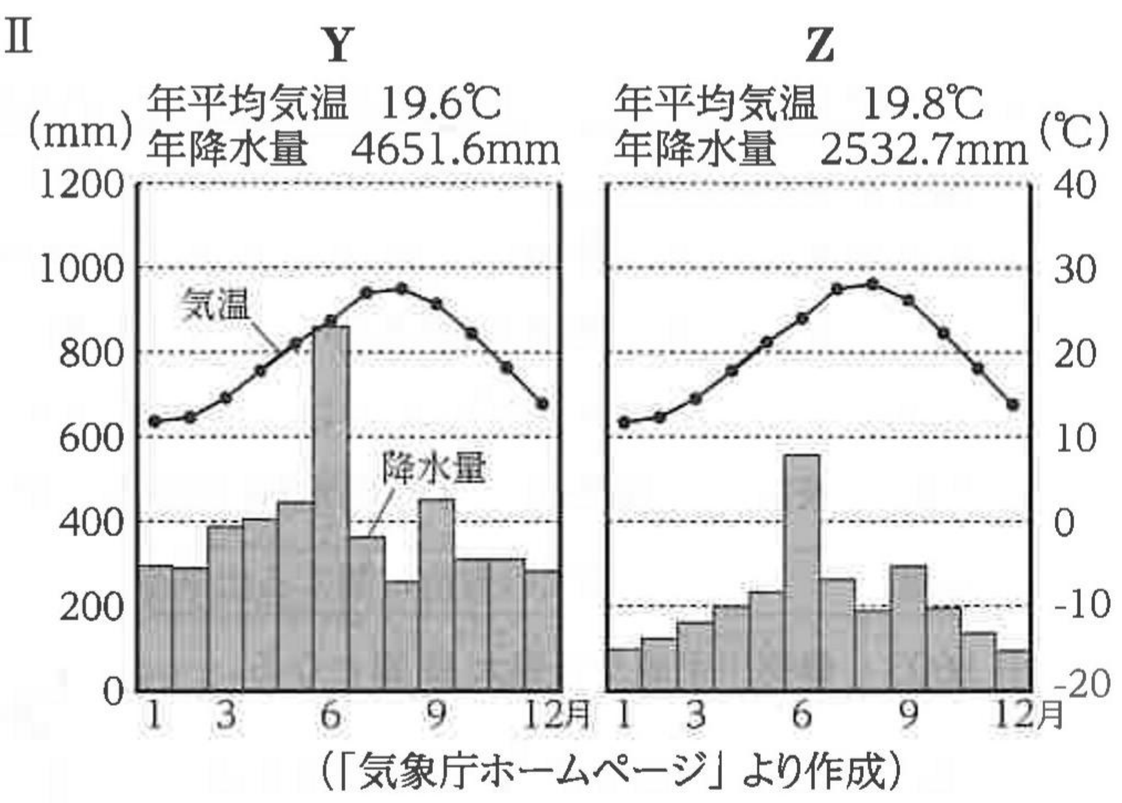
（「データでみる県勢」2021年版より作成）

〔問３〕 次のⅠの略地図は，前のページの略地図中の**Ｘ**の範囲に位置する屋久島（やくしま）と種子島（たねがしま）を示したものである。Ⅱのグラフは，Ⅰの略地図中の**Ｙ**と**Ｚ**の地点における，年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅲの図は，Ⅰの略地図中の**ｙ**－**ｙ′**，**ｚ**－**ｚ′**における断面図を示したものである。Ⅱのグラフから読み取れる，屋久島と種子島における年降水量の違いについて，簡単に述べよ。また，Ⅲの図から読み取れる，その降水量の違いが起こる要因について，簡単に述べよ。

Ⅰ

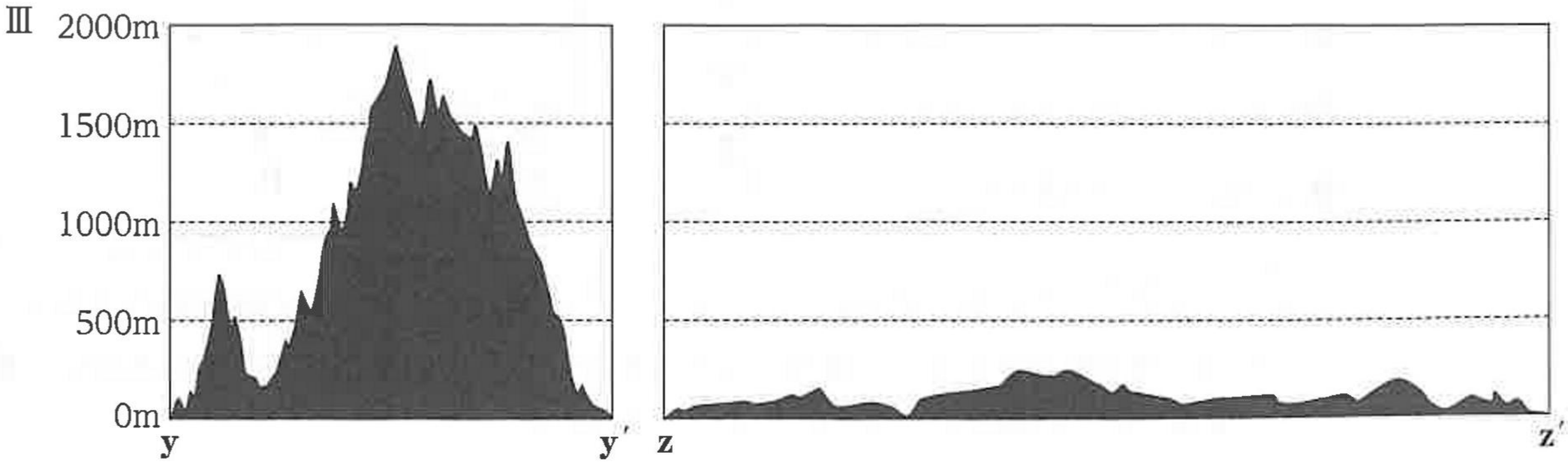


Ⅱ

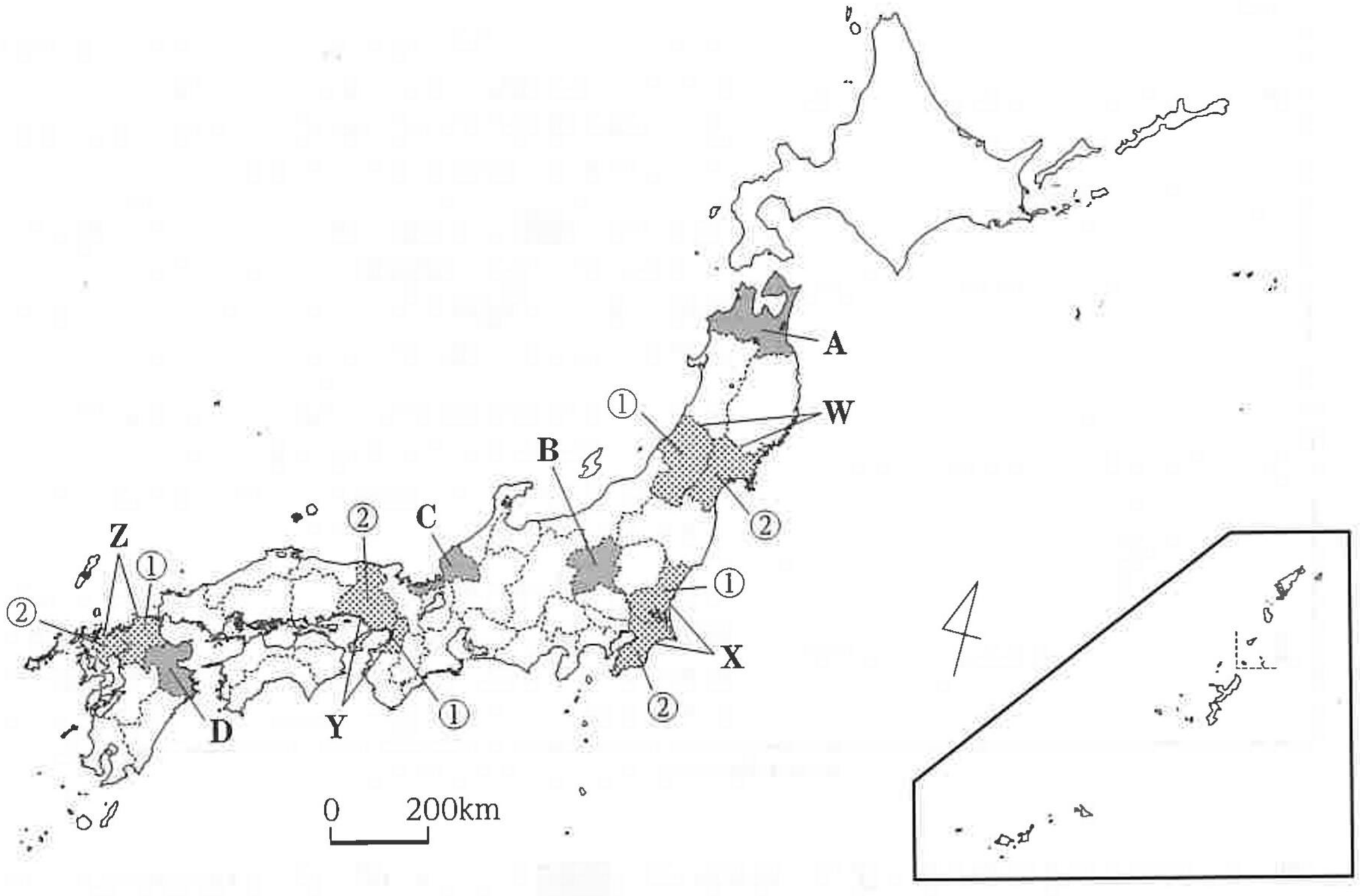


（「気象庁ホームページ」より作成）

Ⅲ



3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▨ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県の，2019年度における発電方式別電力量，県内の自然環境と発電所などの様子についてまとめたものである。**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	発電方式別電力量(百万 kWh)						自然環境と発電所などの様子
	水力	火力	原子力	風力	太陽光	地熱	
ア	366	2477	－	961	546	－	○夏に北東から吹くやませの影響で，東部では冷害に見舞われることがある。 ○六ヶ所村や東通村には，広い土地を利用して風力発電所がつくられている。
イ	830	12880	－	9	430	820	○北東部には国東半島があり，南東部の海岸はリアス海岸となっている。 ○火山や温泉が多くあり，その熱を利用した地熱発電所が位置している。
ウ	1638	7253	26717	32	24	－	○冬に北西から吹く季節風の影響で，山間部を中心に降雪量が多い。 ○西部のリアス海岸の沿岸には，日本を代表する原子力発電所が位置している。
エ	4064	173	－	－	263	－	○夏は降水量が多く，冬はからっ風が吹いて，乾燥した晴天の日が多い。 ○日本最大の流域面積の河川の上流にダムや水力発電所がつくられている。

(「データでみる県勢」2021 年版より作成)

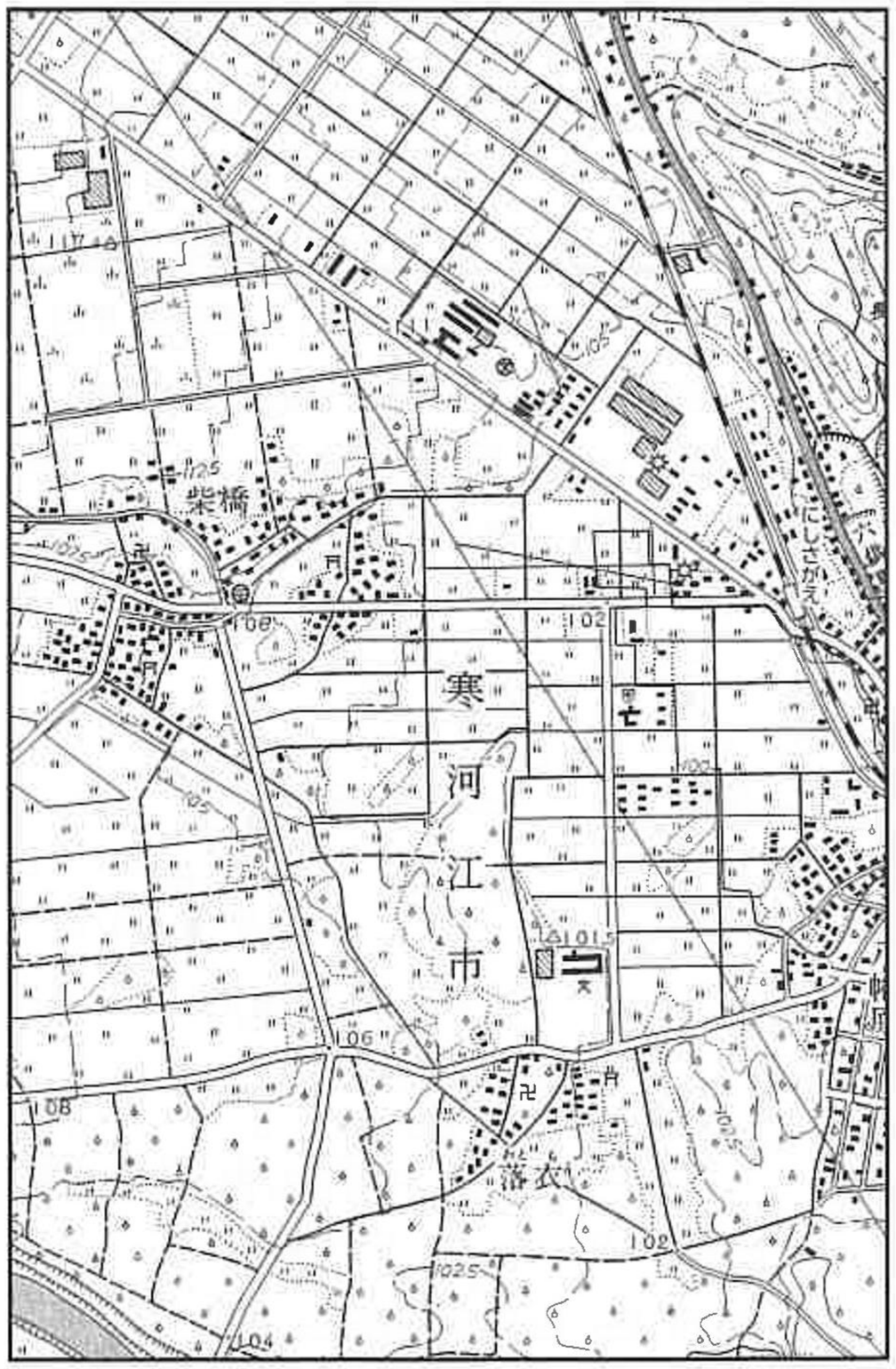
〔問2〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▒▒ で示した**W**～**Z**の**いずれか**の①と②の府県の，2017年度の鉄道におけるJRと民鉄(私鉄)の乗車人員，2018年度の自動車における営業用乗用車とバスの輸送人員，2019年度の航空輸送における国内線と国際線の旅客数を示したものである。**W**～**Z**のそれぞれに当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

		鉄道乗車人員(百万人)		自動車輸送人員(百万人)		航空輸送旅客数（千人）	
		JR	民鉄	営業用乗用車	バス	国内線	国際線
ア	①	235	289	82	276	18942	5694
	②	19	1	8	12	582	149
イ	①	90	37	16	55	635	141
	②	734	648	38	275	7461	32080
ウ	①	14	1	7	11	752	33
	②	109	91	23	69	3339	379
エ	①	798	2202	103	284	22470	21958
	②	420	683	50	244	3333	0

(「データでみる県勢」2021年版より作成)

〔問3〕 次のⅠとⅡの地形図は，1979年と2000年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図(寒河江)」の一部である。ⅠとⅡの地形図を比較して読み取ることのできる地域の変容について，簡単に述べよ。

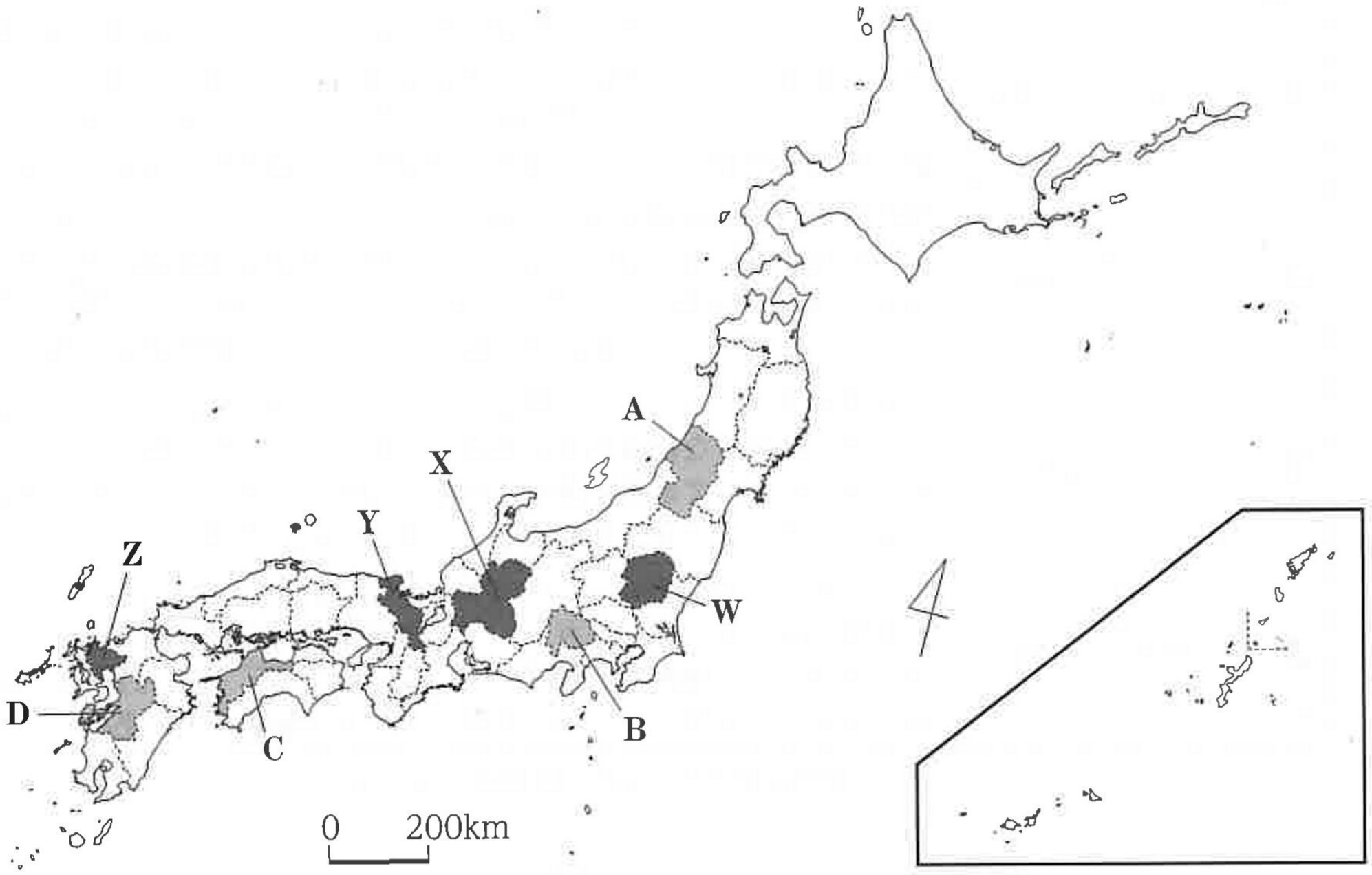
Ⅰ(1979年)



Ⅱ(2000年)



3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▭ で示した，**A**～**D**の**いずれか**の県の，2018年における農業産出額，農業生産額に占める果実の割合，県内の自然環境や産業などの様子についてまとめたものである。**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	農業産出額（億円） 果実の割合（%）	県内の自然環境や産業などの様子
ア	953 66.0	○中央部の盆地の周辺に多くの扇状地があり，かつては桑畑として利用されていたが，現在は果樹園としての利用が多く，ぶどうやももの一大生産地となっている。 ○周囲を2000～3000ｍ級の山々に囲まれ，内陸の気候のため寒暖差が大きい。美しい自然や夏の冷涼な気候を求め，多くの観光客が訪れる観光立県でもある。
イ	1233 43.0	○日当たりのよい海沿いの斜面一面にみかん畑が広がる。近年は，オレンジの輸入自由化にともない，多品種化やジュースなどの加工品の生産に力を入れている。 ○県庁所在地は城下町で，歴史の古い温泉もある，近年，海をまたぐ橋が開通して交通の利便性が高まっている。はまちやたいなどの養殖業も盛んに行われている。
ウ	2480 28.6	○県を南北に縦断するように流れる川沿いに盆地が点在し，おうとう，りんご，西洋なしなどの様々な果樹が生産されており，「フルーツ王国」とも呼ばれている。 ○季節風の影響で冬の降雪量がたいへん多く，豊富な雪どけ水を利用して平野部では稲作が盛んに行われている。将棋の駒などの伝統的工芸品でも知られている。
エ	3406 9.6	○温暖な気候と日当たりのよい海に面した斜面を利用してみかん栽培が盛んで，特に甘夏みかんの生産量は全国有数である。すいかやいちごの生産量も多い。 ○世界有数の規模のカルデラをもつ火山が位置し，温泉もあって観光客が多く訪れる。地震や大雨などの自然災害を受けており，近年，その対策に力を入れている。

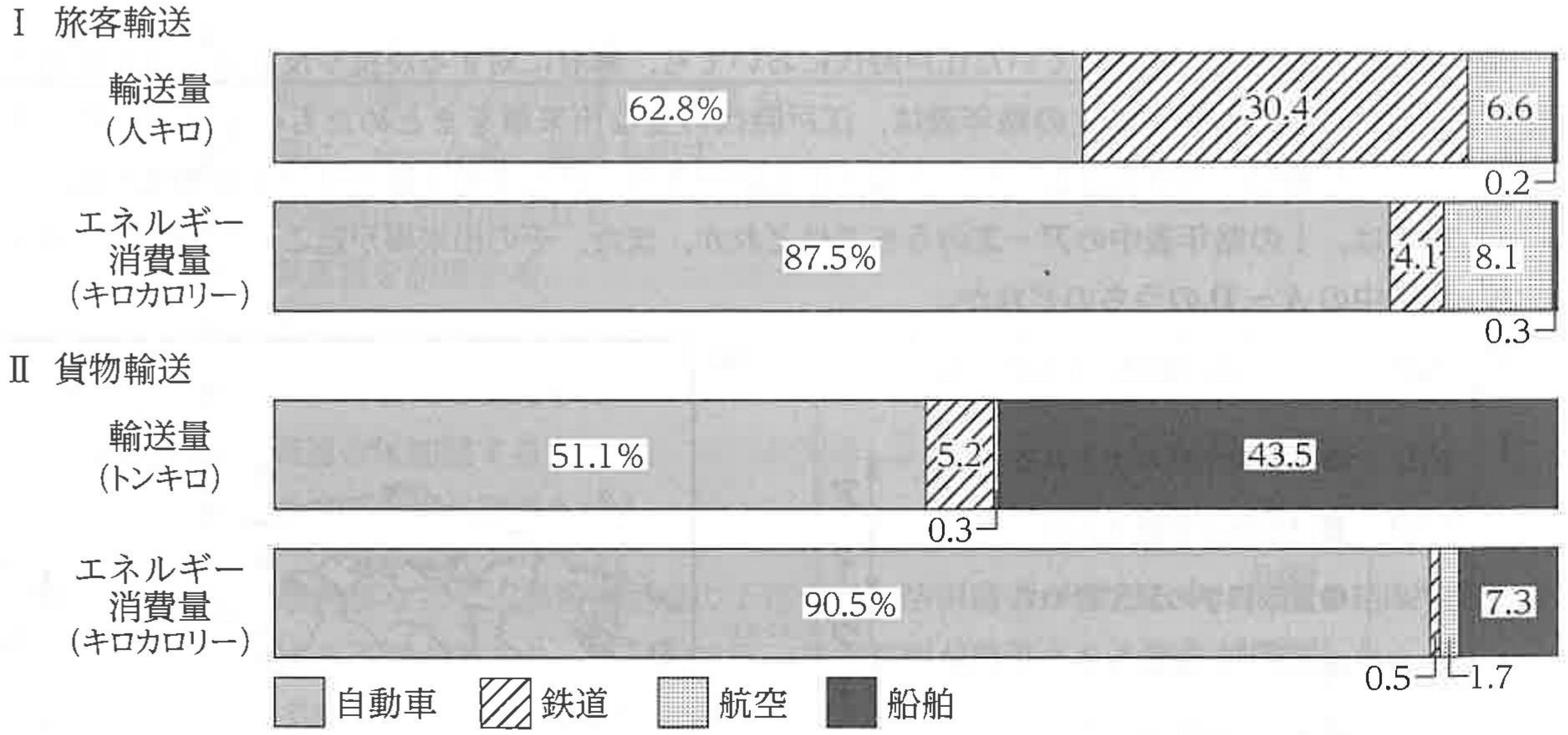
（「データでみる県勢」2021年版より作成）

〔問2〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した，**W**～**Z**の**いずれか**の府県の，2019年における窯業（ようぎょう）・土石製品の事業所数，2018年における窯業・土石製品の製造品出荷額，陶磁器生産やその他の産業の様子をまとめたものである。**W**～**Z**のそれぞれの府県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	事業所数	製造品出荷額（億円）	陶磁器生産やその他の産業の様子
ア	509	453	豊臣秀吉（とよとみひでよし）の朝鮮出兵に由来をもつといわれる有田（ありた）焼や唐津（からつ）焼，伊万里（いまり）焼などの焼物は，日本だけでなく世界的にも有名である。
イ	428	2148	歴史のある古都の伝統産業として，西陣（にしじん）織などとともに清水（きよみず）焼が生産され，焼物の技術がセラミックなどの技術に応用されている。
ウ	1558	3901	日本の屋根と呼ばれる高地に近く，隣県の瀬戸（せと）焼と並んで茶碗など安価な日用品の美濃（みの）焼の産地で，製品は全国で売られている。
エ	561	1718	いちごやかんぴょうの生産で有名な県東部では，駅弁容器で知られる益子（ましこ）焼が生産され，開催される陶器市には多くの客が集まる。

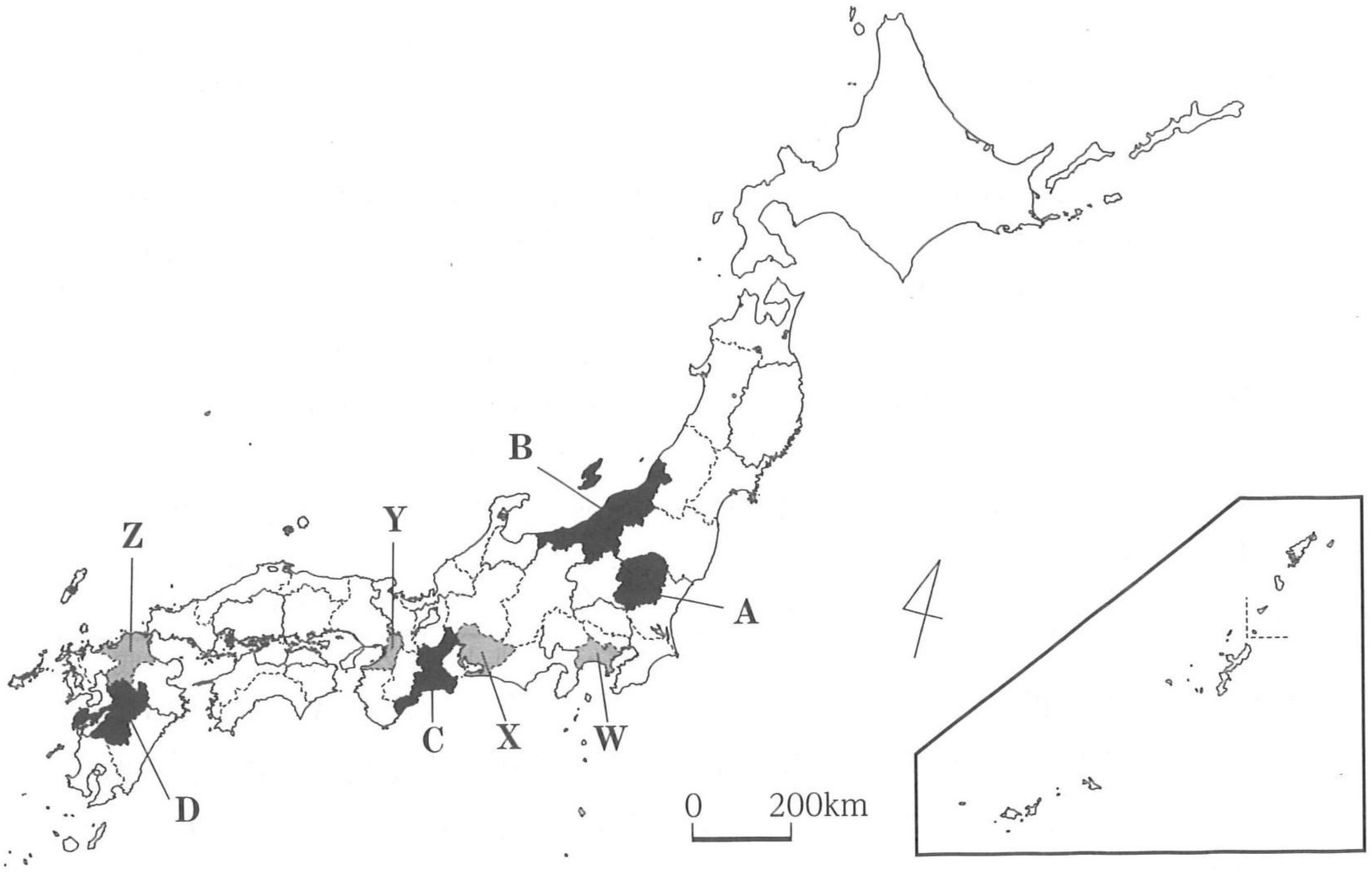
（「データでみる県勢」2021年版より作成）

〔問3〕 次のⅠのグラフは，2017年度の旅客輸送における輸送機関別の輸送量とエネルギー消費の割合を示したものである。Ⅱのグラフは，2017年度の貨物輸送における輸送機関別の輸送量とエネルギー消費の割合を示したものである。ⅠとⅡのグラフから読み取れる，旅客輸送と貨物輸送における自動車の占める割合と，自動車の輸送量とエネルギー消費量との関係について，簡単に述べよ。



（「日本国勢図会」2021/22年版より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に■で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2018 年における県内総生産額に占める製造業の割合，県内の工業の様子と公害の歴史についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	県内総生産額に占める製造業の割合(%)	工業の様子と公害の歴史
ア	18.3	○ 1960 年代に半導体(IC)工場が進出したのに次いで，電子部品や輸送用機器の工場が建設され，現在でも機械工業の占める割合が大きい。 ○水俣(みなまた)湾の臨海部の化学工場から出た廃液に含まれていた有機水銀(メチル水銀)で汚染された魚介類を食べた人々の間に深刻な健康被害が出た。
イ	22.7	○全国有数の米の収穫量を生かした米菓などの食料品工業や，縮(ちぢみ)と呼ばれる麻織物や打刃物(うちはもの)と呼ばれる金属製品などの伝統産業が発達している。 ○化学工場から阿賀野(あがの)川に排出された廃液に含まれた有機水銀(メチル水銀)で汚染された魚介類を食べた人々の間に深刻な健康被害が出た。
ウ	39.7	○四日市(よっかいち)市の臨海部には石油化学コンビナートがつくられており化学工業が盛んなほか，大手企業の自動車工場もあり輸送用機器の出荷額も多い。 ○臨海部の石油化学工場などの煙突から排出された亜硫酸(ありゅうさん)ガスなどによる大気汚染から，ぜんそくや目の痛みを訴える市民が相次いだ。
エ	41.2	○隣接する他県とともに内陸工業地域を形成しており，近年高速道路の整備により，県内各地に大手企業の工場が集まる工業団地が造成されている。 ○山間部の足尾(あしお)銅山から排出された廃棄物が，魚の大量死や農作物の枯(こ)死などの深刻な被害を出したため，田中正造(たなかしょうぞう)が議会で追及した。

(「データでみる県勢」2022 年版より作成)

〔問2〕 次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の府県の，2015年における常住(夜間)人口，昼間人口，2019年における製造品出荷額，製造品出荷額のうち金属工業の出荷額及び製造業従事者数を示したものである。Ⅱの文章は，**W** ～ **Z** の**いずれか**の府県の人口と製造業の様子についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている府県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか。

Ⅰ

	常住(夜間)人口(万人)	昼間人口(万人)	製造品出荷額(億円)	金属工業	製造業従業者数(万人)
ア	510	511	99760	16982	23.0
イ	748	759	481864	46352	88.8
ウ	884	922	172701	39013	48.2
エ	913	832	178722	17391	36.7

(「国勢調査」2015年，「地理データファイル」2022年度版より作成)

Ⅱ

この府県の府県庁所在地は地方中枢都市で，企業の本社や教育機関，商業施設が多く集まっていることから，常住(夜間)人口100人当たりの昼間人口の割合を示す昼夜間人口比率は100を超えている。かつて官営の八幡(やはた)製鉄所がつくられて我が国の産業革命の中心地となった歴史から，製造品出荷額に占める金属工業の割合は約17％である。また，この府県の製造業従業者一人当たりの製造品出荷額は4000万円台である。

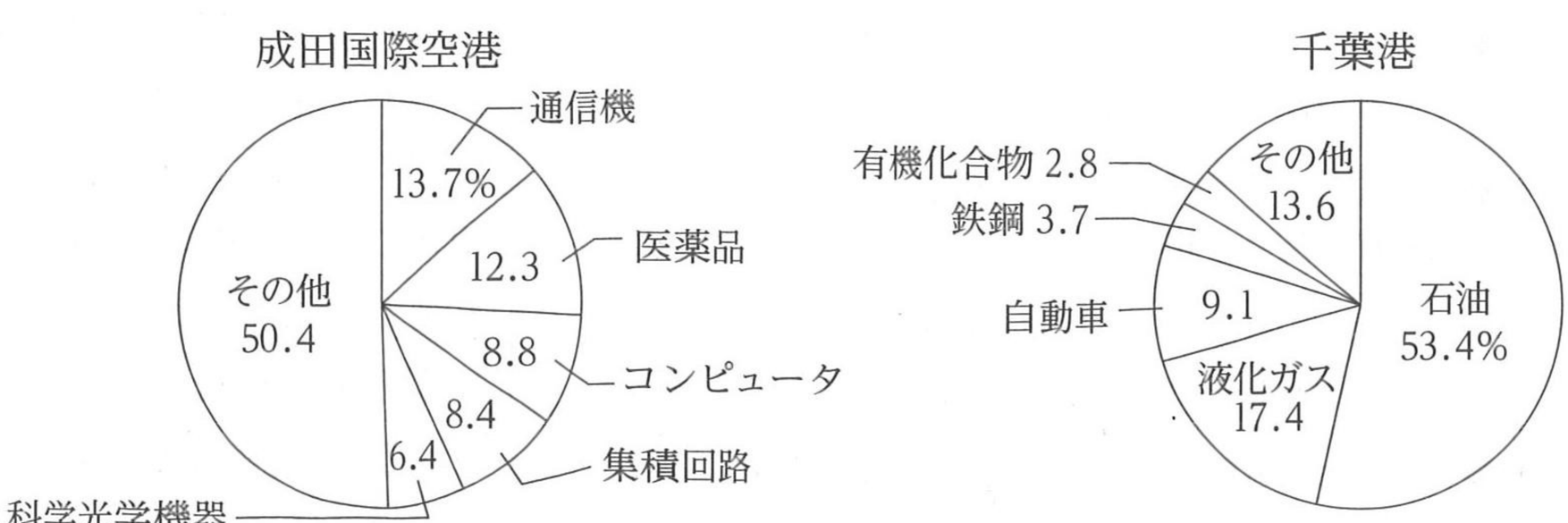
〔問3〕 次のⅠの表とⅡのグラフは，同じ千葉県に位置している二つの貿易港の輸入に関する統計をまとめたものである。Ⅰの表は，2019年における成田(なりた)国際空港と千葉港の輸入量(輸入した貨物の重量)と輸入額を比較したものである。Ⅱのグラフは，成田国際空港と千葉港の2019年の輸入額における輸入品目割合を示したものである。ⅠとⅡの資料から読み取れる，千葉港と比べた成田国際空港の輸入の特色について，成田国際空港で多く輸入される品目の共通点に着目し，「単価」，「軽量」という二つの語句を用いて，簡単に述べよ。

Ⅰ

	輸入量	輸入額
成田国際空港	75万トン	129560億円
千葉港	7447万トン	32682億円

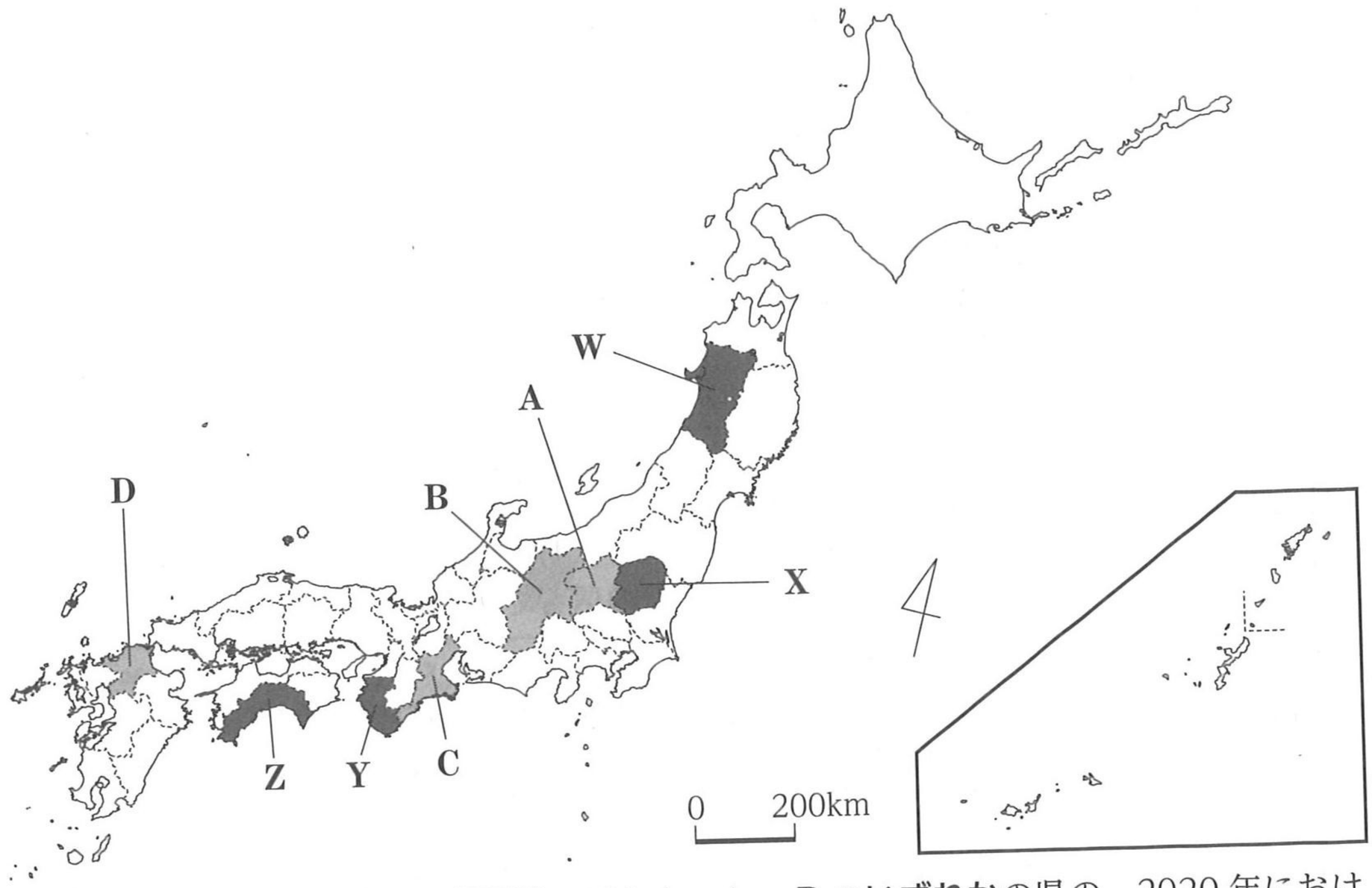
(「港湾統計年報」などより作成)

Ⅱ



(「日本国勢図会」2020/21年版より作成)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

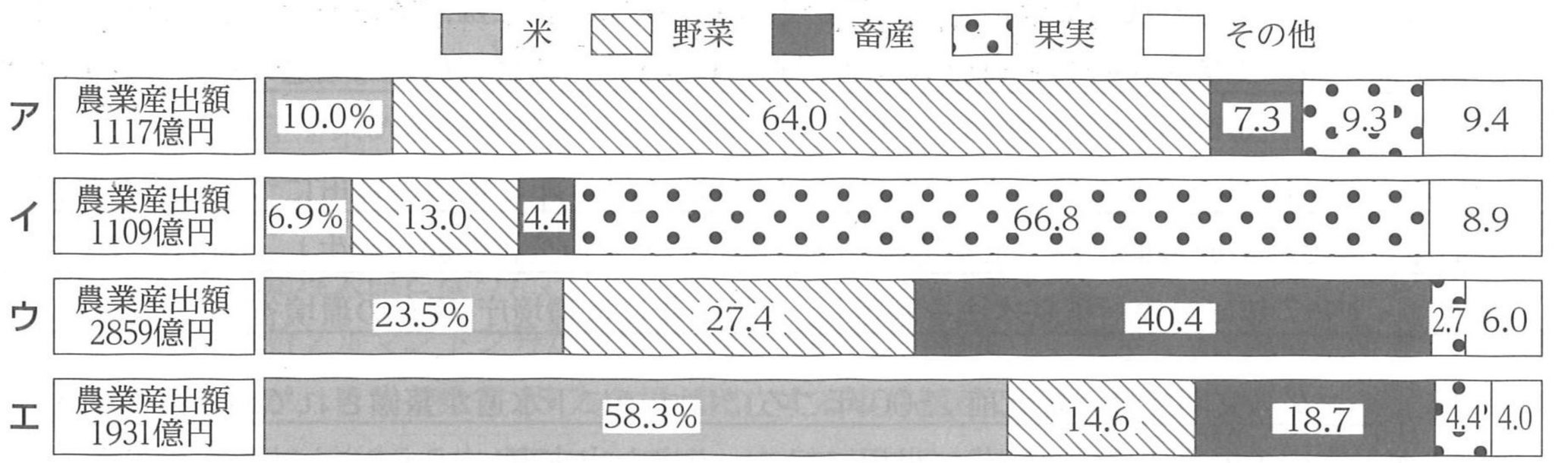


〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▭ で示した，**A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2020 年における人口，地形や気候と工業の様子についてまとめたものである。**A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	人口(人)	地形や気候と工業の様子
ア	1940333	○南東部には日本最大の平野が広がり，県の総人口の約７割が集中している。県内には赤城(あかぎ)山などが位置し，北部は冬に豪雪に見舞われるところもある。 ○自動車製造業をはじめとする輸送用機械器具製造業や食料品製造業が盛んに行われ，県内の高速道路付近には工業団地が多数形成されている。
イ	2049683	○日本アルプスと呼ばれる山脈が県内に連なり，県全域の標高が高く比較的冷涼で，県庁所在地の都市の市役所は標高 362 mのところに位置する。 ○昭和期までは生糸産業が盛んだったが，現在は工業用の工作機械や農業用機械のほか，電気や情報通信産業に使われる電子部品の製造が盛んである。
ウ	1771440	○平野や山地，高地，盆地など様々な地形を有する。南北に長いこともあり，各地域で様々な気候が見られ，台風の影響を受けることも多い。 ○石油化学コンビナートが建設されているほか，県の北部が日本最大の製造品出荷額をほこる工業地帯に含まれ，輸送用機械器具の出荷額が多い。
エ	5138891	○中央部に筑紫(つくし)山地が連なり，平野部は主に水田地帯となっている。県全体が太平洋側の気候に属し，夏～初秋には梅雨や台風の影響で降水量が多い。 ○県内北部では鉄鋼業やセメント工業などが盛んに行われていたが，現在は廃棄物を循環させて利用する環境関連産業の発展に力を注いでいる。

(「データでみる県勢」2022 年版より作成)

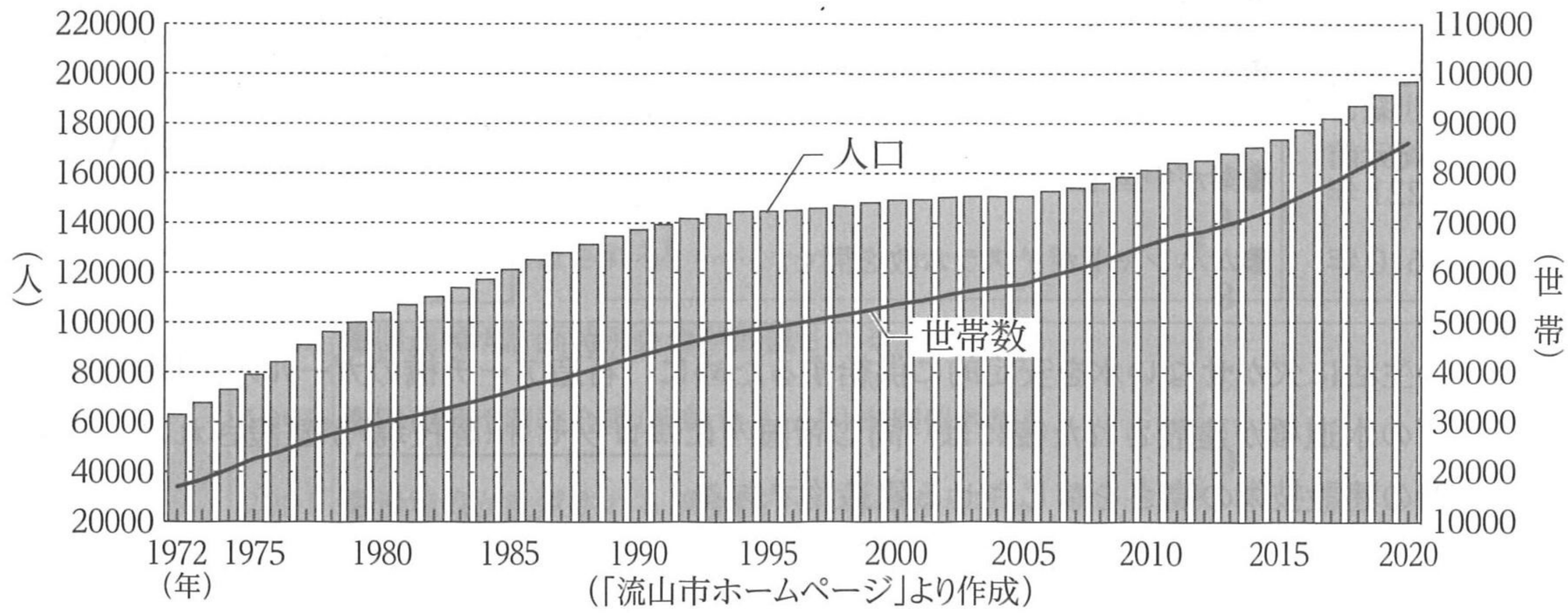
〔問２〕　次の**ア**～**エ**のグラフは，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の県の，2019 年における農業産出額とその内訳を示したものである。略地図中の **W** ～ **Z** のそれぞれの県に当てはまるのは，**ア**～**エ**のうちのどれか。



（「データでみる県勢」2022 年版より作成）

〔問３〕　次のⅠのグラフは，千葉県流山（ながれやま）市の 1972 年から 2020 年にかけての人口と世帯数の推移を示したものである。Ⅱの資料は，流山市の子育て支援に関する主な政策をまとめたものである。Ⅰ，Ⅱを参考に，流山市の人口が 2010 年代から，1990 年代及び 2000 年代に比べて大きく増加している要因について，簡単に述べよ。また，それに応じて年齢別人口構成にどのような変化が生じたと考えられるか，簡単に述べよ。

Ⅰ



（「流山市ホームページ」より作成）

Ⅱ

●流山市の子育て支援政策

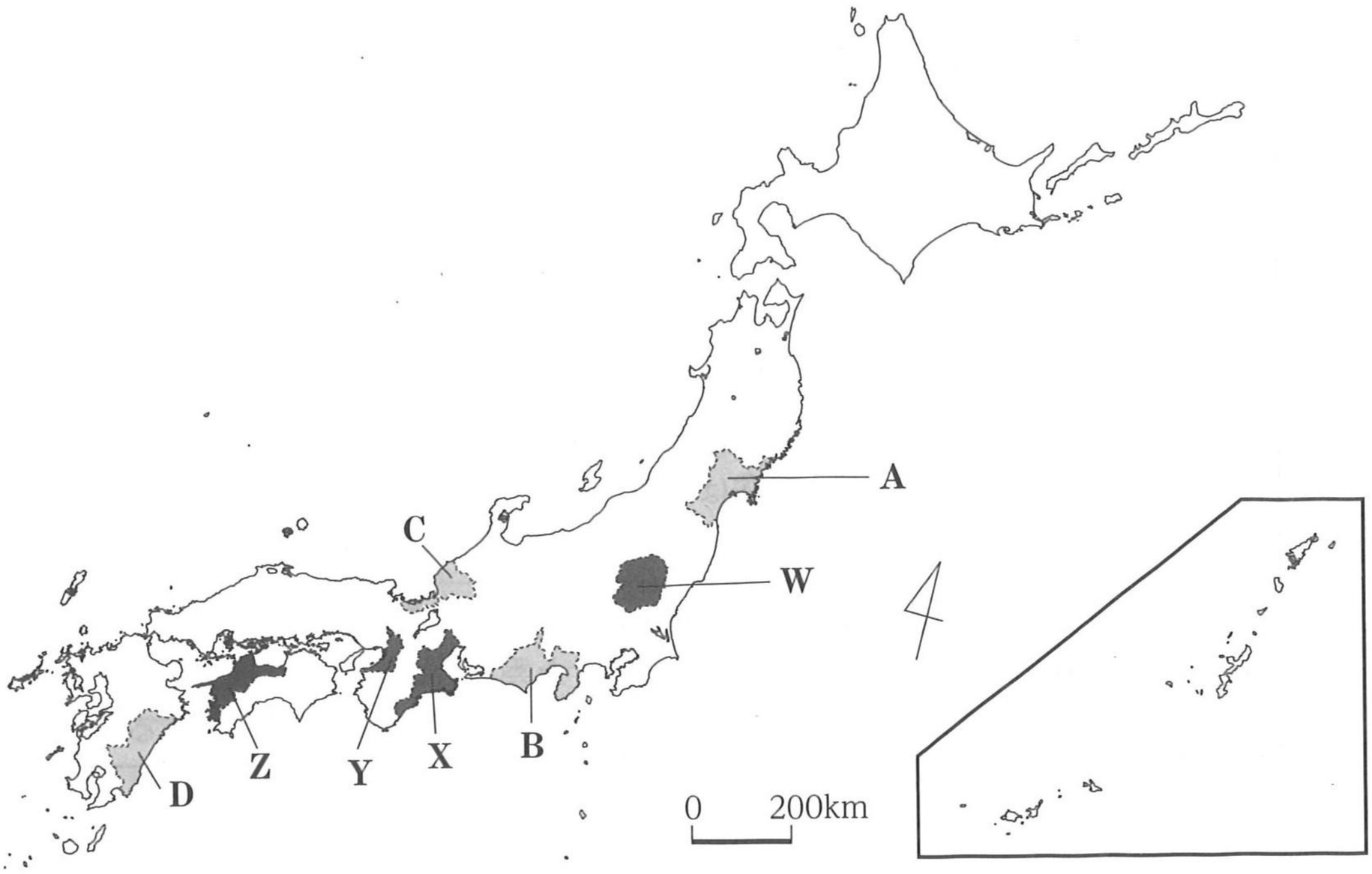
・2007 年　「送迎保育ステーション」開始

保護者が保育園に子どもを送らなくても，駅前の送迎ステーションに送れば，市内各所の保育園に送迎してくれる仕組み。

・2010 年　「母になるなら，流山市。」「父になるなら，流山市。」プロモーション開始

認可保育園の新設や，企業や IT を活用した「サテライトオフィス」のサポートを行う。

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▒ で示した**A**～**D**の**いずれか**の県の，2019年における農業産出額と漁業産出額，農業と漁業の様子についてまとめたものである。**A**～**D**のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	農業産出額(億円) 漁業産出額(億円)	農業と漁業の様子
ア	468 94	○農業産出額に占める米の産出額の割合が四つの県の中で最も高い(2019年)。また，六条大麦の生産量が都道府県の中で最多(2020年)である。 ○定置網漁業，底びき網漁業などが伝統的に行われており，西部の若狭湾では，リアス海岸を利用した養殖業も盛んである。
イ	3396 323	○畜産や野菜の促成栽培が盛んに行われている。マンゴーやブロイラー，ピーマン，きゅうりなどの産出額が全国有数である。 ○近海カツオの一本釣り漁やマグロのはえ縄漁が盛んに行われている。マグロ類やカツオ類以外では，アジ類やサバ類などの天然魚の生産量も多い。
ウ	1932 834	○「ひとめぼれ」などの銘柄米の生産が盛んで，米の産出額は四つの県の中で最も多い(2019年)。せりやパプリカなどの生産量が全国有数である。 ○沖に暖流と寒流がぶつかる潮目(潮境)があり，国内有数の好漁場となっている。ぎんざけやわかめ類，かき類などの養殖も盛んに行われている。
エ	1979 491	○比較的温暖な気候を生かした農業が伝統的に行われている。茶とみかんは全国有数の生産量で，ガーベラなどの花きの施設園芸も盛んである。 ○森林から流れる河川の流入や沖合を流れる黒潮などの影響により，様々な漁業が行われている。カツオ類とマグロ類の漁獲量は全国有数である。

(「データでみる県勢」2022年版より作成)

〔問２〕　次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に■で示した**W**～**Z**の**いずれか**の府県の，2019年における製造品出荷額と，そのうちの繊維工業，化学工業，鉄鋼業，電気機械器具，輸送用機械器具の出荷額を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの表の**ア**～**エ**の**いずれか**の府県について述べたものである。Ⅱの文章に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の**W**～**Z**のうちのどれか。

Ⅰ

	製造品出荷額（億円）	繊維工業	化学工業	鉄鋼業	電気機械器具	輸送用機械器具
ア	107685	495	12899	1195	6990	27351
イ	172701	3037	16635	14626	10631	15699
ウ	90110	619	6977	2468	9622	13121
エ	43303	1919	3440	1179	1046	4328

（「データでみる県勢」2022年版より作成）

Ⅱ

高速道路の整備が進んだことなどから工業団地が多数形成されていき，自動車の製造が盛んになったために，輸送用機械器具の出荷額は1兆円をこえ，製造品出荷額に占める割合は10％をこえている。一方，化学工業の出荷額は比較的少なく，製造品出荷額に占める割合は10％未満である。伝統的工芸品では，益子焼（ましこやき）などが生産されている。

〔問３〕　次のⅠの略地図は，2017年における日本国内の主な火力発電所の分布を示したものである。Ⅱの略地図は，2017年における日本国内の主な水力発電所の分布を示したものである。ⅠとⅡの略地図から読み取れる，火力発電所と水力発電所のそれぞれの立地の特徴について，簡単に述べよ。

Ⅰ

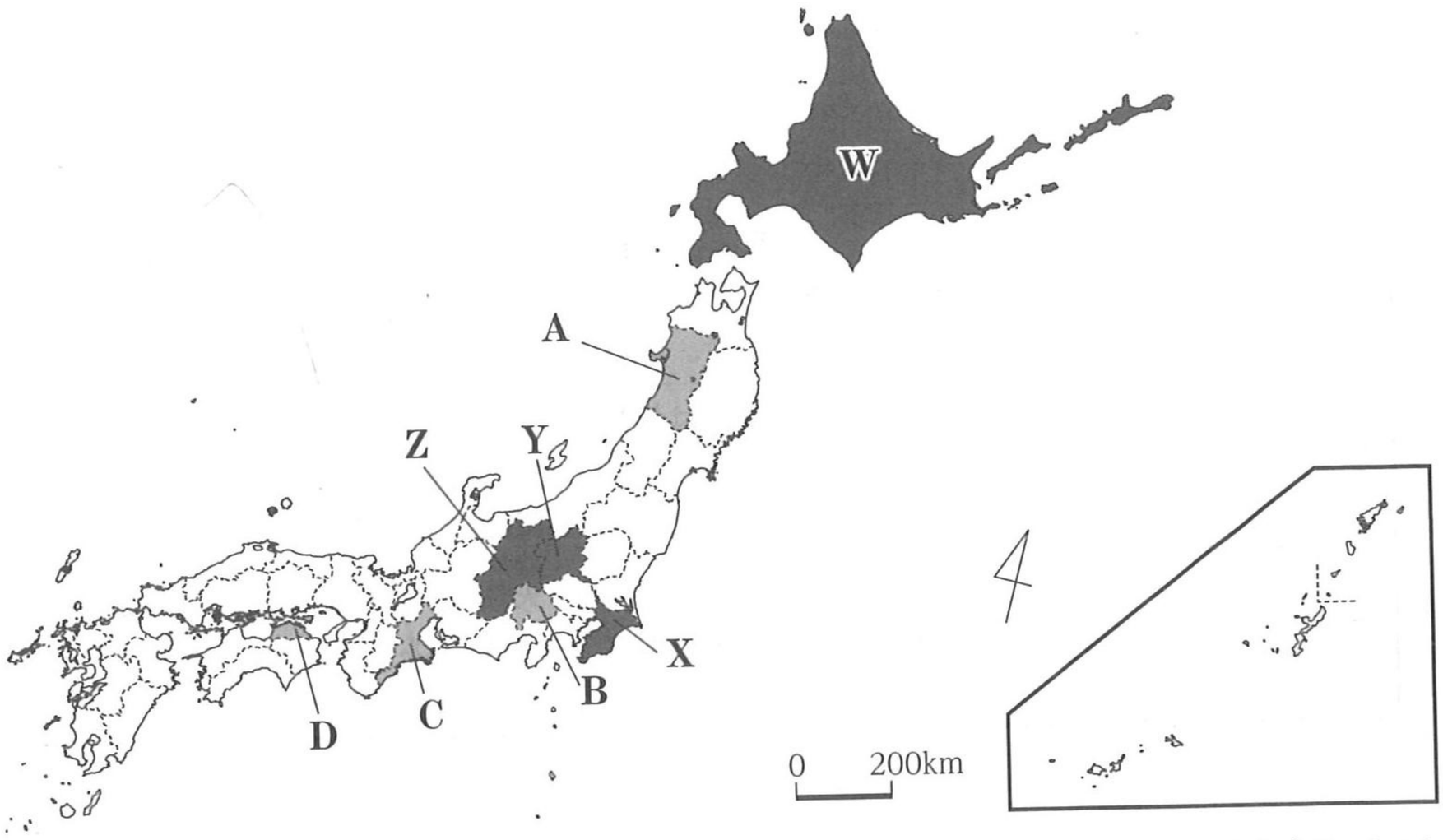


Ⅱ



※2020年現在で廃炉が決定した発電所を除く。

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



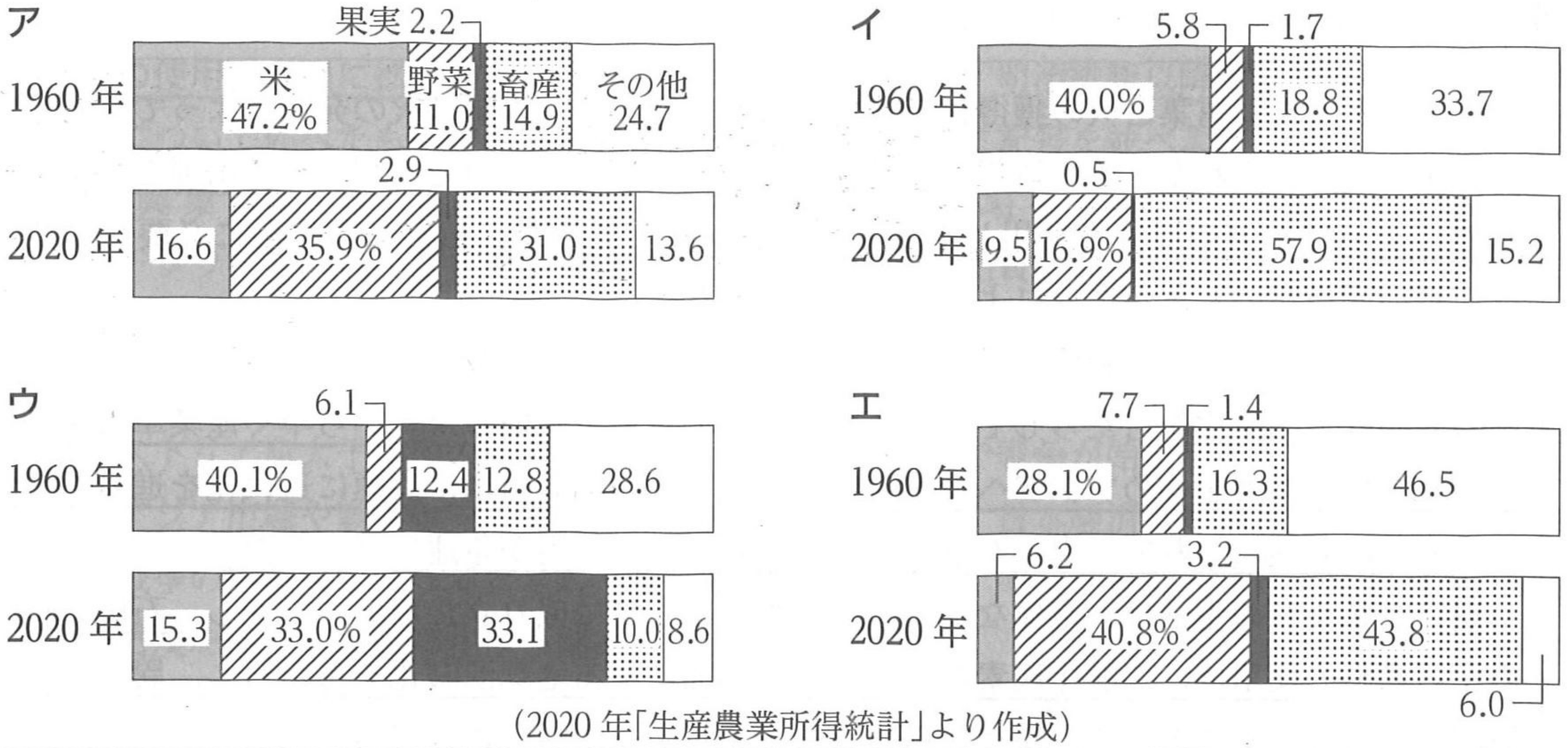
〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2022 年における過疎地域の面積と総面積に占める割合，自然や人口分布と産業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	面積(km²) 割合(%)	自然や人口分布と産業の様子
ア	2244 38.9	○平地は北部に分布し，南部では山地が沿岸まで迫り，過疎(かそ)地域は南部に集中している。南部は日本有数の多雨地域となっている。 ○北部は我が国最大の工業地帯に含まれ，輸送用機械工業が盛んである。かつて石油化学コンビナートによる深刻な大気汚染が起こった。
イ	770 41.0	○晴天の日が多く降水量は少ない。北部の海に面した平野に人口が集中し，南部の県境に連なる山脈や離島に過疎地域が分布している。 ○化学工業の割合が高い工業地域の一部をなしている。1988 年に，他県との間に道路と鉄道で結ぶ橋が整備された。
ウ	2112 47.3	○山々に囲まれた地形で，朝夕，夏冬の気温差が大きい。中央部にある盆地に人口が集中し，周辺の山間部に過疎地域が分布している。 ○盆地に広がる扇状地(せんじょうち)では，ぶどうやももなどの果樹栽培が盛んで，ワインづくりなどの地場産業も盛んである。
エ	10498 90.2	○冬は北西の季節風の影響で積雪量が多い。東の県境は南北に連なる山脈となっており，山間部は特に積雪量が多く，過疎地域となっている。 ○全国有数の米の産地で，かつて産業の中心は農業や林業，鉱業であったが，現在は，工場誘致をきっかけに電子部品生産が盛んである。

(「データでみる県勢」2022 年版より作成)

〔問２〕 次のページのⅠの**ア**～**エ**のグラフは，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の道県の，1960 年と 2020 年における農業産出額の内訳を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの**ア**～**エ**の**いずれか**の道県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている道県に当てはまるのは，Ⅰの**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか。

I



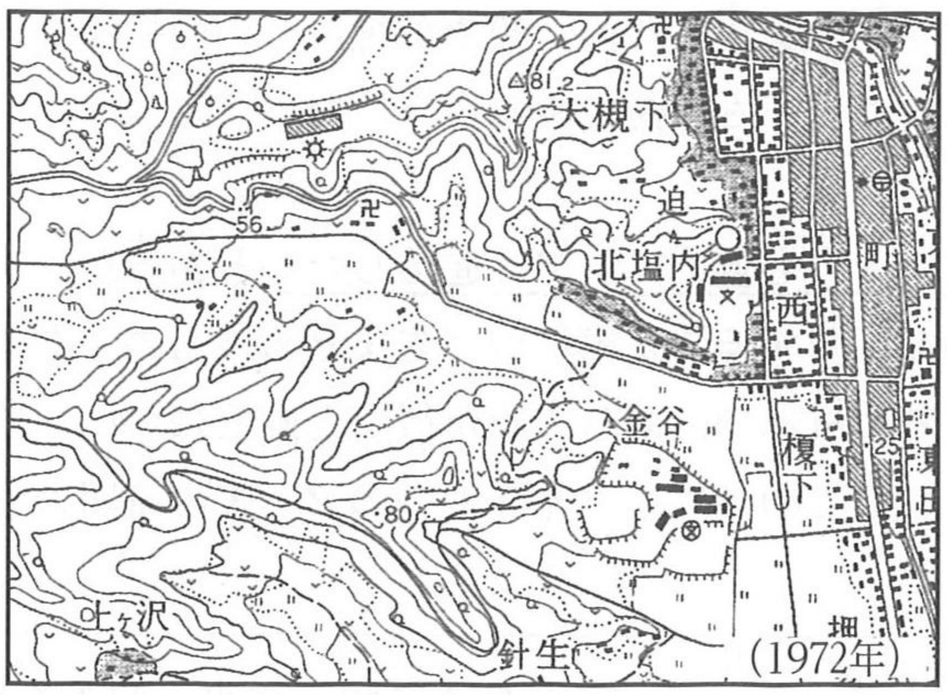
(2020 年「生産農業所得統計」より作成)

II

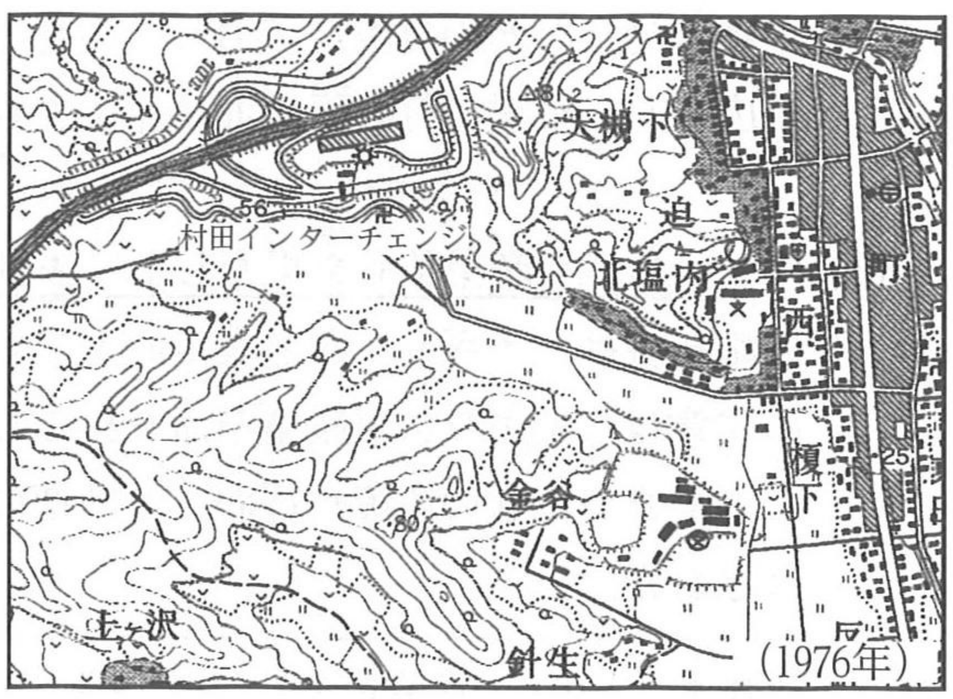
県の面積の約 80 %が丘陵(きゅうりょう)地や山地となっており，標高差を利用してさまざまな農産物が生産されている。高速道路の整備や保冷ができるトラックの普及などにより，新鮮な野菜などを大消費地に届けられるようになり，野菜と畜産の産出額の割合が大きく増加している。2020 年の農業産出額は約 2463 億円で，野菜と畜産の産出額はそれぞれ 1000 億円をこえている。

〔問３〕 次のⅠ～Ⅲの地形図は，1972 年，1976 年，1998 年発行の宮城県村田(むらた)町の一部を示したものである。また，Ⅳのグラフは，1971 年から 1998 年までの村田町と宮城県の製造品出荷額の推移を示したものである。Ⅰ～Ⅲの地形図から読み取れる，この地域の変容について，簡単に述べよ。また，この時期の村田町の産業の変化について，Ⅳのグラフを参考に，簡単に述べよ。

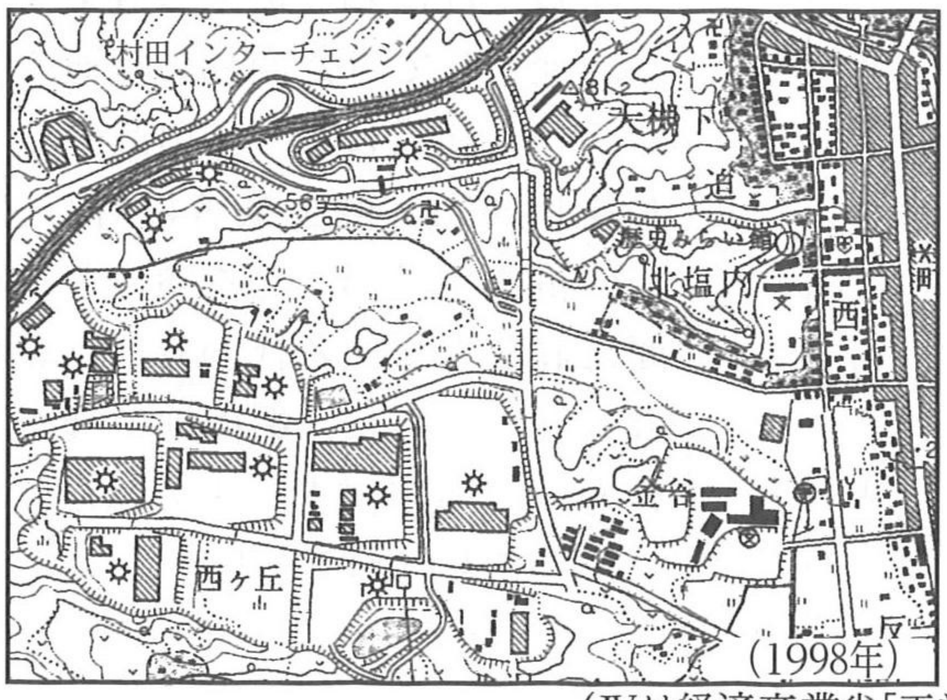
I



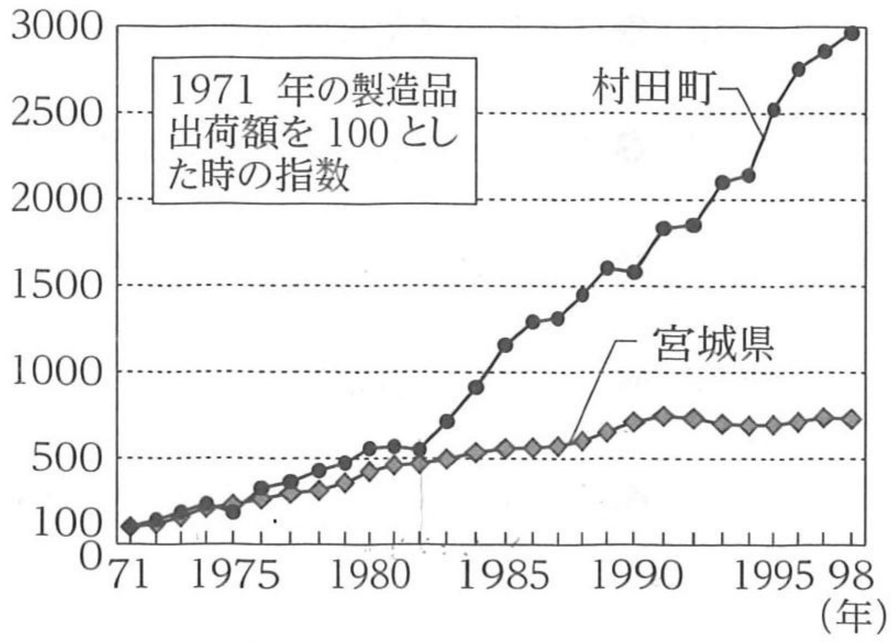
II



III

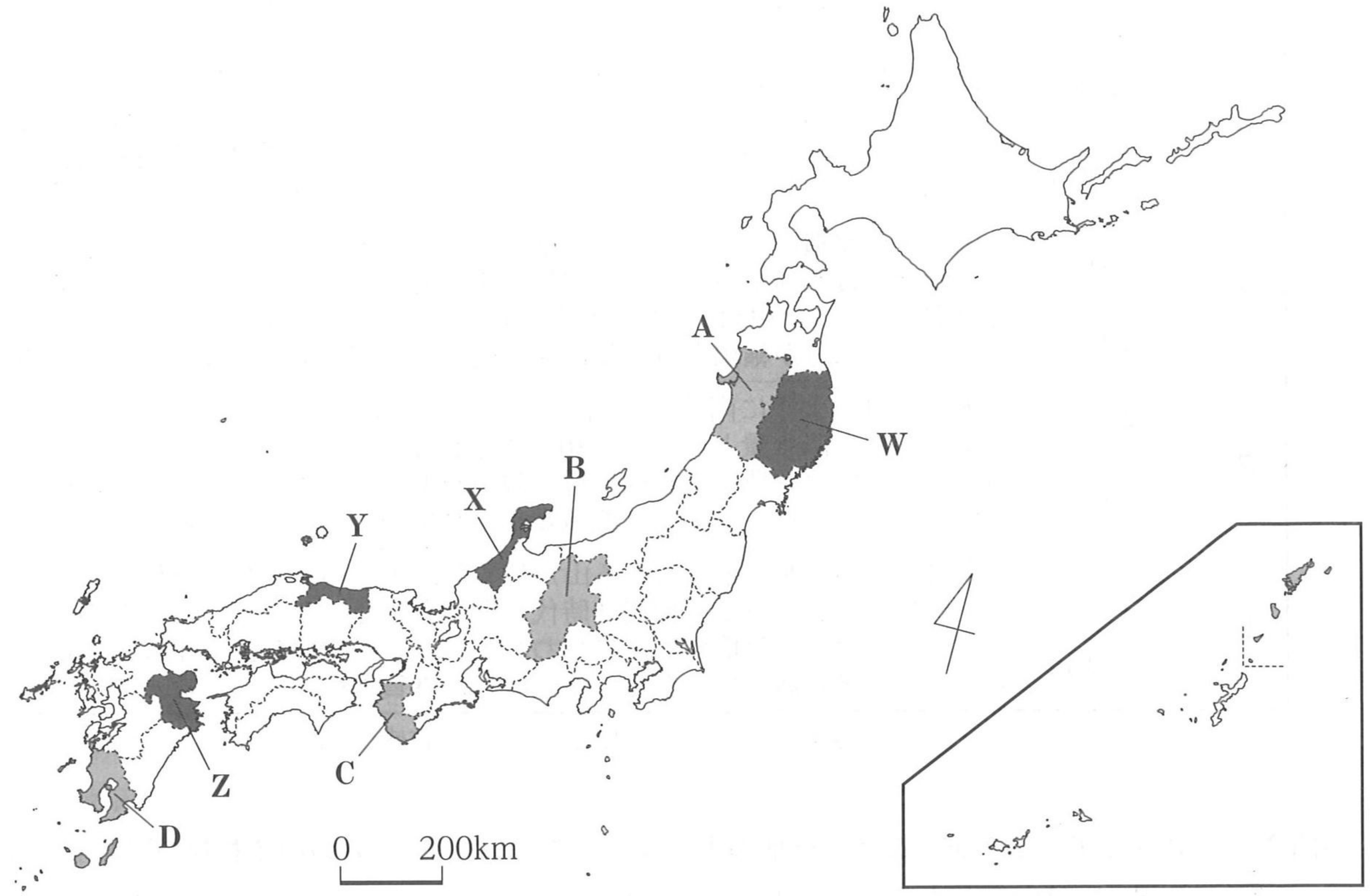


IV



(Ⅳは経済産業省「工業統計調査」より作成)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2020 年における林野面積と素材生産量，県の自然環境や林業などの産業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	林野面積(千 ha) 素材生産量(千 m^3)	県の自然環境や林業などの産業の様子
ア	589 572	○世界自然遺産に登録された杉の原生林が，この県を含む地方で最高峰の山の山ろくに見られる。原生林の保存と観光客誘致の両立を図っている。 ○広範囲に火山灰の台地が広がり，県の土地面積に占める林野面積の割合は約 64 %で全国平均より低い。素材生産量の大部分が針葉樹である。
イ	1029 466	○標高 3000 m級の山が位置する山脈があり，県の面積に占める山地の割合が高い。2019 年における林業産出額が約 570 億円で全国 1 位である。 ○古くから良質の木材の生産地として知られ，特に樹齢数 100 年を誇る檜(ひのき)は，法隆寺(ほうりゅうじ)や伊勢神宮(いせじんぐう)をはじめとする多くの寺社に使われてきた。
ウ	833 1123	○隣県と結ぶ道路建設計画に対し，貴重なブナの原生林を守る住民運動が起き，これをきっかけにブナの原生林は世界自然遺産に登録された。 ○三大美林の一つにも数えられる天然杉が有名で，強度の高さから建築用材として利用され，伝統的工芸品の曲げわっぱの材料にもなっている。
エ	360 166	○西は海に面しているが東部には険しい山地が連なり，その山地に位置する複数の県にまたがる寺院や神社などが世界文化遺産に登録されている。 ○日本でも有数の多雨地帯で良質な樹木がよく育ち，古くから林業が盛んで，高級建築材や家具などに加工される杉や檜が生産されている。

(「データでみる県勢」2022 年版より作成)

〔問２〕　次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した**W** ～ **Z** の**いずれか**の県の過疎地域について，2021 年における過疎市町村数，2015 年における過疎地域の人口と県の総人口に占める割合，過疎地域の面積と県の総面積に占める割合を示したものである。Ⅱの文章は，**W** ～ **Z** の**いずれか**の県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか。

Ⅰ

	過疎市町村数	過疎地域の人口		過疎地域の面積	
		人口(千人)	割合(%)	面積(km^2)	割合(%)
ア	25	500	39.1	10948	71.7
イ	15	107	18.6	2775	79.1
ウ	15	441	37.9	5404	85.2
エ	10	149	12.9	1913	45.7

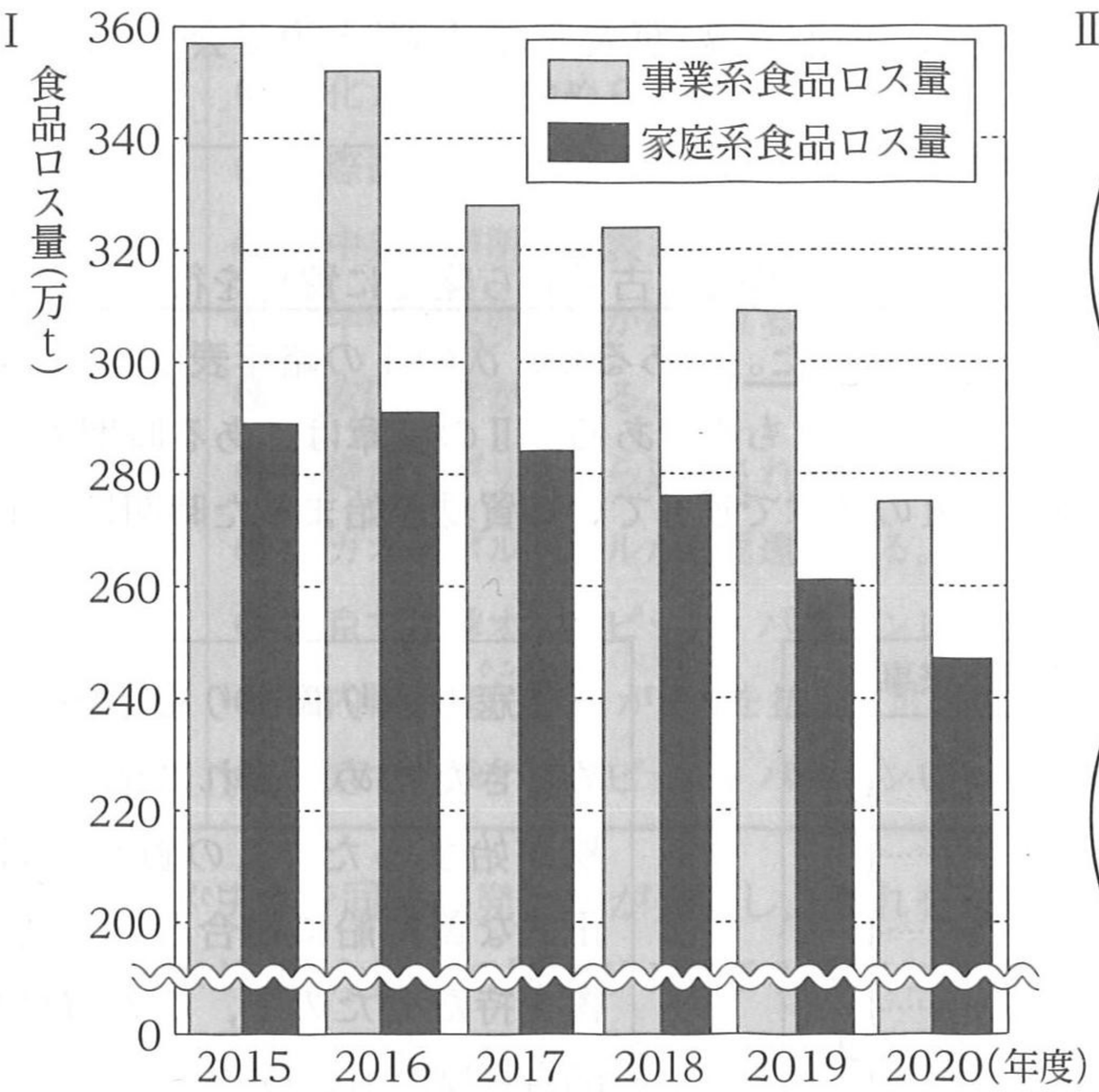
（「データでみる県勢」2022 年版より作成）

Ⅱ

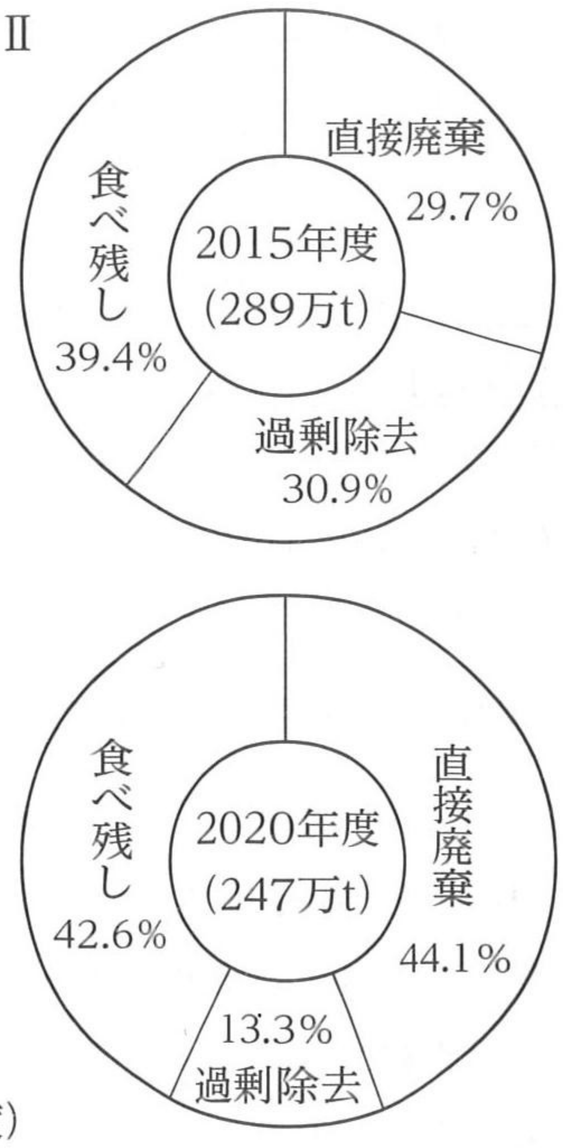
2015 年における県の総面積は約 3500 km^2，総人口は約 57 万人で，47 都道府県の中で最も総人口が少ない県である。人口の多くは北部の海岸沿いに分布し，県庁所在地も北東部に位置している。南部の他県との県境はなだらかな山地となっており，この山間部に過疎地域が多く見られ，65 歳以上の高齢者が人口の過半数を占める限界集落と呼ばれるところも多い。

〔問３〕　本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食物のことを食品ロスという。次のⅠのグラフは，2015 年度から 2020 年度までの我が国の食品ロス量の推移を示したものである。Ⅱのグラフは，2015 年度と 2020 年度における家庭系食品ロス量の内訳を示したものである。ⅠとⅡのグラフを活用し，我が国の食品ロス量はどのように推移しているか，また，家庭系食品ロス量を減らすためにどのようなことができるかについて，簡単に述べよ。

Ⅰ



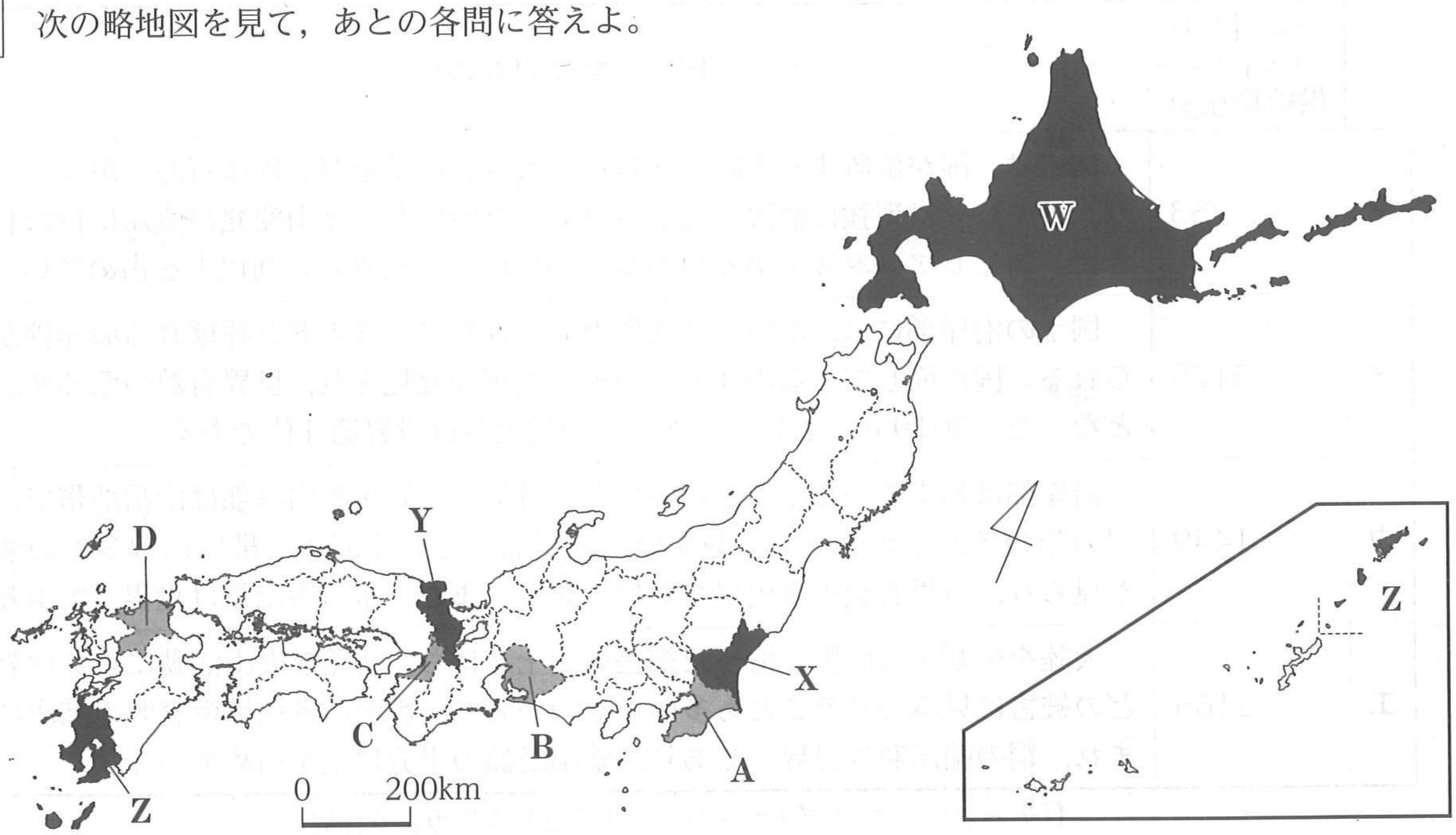
Ⅱ



※直接廃棄…賞味期限切れ等により使用・提供されず、手つかずのまま廃棄されたもの
※過剰除去…厚くむき過ぎた野菜の皮など、不可食部分を除去する際に過剰に除去された可食部分
※食べ残し…食卓にのぼった食品で、食べ切られずに廃棄されたもの

（環境省「食品ロスポータルサイト資料」より作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の府県の，新幹線や空港などの交通の様子についてまとめたものである。**A** ～ **D** のそれぞれの府県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	新幹線や空港などの交通の様子
ア	○ 1975 年に，この府県まで新幹線が開通したときには，府県内に二つある政令指定都市にそれぞれ一つずつ新幹線の駅が設置された。新幹線は，2011 年にさらに南に延伸している。 ○府県庁所在地の都市には国が管理する空港が置かれ，国内線のほか地理的に近い東アジアや東南アジア各都市との間で国際線が就航しており，多くの人々が利用している。
イ	○府県内には，府県庁所在地の都市に新幹線の駅が一つ設置されている。府県内の鉄道路線網では私鉄の占める割合が高く，私鉄各社は百貨店やホテルなどの多角経営を行っている。 ○府県内の隣の府県とまたがる場所に国際空港があるが，騒音などによる環境悪化が社会問題となり，1994 年に湾上を埋め立てて 24 時間運用が可能な国際空港がつくられ開港した。
ウ	○府県が属している地方で唯一，新幹線が通っていない。府県が面している海洋上には，アクアラインと呼ばれる高速道路が横断しており，大都市圏の中心部とこの府県を結んでいる。 ○府県の北部には，1978 年に開港した国際線発着を主とする国際空港が位置しており，貿易額も我が国最大で，半導体や科学光学機器など高価で軽量な精密品の取り扱いが多い。
エ	○府県内には新幹線の駅が三つ設置され，JR 路線や私鉄路線も充実しているが，道路が広いことや自動車工業が盛んなことから，輸送手段としては自動車の利用が多くなっている。 ○ 2005 年に，この府県での国際博覧会の開催にあわせて，海上を埋め立てて 24 時間離着陸可能な国際空港が開港した。この国際空港はセントレアという愛称で呼ばれている。

〔問２〕 次のページのⅠの表は，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の道府県の，1997 年と 2019 年における製造品出荷額，製造品出荷額のうちの食料品工業，鉄鋼，化学工業，輸送用機械の出荷額を示したものである。Ⅱの文章で述べている道府県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか。

Ⅰ

		製造品出荷額（億円）	食料品工業	鉄鋼	化学工業	輸送用機械
ア	1997年	62612	10002	643	3641	8898
	2019年	57419	14185	770	4055	4379
イ	1997年	19357	8648	26	439	127
	2019年	20247	10935	46	478	161
ウ	1997年	118025	13870	7591	23313	1714
	2019年	126383	20046	8333	26401	9695
エ	1997年	61961	23281	2480	6891	1901
	2019年	61336	24740	3967	10850	3845

（注）食料品工業は，食料品，飲料・たばこ・飼料の合計。
化学工業は，化学工業，石油製品・石炭製品，プラスチック製品，ゴム製品の合計。

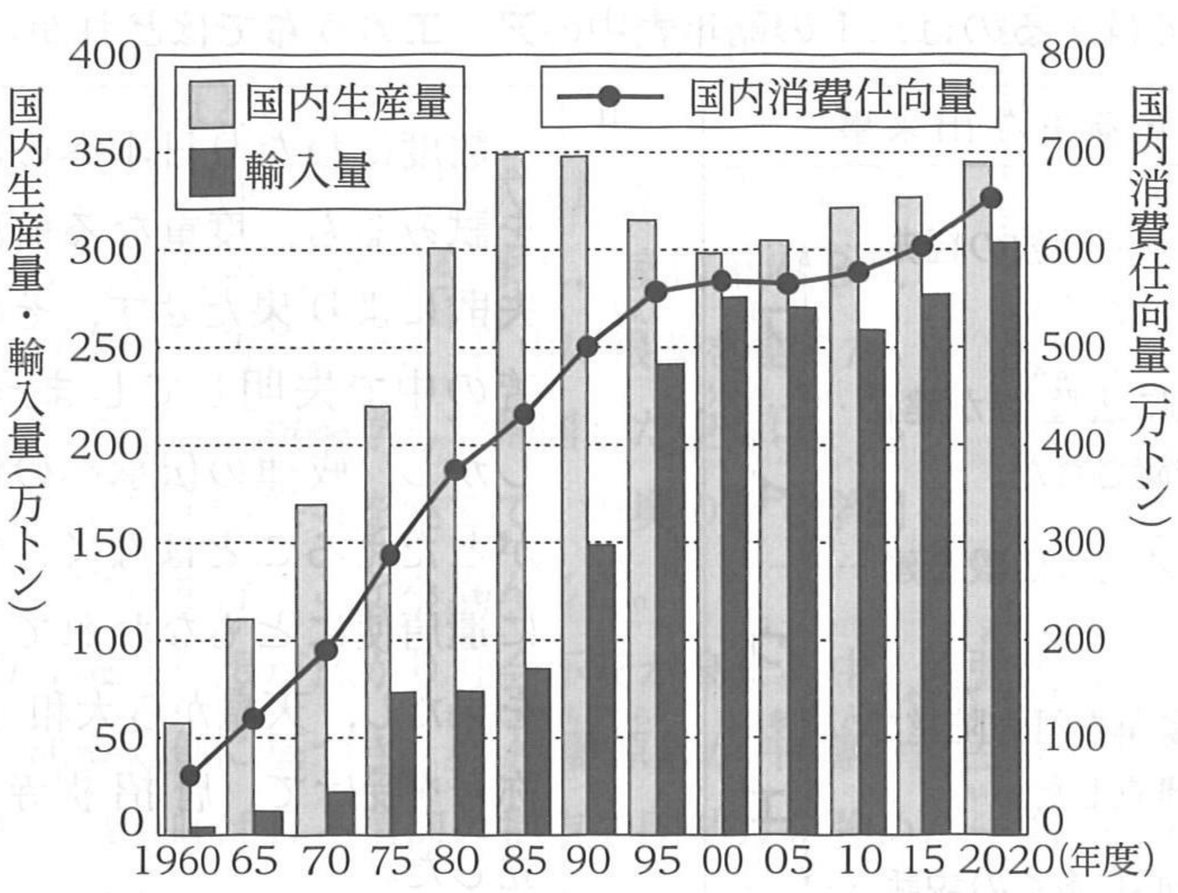
（「地理データファイル」2000年度版，2022年度版より作成）

Ⅱ

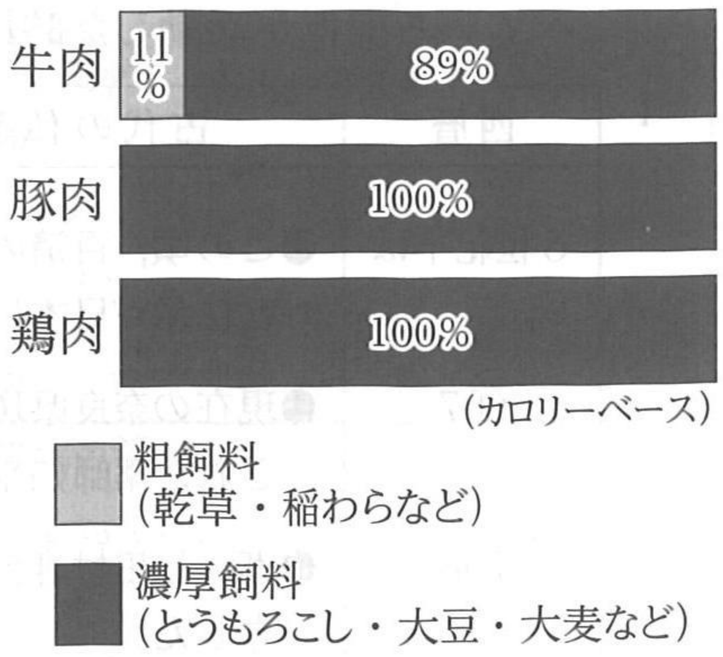
この道府県は，地元で豊富に生産される小麦や生乳などの農畜産物や，さけやたらなどの水産物を原料とした食料品工業が盛んなのが特徴で，2019年における製造品出荷額に占める食料品工業の割合は3分の1以上である。また，砂浜の海岸に世界初となる掘り込み式港がつくられて石油化学コンビナートが造成されたことから化学工業も発達し，2019年における化学工業の出荷額は輸送用機械よりも多い。輸送用機械の出荷額では，2005年以降この道府県へ自動車工場が相次いで進出したことで，1997年から2019年にかけて約2倍に増加している。

〔問3〕 次のⅠのグラフは，我が国における1960年度から2020年度にかけての肉類の国内生産量と輸入量及び国内消費仕向量の推移を示したものである。Ⅱのグラフは，肉類の生産に欠かせない飼料について，2020年度における我が国の肉類生産での飼料の内訳を示したものである。Ⅲの表は，2020年度における我が国の飼料自給率を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料から読み取れる，(1)「1960～70年ごろと，2010～20年ごろを比べた我が国の肉類の自給率の推移」と，(2)「2020年度の肉類の自給率について，実際の自給率はもっと低いと考えられている理由」の二点について，それぞれ簡単に述べよ。

Ⅰ



Ⅱ

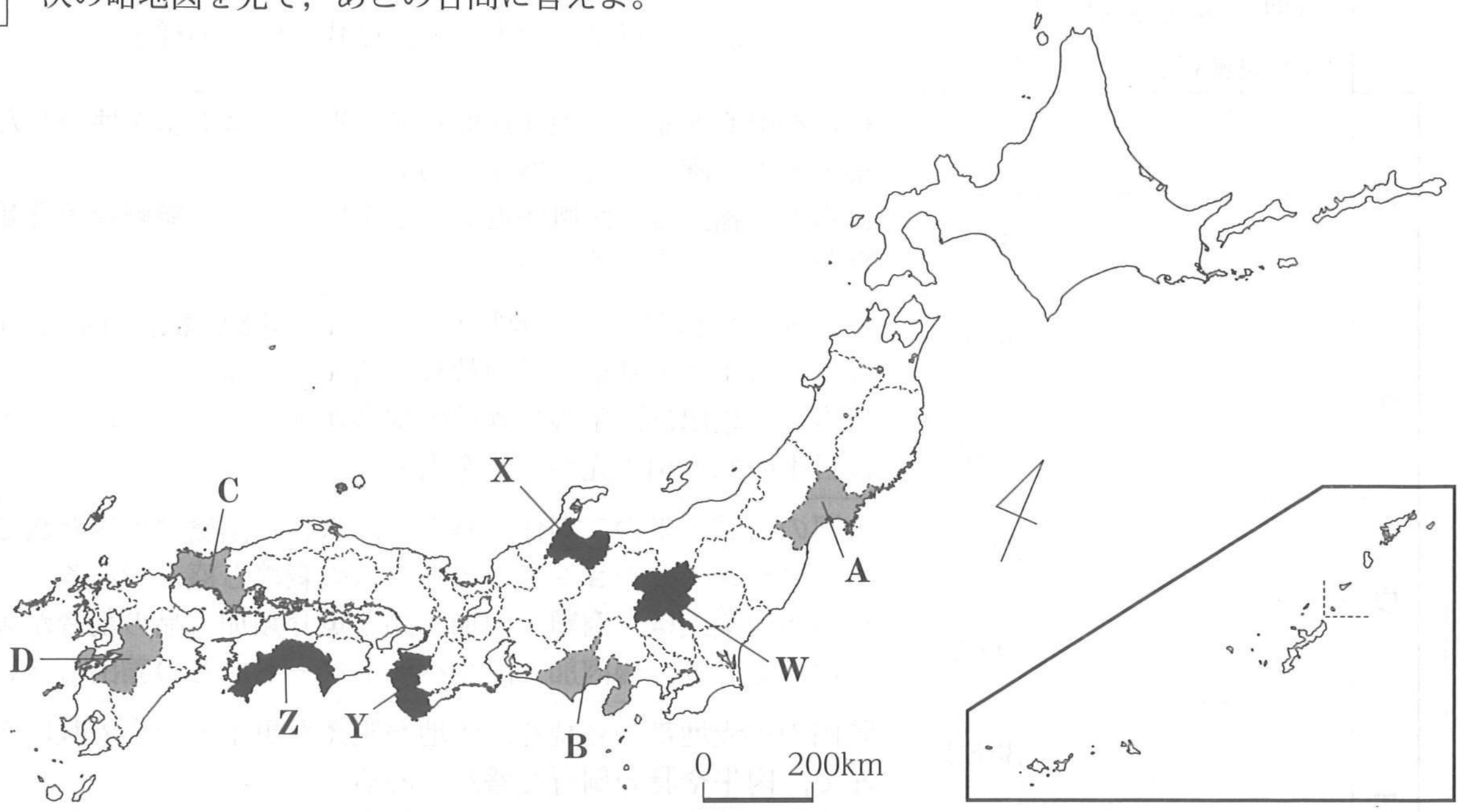


Ⅲ

粗飼料の自給率	76%
濃厚飼料の自給率	12%

（Ⅰ～Ⅲの資料は，農林水産省「食料需給表」ほかより作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2019 年における製造品出荷額と自然環境や工業の様子についてまとめたものである。**A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	製造品出荷額（億円）	自然環境や工業の様子
ア	45590	○東部は太平洋に面していてリアス海岸が見られ，西部は日本最長の山脈が連なっている。県庁所在地がある平野は，県の中央部に広がっている。 ○県内でとれる農水産物を用いた食料品工業が盛んである。また，高速道路沿いに工業団地がつくられ，電子部品などが製造されている。
イ	28706	○東部は山地が連なり，北東部には世界最大級のカルデラが見られる火山が位置している。西部は海に面し，多くの島々が見られる。 ○かつて高速道路のインターチェンジ付近に電子部品工業の工場が多数進出してきた。現在は，生産用機械や輸送用機械が工業の中心となっている。
ウ	65735	○北部，西部，南部が海に面している。石灰石などが雨水や地下水によって侵食されてできた日本最大級のカルスト台地が見られる。 ○第二次世界大戦後に，南部の臨海部に石油化学コンビナートが形成され，現在，化学と石油・石炭製品の出荷額は，製造品出荷額の半分近くを占める。
エ	172749	○北は日本アルプスの一つの山脈が連なり，南は太平洋に面している。日本で最も高い山が県境にあり，この山や山脈から流れ出ている川が多くある。 ○オートバイや楽器の製造で知られる都市が西部に位置し，県全体でも輸送用機械工業が盛んである。東部には製紙パルプ工業が盛んな都市も位置する。

（「データでみる県勢」2023 年版より作成）

〔問２〕 次のページのⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の県の，2021 年における農業産出額と農業産出額上位６位の品目及び農業産出額に占める割合を示したものである。Ⅱの文章は，**W** ～ **Z** の**いずれか**の県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか，また，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

I

	農業産出額(億円)	農業産出額上位６位の品目及び農業産出額に占める割合(%)
ア	1135	みかん(24.5)，うめ(22.3)，かき(7.8)，米(6.5)，もも(4.5)，はっさく(2.6)
イ	2404	豚(19.5)，生乳(9.1)，鶏卵(8.4)，キャベツ(7.6)，肉用牛(6.9)，きゅうり(5.0)
ウ	1069	なす(12.6)，米(9.4)，しょうが(8.7)，にら(8.0)，みょうが(7.4)，きゅうり(6.5)
エ	545	米(64.8)，鶏卵(6.8)，豚(3.3)，生乳(2.6)，肉用牛(2.2)，大豆(2.0)

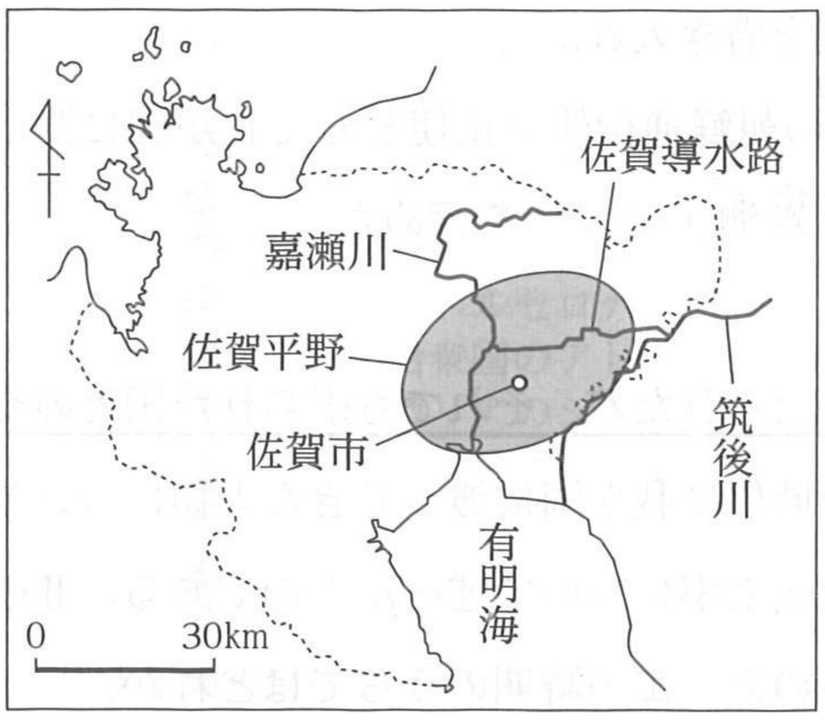
（農林水産省「令和３年 生産農業所得統計」より作成）

II

沿岸を流れる暖流による温暖な気候をいかして，かつては米の二期作が行われていた。現在では，ビニルハウスなどの施設を使って野菜を育て，他の地域よりも早い時期に出荷する促成(そくせい)栽培が盛んに行われ，生産されたものは，カーフェリーなどで大消費地に運ばれている。

〔問３〕 次のⅠの略地図は，佐賀県を示したものである。Ⅱの資料は，2009 年に完成した佐賀導水路や筑紫(つくし)平野の西部を占める佐賀平野についてまとめたものである。Ⅲのグラフは，佐賀市の 1991 年から 2020 年までの平年値における年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅳのグラフは，1993 年と 1994 年における佐賀市の年降水量及び各月の降水量を示したものである。Ⅰ～Ⅳの資料から読み取れる，(1)「佐賀市の平年値における夏と冬との降水量の特色」と，(2)「佐賀平野に佐賀導水路がつくられた目的」の二点について，それぞれ簡単に述べよ。

Ⅰ



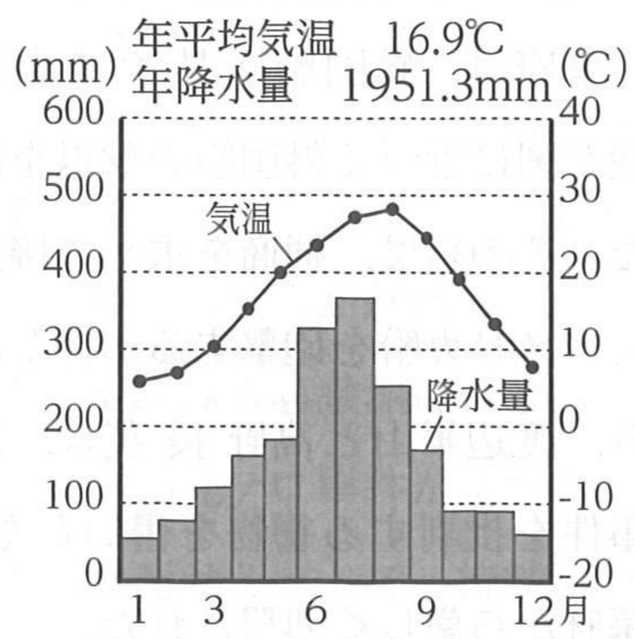
Ⅱ

○佐賀導水路は，佐賀市などが位置する佐賀平野を横断するようにつくられた，東の筑後(ちくご)川と西の嘉瀬(かせ)川を結ぶ全長約 23 km の導水路である。

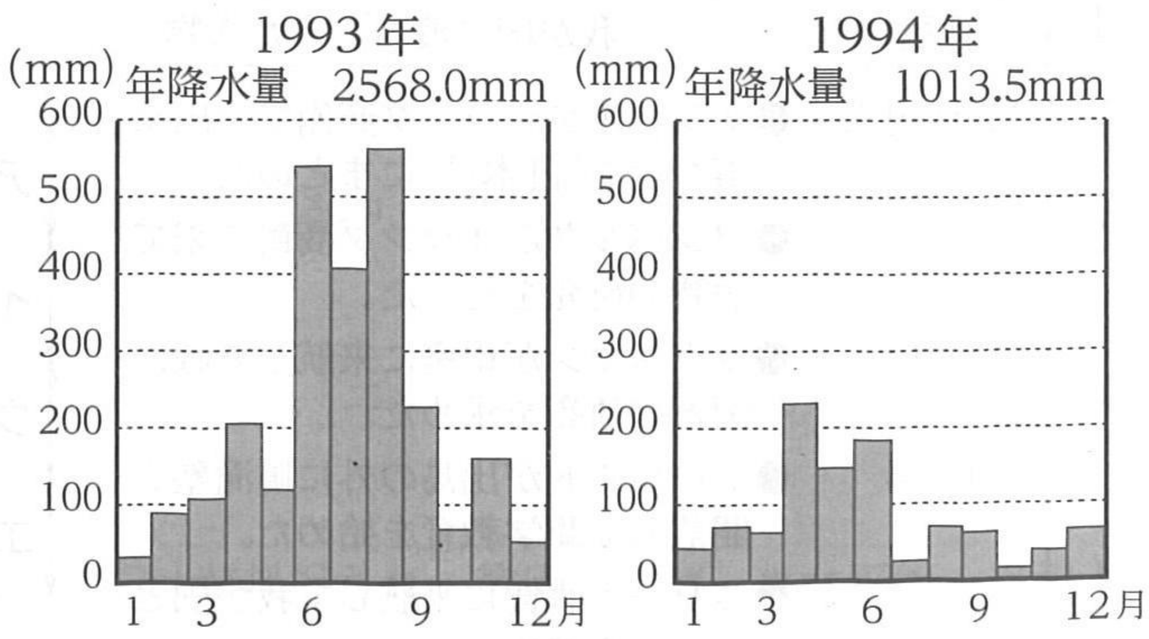
○佐賀平野は，干満の差が大きい有明海(ありあけかい)に面し，満潮時には海面よりも低くなる低平地である。

○筑後川や嘉瀬川には堤防が築かれており，その結果，川の水面が佐賀平野より高くなっている。

Ⅲ

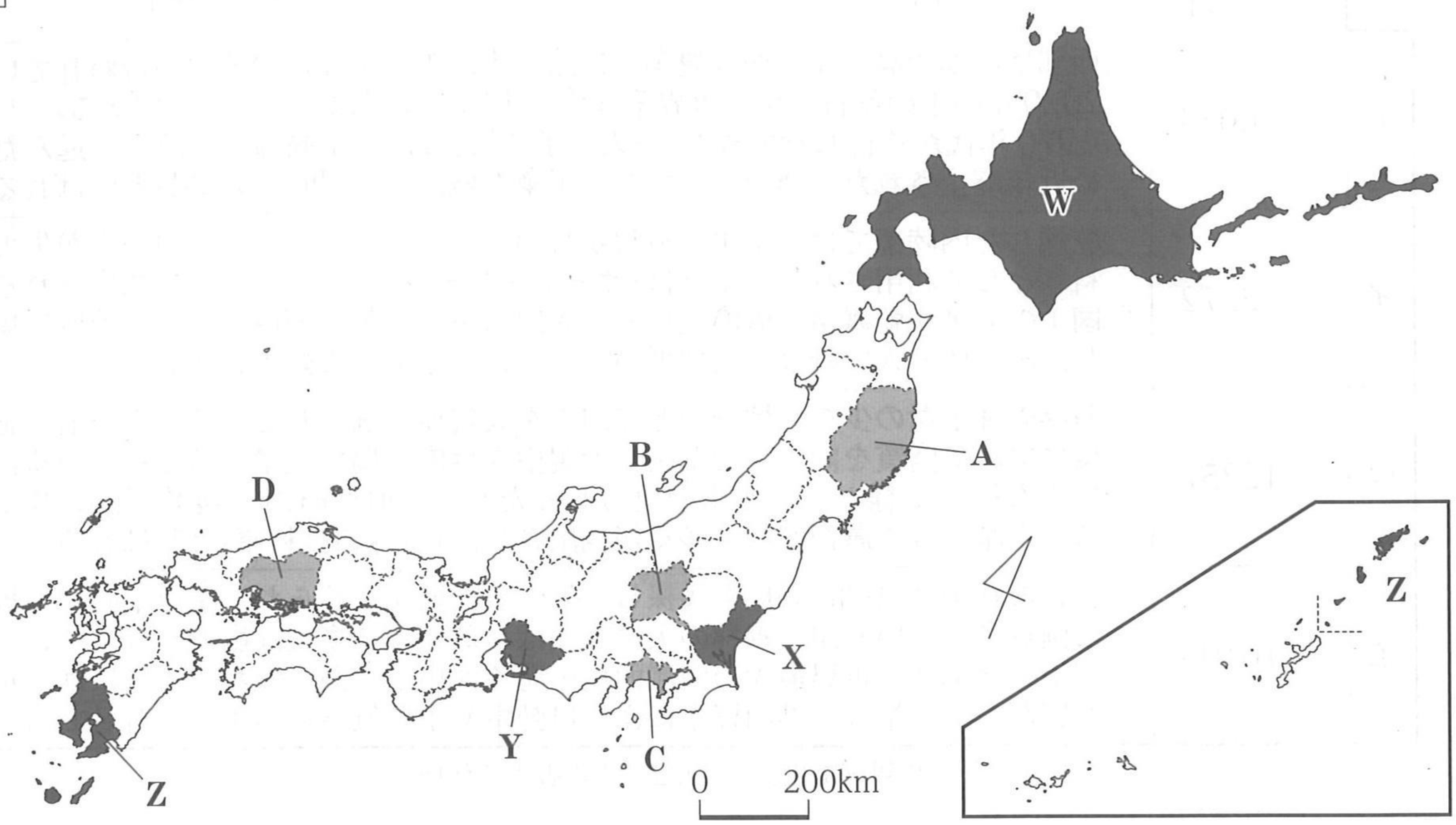


Ⅳ



（ⅢとⅣのグラフは，気象庁ホームページより作成）

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▭ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の県の，2019 年における輸送用機械器具の出荷額，自動車生産やその他の産業，自然環境などの様子についてまとめたものである。略地図中の **A** ～ **D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	輸送用機械器具出荷額(億円)	自動車生産やその他の産業，自然環境などの様子
ア	33532	○第二次世界大戦中に航空機を製造した企業が元となった自動車工場があり，その周辺には関連工場が点在し，ブラジルなどからの外国人労働者も多い。 ○北部は山岳地帯で多くのダムが建設され，大都市圏の生活用水を供給している。この山脈から吹きおろしてくる冬の季節風は，冷たく乾燥している。
イ	37500	○内陸部の工業団地にはトラック工場，湾岸部には広大な自動車工場が立地しており，日本有数の貿易港から専用運搬船を利用して輸出されている。 ○大消費地に近い利点を生かして，新鮮な野菜を出荷する近郊農業が盛んである。冬でも温暖なので，みかんなどの柑橘類の栽培も行われている。
ウ	6533	○県の中央部を南北に走る高速道路のインターチェンジなどに，1990 年代から自動車工場が進出し，地方でも有数の自動車生産の拠点となっている。 ○夏には北東からやませと呼ばれる冷たい風が吹き込み，たびたび冷害を起こしてきた。東部にはリアス海岸が広がり，漁港が点在し養殖業も盛んである。
エ	32663	○県庁所在地の都市に内包する町は，大手自動車メーカーの企業城下町となっており，生産された自動車やトラックは，海外に盛んに輸出されている。 ○北部はなだらかな山地で，南部は波がおだやかな海に面しており，多数の島々が属している。古くから海上交通が盛んで造船業や製鉄業が行われてきた。

(「データでみる県勢」2023 年版より作成)

〔問２〕　次のⅠの表の**ア**～**エ**は，略地図中に■で示した**W**～**Z**の**いずれか**の道県の，2019年度における道県内総生産と経済活動別内訳を示したものである。Ⅱの文章は，**W**～**Z**の**いずれか**の道県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている道県に当てはまるのは，略地図中の**W**～**Z**のうちのどれか，また，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか。

Ⅰ

	道県内総生産(億円)	経済活動別内訳(億円)						
		農林水産業	製造業	建設業	卸売・小売業	運輸・郵便業	情報通信業	教育
ア	409107	1600	140971	16773	50552	22945	13143	11235
イ	204646	7912	19176	16185	27554	15236	6121	8225
ウ	140922	2698	46877	6716	10452	6640	2889	4432
エ	57729	2635	7015	4678	7333	3706	1724	3129

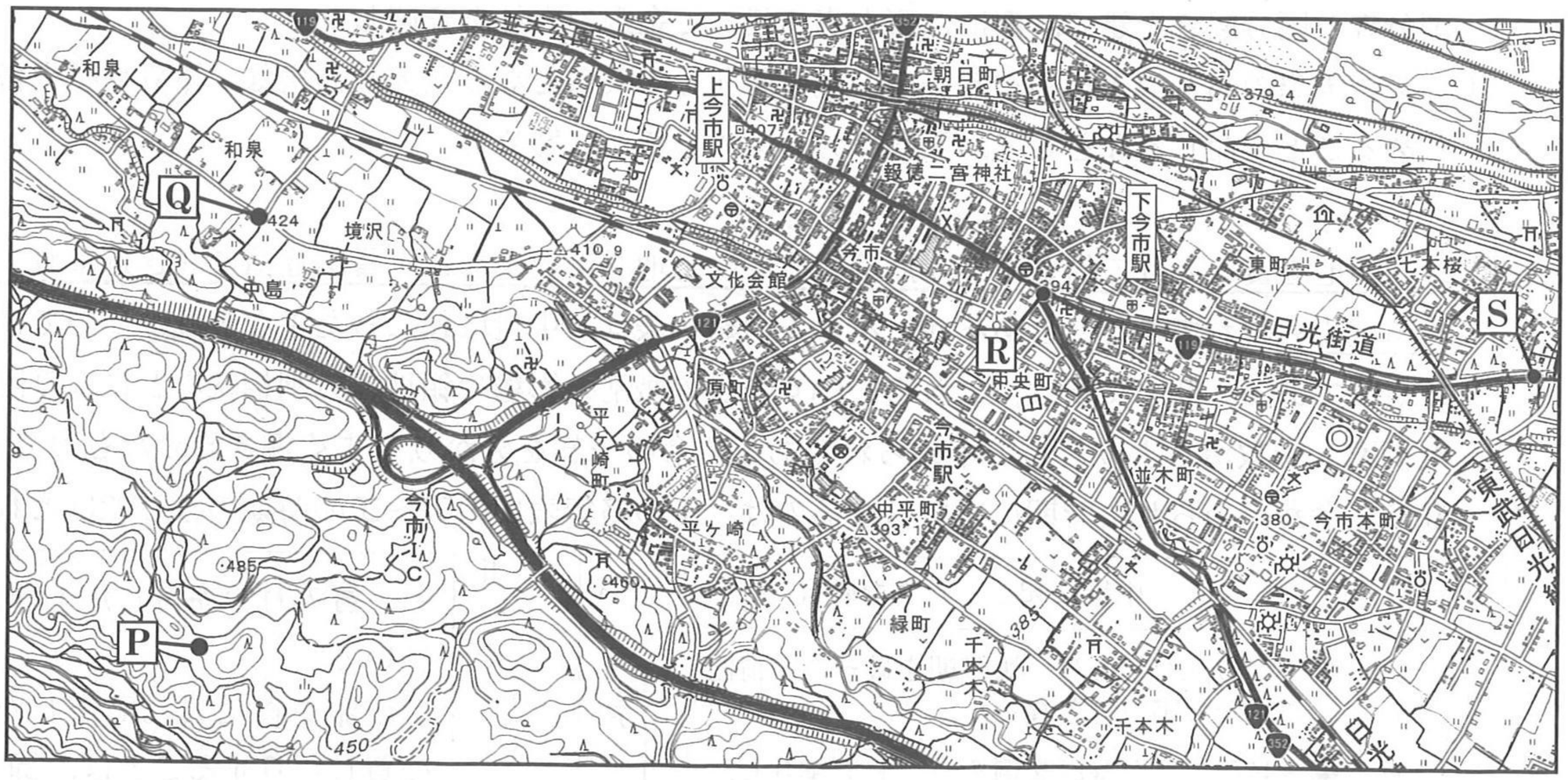
（注）道県内総生産には，その他の経済活動による金額も含む。

（「データでみる県勢」2023年版より作成）

Ⅱ

道県の大部分が火山灰の土壌のため，畑作や畜産を中心に農業が盛んな道県で，2020年度における農業産出額が全国２位で，特に肉用牛や豚の産出額は全国１位である。道県内総生産に占める農林水産業の割合がこの４道県の中で最も高く４％を超えている。また，表中の経済活動の中で，第二次産業に含まれる産業を合計した金額は，約１兆1700億円である。

〔問３〕　次の地形図(国土地理院 平成27年発行 ２万５千分の１地形図「今市(いまいち)」より作成)から読み取れることがらについて正しく述べているのは，下の**ア**～**エ**のうちではどれか。



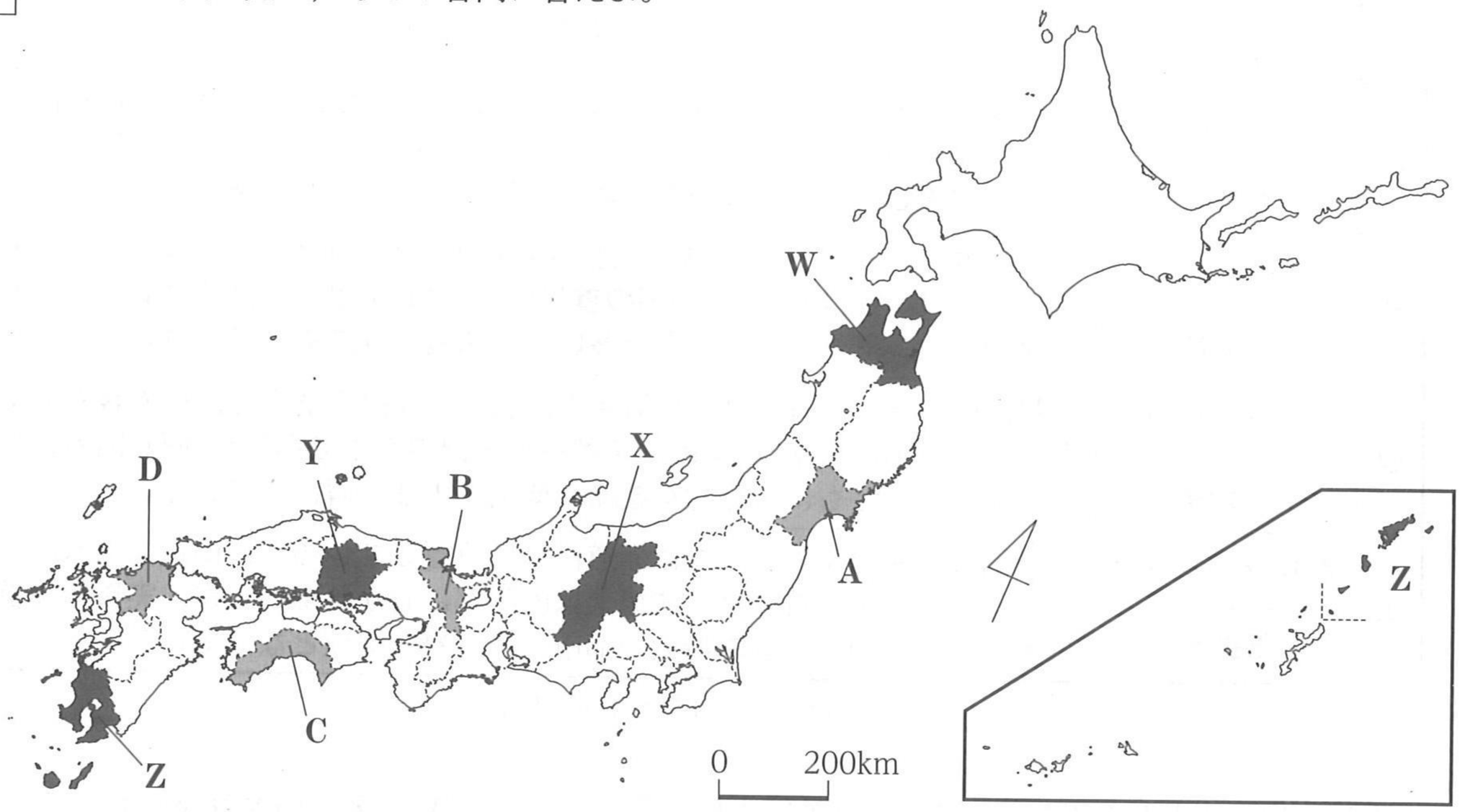
ア　**P**地点と**Q**地点の標高を比べると，**P**地点の方が50ｍ以上高い。

イ　「上今市」駅と「下今市」駅の間の直線距離は，地形図上で約４cmなので，実際の直線距離は約1000ｍである。

ウ　「下今市」駅から見て，市役所はおおよそ南西の方角に位置している。

エ　国道119号線の**R**地点と**S**地点の間の道路沿いには，広葉樹が主に見られる。

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



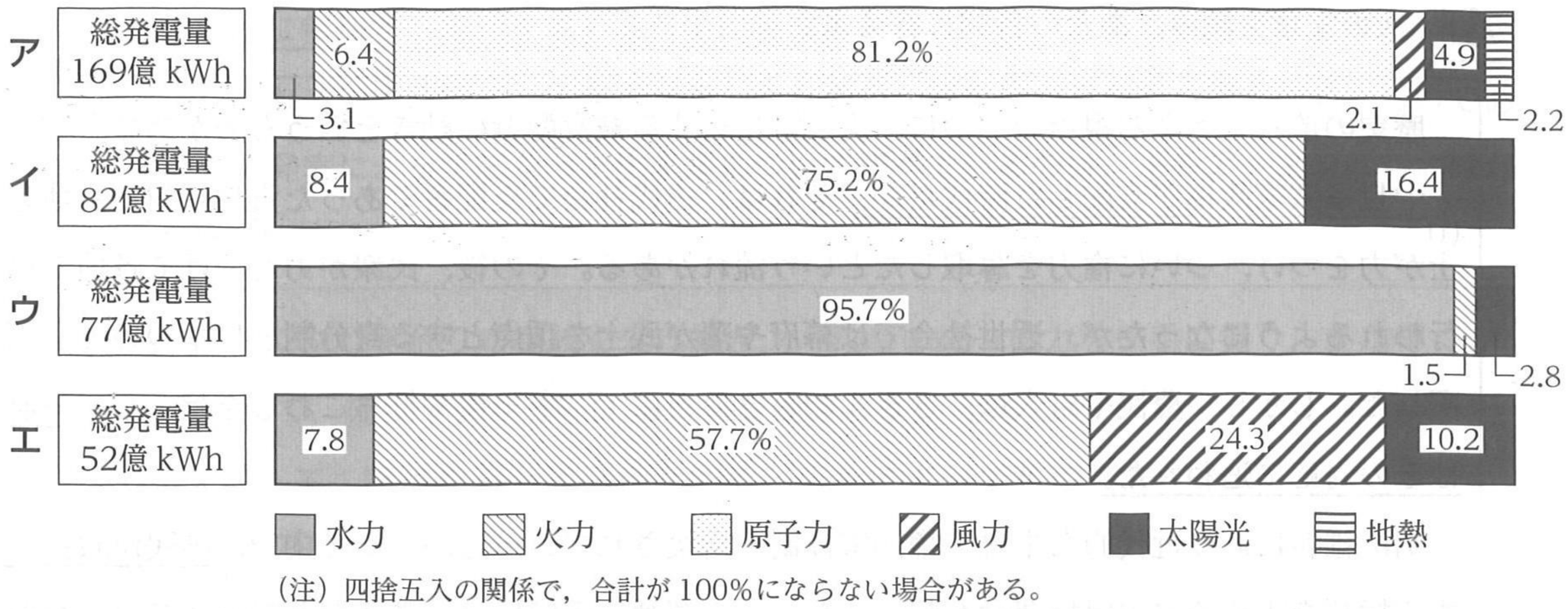
〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**の文章は，略地図中に ■ で示した **A** ～ **D** の**いずれか**の府県の，2019年と2021年における延べ宿泊者数と，府県庁所在地で開催されている祭りや府県庁所在地の様子についてまとめたものである。**A** ～ **D** のそれぞれの府県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	延べ宿泊者数(千人泊)		府県庁所在地で開催されている祭りや府県庁所在地の様子
	2019年	2021年	
ア	20420	9621	オランダ語で「日曜日」を意味する言葉から名付けられた祭りが例年５月のゴールデンウィークに開催され，100万人以上が訪れる。府県庁所在地は城下町と港町が合併して誕生した都市である。
イ	2903	1910	第二次世界大戦後に始まった，鳴子（なるこ）と呼ばれる道具で音を鳴らしながら踊る祭りが例年８月に開催されている。府県庁所在地は冬でも温暖な気候で，周辺の平地では促成（そくせい）栽培が盛んに行われている。
ウ	30750	11920	平安時代に起源を持ち，室町時代に一時中断したものの再開した，UNESCO（ユネスコ）の無形文化遺産にも登録されている祭りが例年７月に開催されている。府県庁所在地は盆地に位置し，夏と冬の寒暖差が大きい。
エ	10934	6435	織姫（おりひめ）と牽牛（けんぎゅう）の伝説をもとにした伝統行事にちなんだ祭りが例年８月に開催されている。府県庁所在地は「杜（もり）の都」とも呼ばれる地方中枢都市で，属している地方で唯一の政令指定都市になっている。

（「データでみる県勢」2023年版より作成）

〔問２〕 次のページのⅠの**ア**～**エ**のグラフは，略地図中に ■ で示した **W** ～ **Z** の**いずれか**の県の2021年度における発電量とその内訳を示したものである。Ⅱの文章は，Ⅰの**ア**～**エ**の**いずれか**の県について述べたものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中の **W** ～ **Z** のうちのどれか。

I



（注）四捨五入の関係で，合計が 100%にならない場合がある。

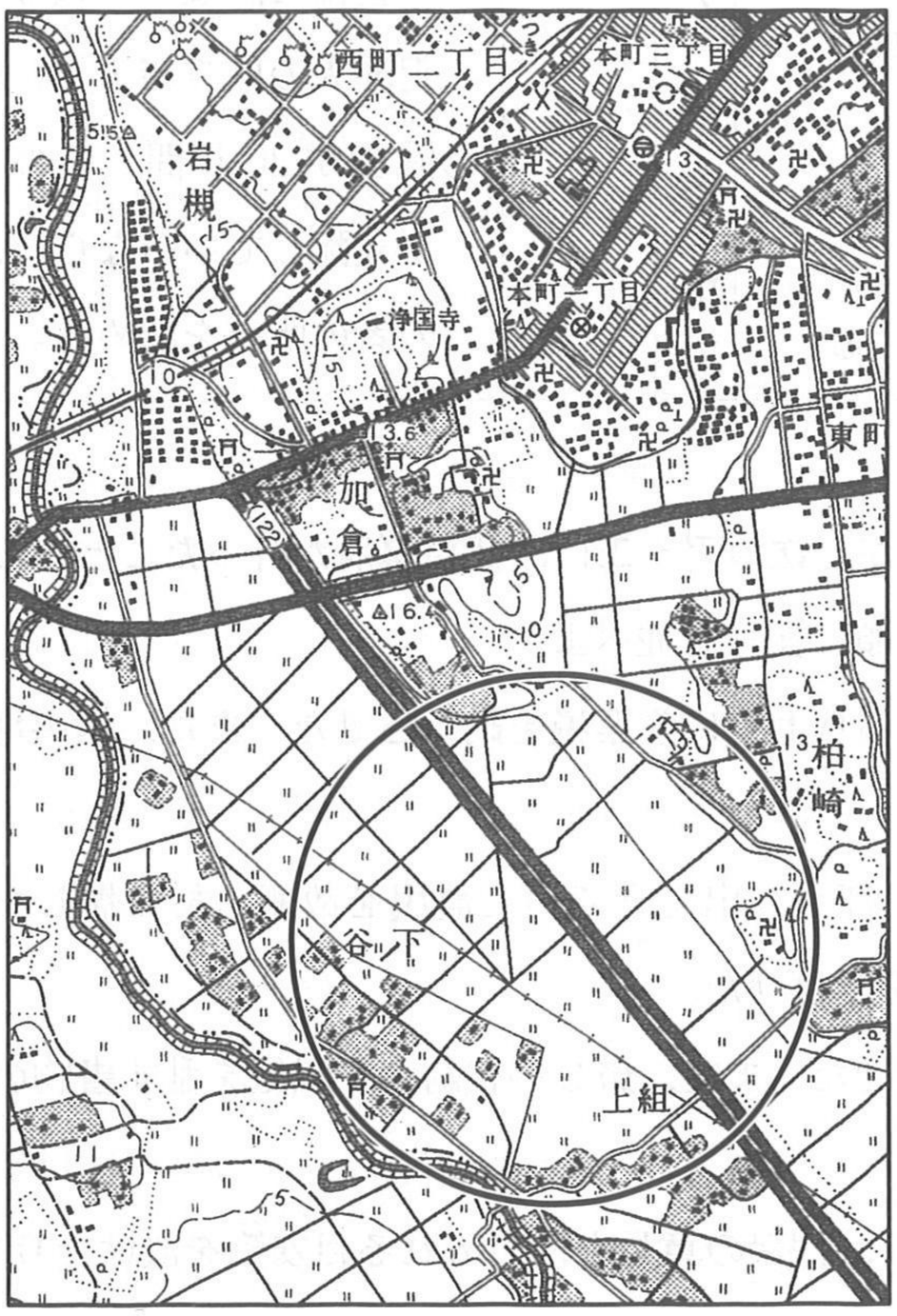
（「データでみる県勢」2023 年版より作成）

II

夏も冬も季節風の影響を受けにくいため，一年を通して降水量が少ない気候である。農業では，温暖な気候をいかした果樹栽培が盛んで，マスカットと呼ばれるぶどうやももの産地として知られている。工業では，臨海部に埋め立て地をつくって石油化学コンビナートや製鉄所，自動車工場などが立ち並ぶ工業地域が形成されている。

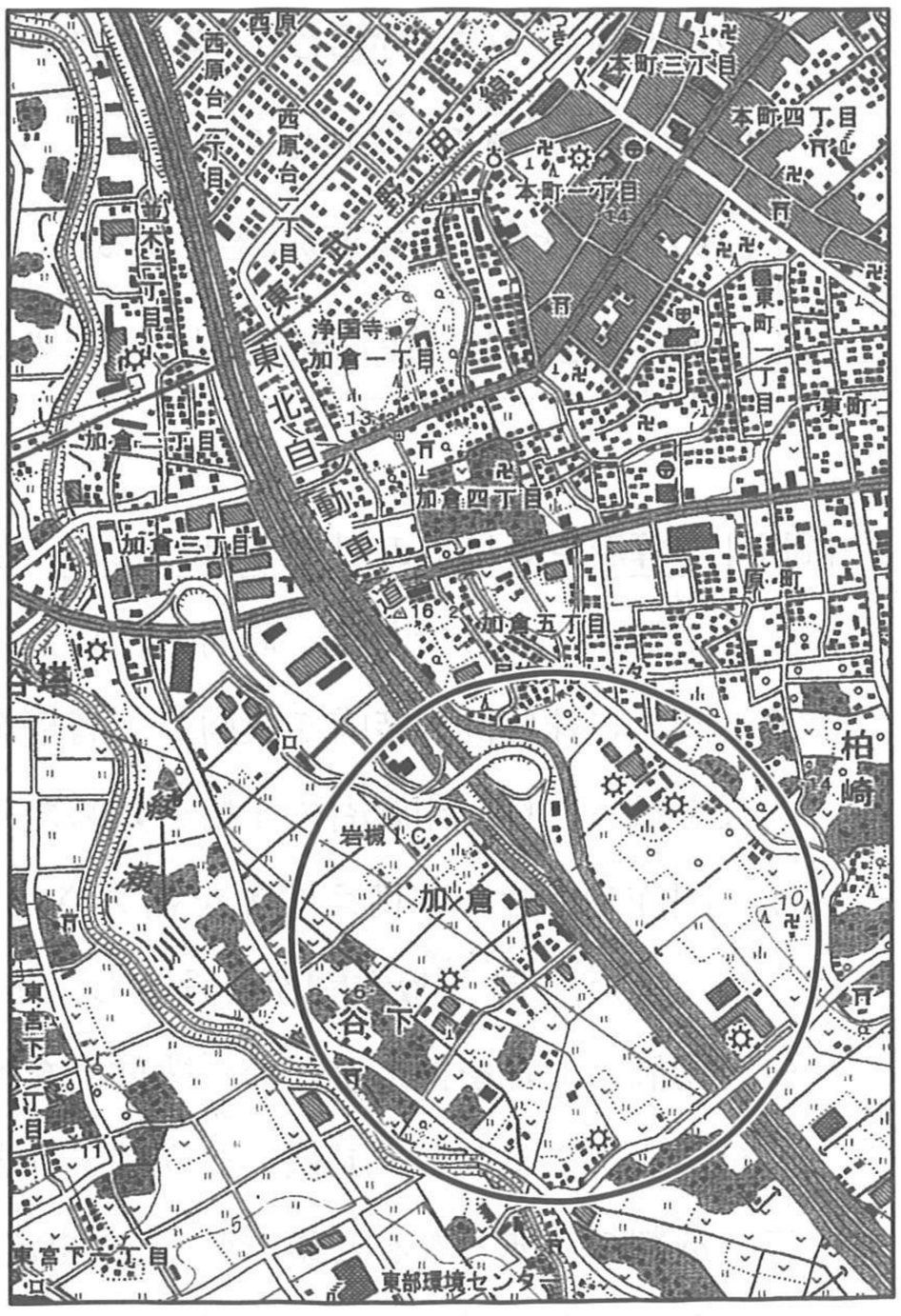
〔問３〕 次のⅠとⅡの地形図は，埼玉県のある地域を示した 1970 年と 2003 年の「国土地理院発行２万５千分の１地形図(岩槻(いわつき))」の一部である。ⅠとⅡの地形図を比較して読み取れる，◯で示した地域の変容について，そのような変容が起こった原因となることがらに触れて，簡単に述べよ。

Ⅰ



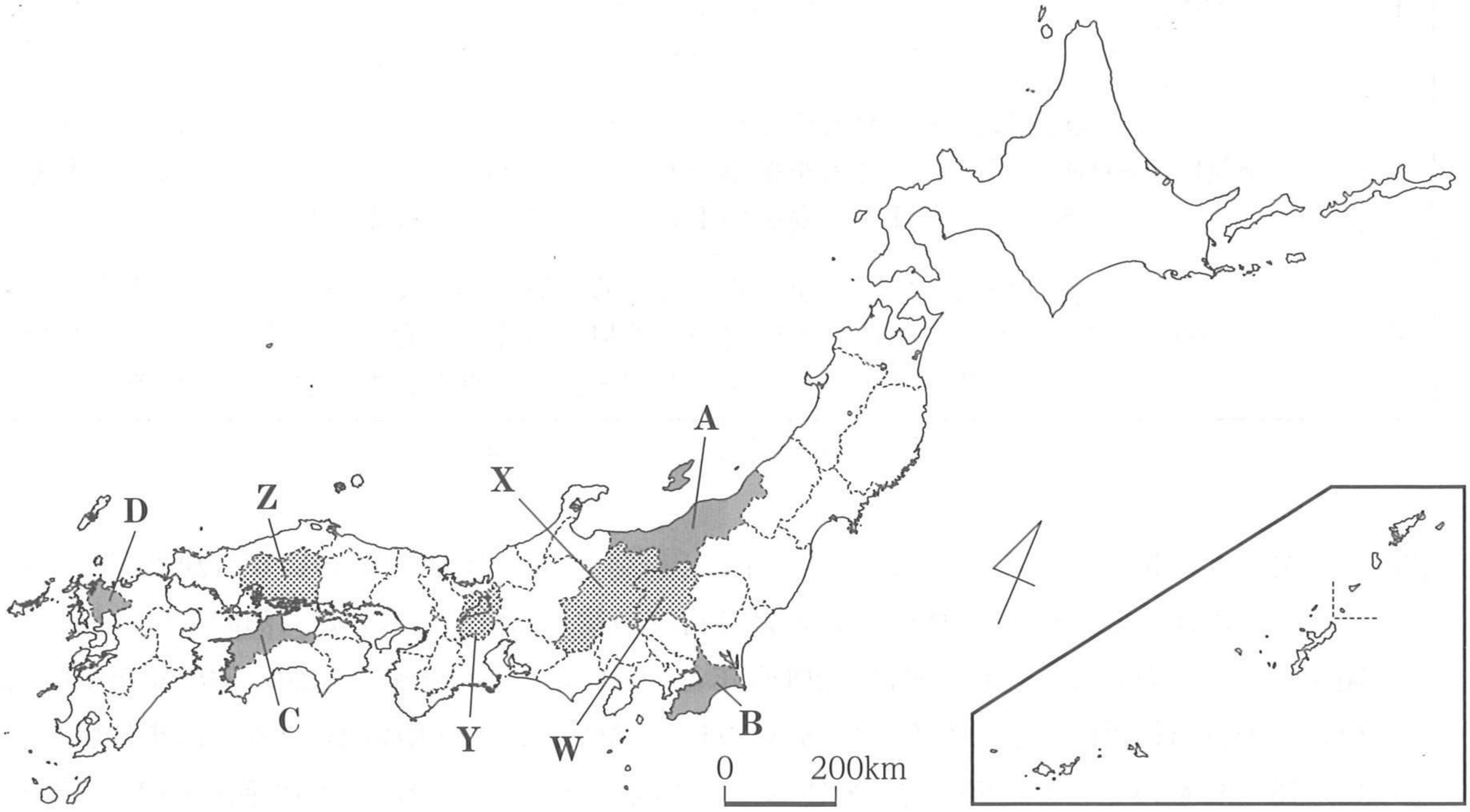
(1970 年)

Ⅱ



(2003 年)

3 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕 次の表の**ア**～**エ**は，略地図中に ▨ で示した **A**～**D** の**いずれか**の県の，2020 年における製造品出荷額，地場産業やその他の産業の様子についてまとめたものである。略地図中の **A**～**D** のそれぞれの県に当てはまるのは，次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	製造品出荷額(億円)	地場産業やその他の産業の様子
ア	119770	○江戸時代以降醤油(しょうゆ)の蔵元が多数営まれ，我が国で最大の流域面積を持つ河川の水運を使って大消費地に出荷され，全国有数の醤油の生産地となった。 ○沿岸に広がる砂浜海岸では，江戸時代にイワシの地引網漁が盛んに行われ，水揚げされたイワシは干鰯(ほしか)と呼ばれる肥料に加工されて全国に出荷された。
イ	47784	○江戸時代に農民の副業として始まった釘づくりは，大正時代になると生活様式の欧米化の進展とともに金属洋食器の生産の発展へとつながった。 ○県が全国有数の米どころであることを背景に，米を加工した米菓(煎餅(せんべい))の出荷額が全国１位(2020 年)であり，県の代表的な地場産業となっている。
ウ	20334	○豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に朝鮮から連れ帰った陶工が県内で陶磁器の生産を始めた。県内のいくつかの焼物が，国の伝統的工芸品に指定されている。 ○我が国最大級の干潟が広がる内海は，干満の差が大きく海苔(のり)の養殖に適しており，海苔の生産量は全国１位(2020 年)で，県有数の特産品となっている。
エ	38203	○リアス海岸が連なる沿岸部では，明治時代以降に真珠の養殖が始まり，高品質な真珠の産地として名をはせ，現在も全国有数の生産量をあげている。 ○江戸時代に遠浅な海浜一帯に入浜式塩田が数多く築かれ，塩の生産が発達した。塩田が廃止された現在でも，食塩の出荷額は全国１位(2020 年)である。

(「地理データファイル」2023 年度版より作成)

〔問２〕　次のⅠの表は，略地図中に▒で示したW～Zの**いずれか**の県の，2000年と2020年における総人口と在留外国人数，2020年における在留外国人のうちアジア州出身の外国人数，南アメリカ州出身の外国人数を示したものである。Ⅱの文章で述べている県に当てはまるのは，Ⅰの表の**ア**～**エ**のうちのどれか，また，略地図中のW～Zのうちのどれか。

Ⅰ

	総人口(人)		在留外国人数(人)			
	2000年	2020年	2000年	2020年	アジア州	南アメリカ州
ア	1342832	1413610	23589	33881	21208	11620
イ	2878915	2799702	29632	55782	50508	3193
ウ	2024852	1939110	38570	62749	42049	19171
エ	2215168	2048011	42058	36530	28563	5960

(注)2000年は外国人登録人口。

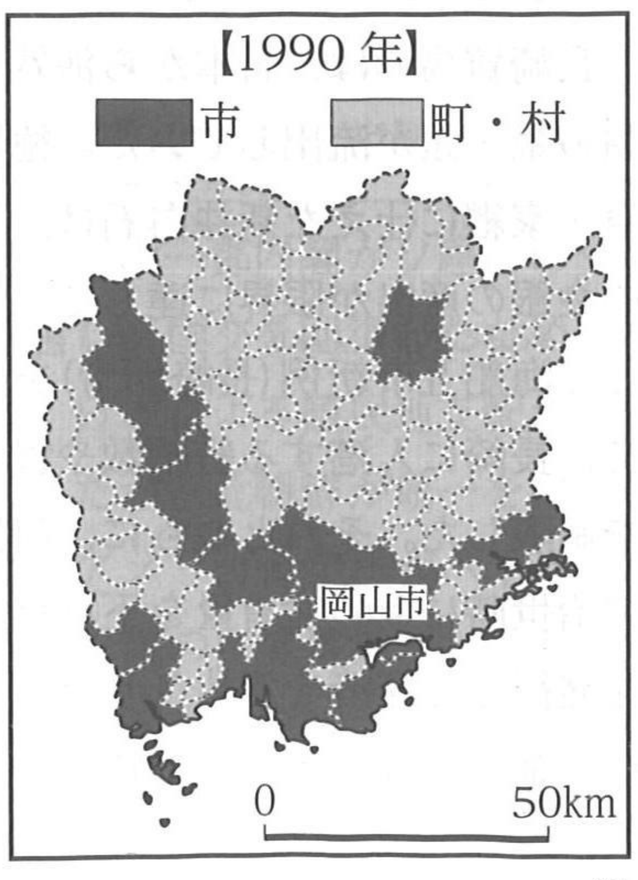
(「政府統計の総合窓口(e-Stat)(https://www.e-stat.go.jp/)」より作成)

Ⅱ

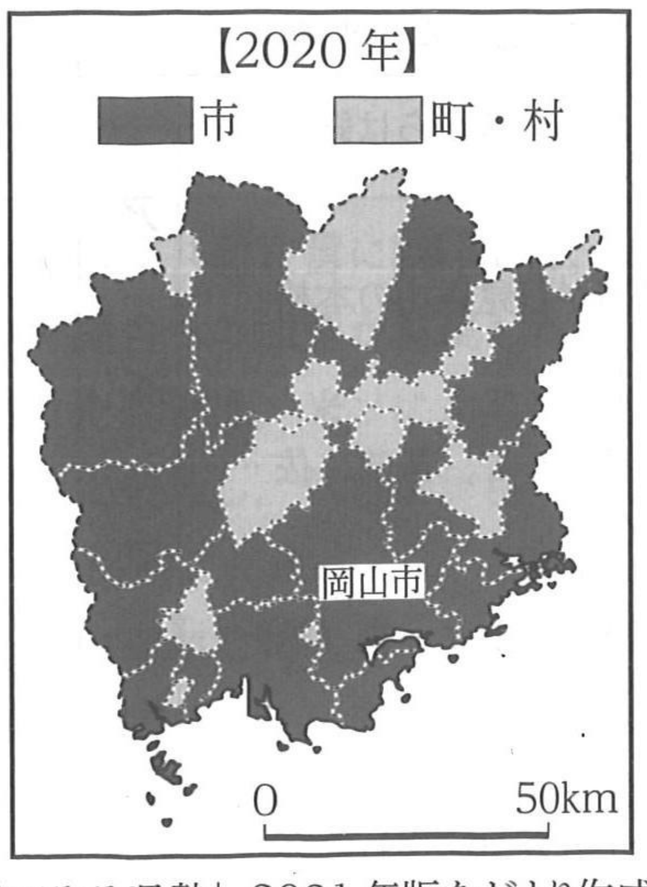
県名と県庁所在地の都市名が異なる県で，2000年から2020年にかけて総人口は減少している一方で，在留外国人数は増加している。その背景として，高速道路などの交通網が整備されるとともに県内に工業団地が次々と造成され，工業用地が不足するようになった臨海部から内陸部に位置するこの県に電気機器や輸送用機械の工場が次々に進出し，そこで働く外国人労働者が増加したことがある。2020年の在留外国人数に占める南アメリカ州出身の外国人の割合が30％を超えているように，ブラジルから出かせぎに来ている人々とその家族が多く居住しており，県内の大泉(おおいずみ)町にはブラジルタウンがつくられている。

〔問３〕　次のⅠの略地図は，1990年における岡山県の市町村の区分を示したものである。Ⅱの略地図は，2020年における岡山県の市町村の区分を示したものである。Ⅲのグラフは，岡山県の県庁所在地である岡山市における1990年と2020年の面積と人口を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を活用して，(1)「1990年と2020年とを比べて，岡山県の市と町・村の数はそれぞれどのように変化したか」と，(2)「1990年と2020年とを比べて，岡山市の人口密度はどのように変化したか」の二点について，それぞれ簡単に述べよ。

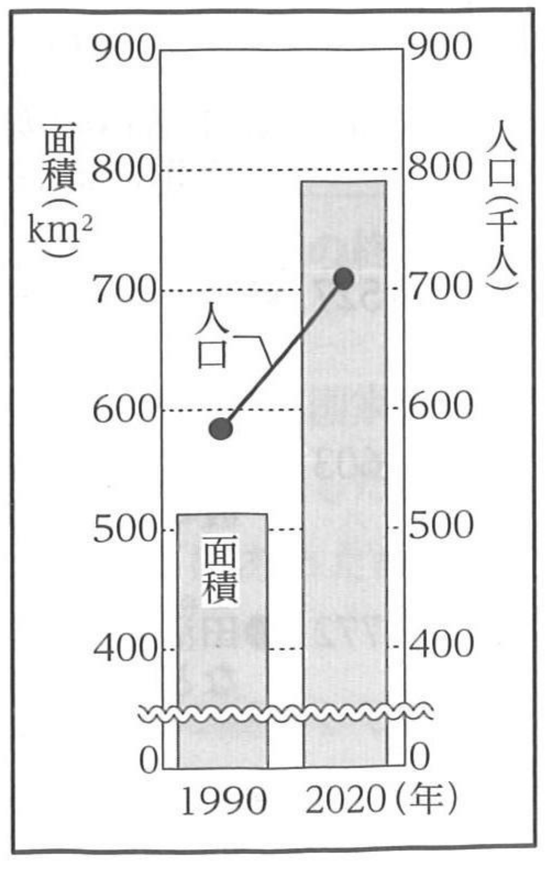
Ⅰ



Ⅱ



Ⅲ



(「データでみる県勢」2021年版などより作成)